

日語公式

成句
盛語

詳解

日語公式詳解

成
熟
句
語

式公語日

附助辭用法概要

程伯軒編著

上海生活書店發行

中華民國二十六年三月

日語公式詳解

成熱句語

附助辭用法概托

每冊實價六角
外埠酌加郵費

印刷者

發行者

編著者

生活印刷所

生活書店
上海福州路
第三八四號

程伯軒

版權所有翻印必究

中華民國二十四年十月
初版
中華民國二十六年三月
再版

榕已審

287

再 版 序

讀日文書文法難、文章解剖尤難、縱文法澈底、如不能解剖全文、是猶盲人摸象、終不得其真相。文法澈底矣、文章全部亦能解剖矣、然猶不能悟其真相、是蓋「公式」爲之作梗也。此「公式」即「成句熟語俗諺」既不見於文法（有少數雖見諸于文法、亦難于檢索）更不載于字典、除以八年十年長期間之領悟會意與一一詢諸日人而外、則只有望洋興嘆莫可奈何！余自身學習日文時、即痛感無此等參考書之苦、於此次教授日文時、尤感其必要、爰著此書、以利學習日文者。惟初版時因催促日至、匆促付梓、致校對未能充分、誤植漏字、爲數至夥。際茲再版、大加校訂、且目錄亦復改排、按「アイウエオ」次序俾易檢索。更續著第二第三兩篇、載有公式五百四十餘個、將所有成句熟語俗諺、包羅殆盡、學者得此、庶於一切難問題可迎刃而解。又此書問世後、接各方讚揚信件甚多、以忙於第二第三兩篇之執筆、未能一一裁答、謹于此誌謝。

程伯軒識于中原別墅

一九三五、七月、

自序

民國二十三年夏、重遊東京、初擬一試海水浴即回、嗣以新來日本諸親友之懇請、留授日語、其後、來學者日益衆、授課亦益繁、篇中成句熟語、層出不窮、初學者每苦不得其解、即能解、亦常苦於不能得其恰當之譯義、爰於授課時、錄出其成句熟語之類、詳加解釋、編著成書、俾讀日語者、一覽即得其真諦。惟此書成於授課之餘暇、倉卒寫來、疎漏難免、斯則希各先輩、加以指正爲幸。又此書所列二百題外、尙有百餘題未曾書就、因催索出版者、日必數起、遂匆促付梓、他日有暇、當再出續編、以期完璧。

民國二十四年一月 程伯軒序於東京中原別墅

【目録】

(頁)

ア部

有るだけ

飽くまでも

恰も…やう

宛も…如く

有るが儘に

イ部

以上

幾ら…ても

いはば…

いやおう無しに

今更

曰く附きの

八

五

三

三

一八

三

三

五

六

一三

一七

一五

好いアンバイ鹽梅

言ふまでもない

一体全体

況や…をや

致し方無く

ウ部

上

上に

裡を切る

打つて變つて

…ヨウとする

オ部

…

一七

一三

二六

三〇

二六

三

三

三

八

一七

三九

一七

七

覺束オボツカない

折柄オリカラ

お茶チャを濁ニゴす

カ部

代り

代りに

かと思ふオモと

から

からとて

からとて…してはいけない

からとて…ものではない

か知シら…

…感じカンがする

一三

二六

二七

三

三

三

一六

一六

六

三

三

九

一四

：か：ない内ウチに

二九

氣キにする

一〇五

ケ部

合ガツテン點ユが行かない

二四

氣キに入る

一〇七

見當ケンダウが付く

一七

：觀カンを呈テイして居キる

二五

氣キが氣キでない

一〇八

見當ケンタウが外ヘツれた

一四

加減カゲン

二六

氣キを取トられる

一〇九

決ケツして：ない

二〇八

が早ハヤいか

二八〇

氣キがする

一一

コ部

か道理ドウリで

二八二

氣キを附ツける

一一

こととなつて居キる

四〇

が片カタ付ける

二八五

：切キつて

一一

ことになつて居キる

四〇

片カタが付く

二八五

切キり：ない

一一

こそ初ハツめて

一一

かも知シれない

二九

机嫌キゲンを取トる

一一七

言語道斷ゴンゴトウダク

一一五

必カナラずしも：ない

二〇八

ク部

サ部

考カンガへよう

二二六

工合グアヒ

一一六

さもなければ

一四

キ部

具合グアヒが好ヨい

一一七

さなきだに

一四

極キョクつて居キる

二四

具合グアヒが悪ワルい

一一七

さればとて

一六

沙汰サダの限りカキ

二五

セ 部

それはさて置きオ

九五

さへ

一八九

せねばならぬ

五

それはその筈ハズ

一四

騒サワぎどころではない

二二九

是非ゼヒ

五

それもその筈ハズ

一四

シ 部

しなければならぬ

五

是ゼが非ヒでも

五

相違ソウキない

二〇〇

しか…ない

二二六

是非共ゼヒトモも

五

造作ゾウサない

二四〇

しない内ウチに

二二八

折角セツカク

六

だけあつて

九

仕方がない

一五九

世話を焼くセワ

一五

だけに

〇

仕様がシヨウない

一五九

せんすべも無ナく

一五

だけ

二

随シダガつて

二〇五

詮方セシカタなく

二四

丈ダケ

三

ス 部

するかしない内ウチに

二二九

そのみか

七

たへ…ても

二四

すればする程ホド

二三四

それよりも

三

たら宜ヨかつた

一四九

ソ 部

三

たへ…ても

五

たら好いのに

只で

只の

だも

陣取つて居る

チ部

積り

詰り

詰る處

詰らない

テ部

でなくて何であらう

一兜

一垂

一垂

一丸

一七

一壺

一尖

一尖

一尖

で済む

手出しをしようものなら

手を出す

手持無沙汰

出張つて

手加減

出来る丈

出来得る限り

手入れ

手に入れる

ト部

と言はんばかり

とばかり

一克

二三

二三

二六

二元

一壳

一三

一三

一七

一八

一

三

と思つたが...

と思つたら

通り

どんなに...ても

どんな...ても

ともなく

どうして

どうしても

とでも言ふのか

とは言へ

と言ふ

どちらかと言へば

ともすると

四

一九

二〇

二五

四五

五五

六五

七五

八五

九五

一〇五

一五五

二〇五

二五五

取りも直さず

途端に

と相俟つて

ともすれば

途方に暮れた

途方も無い

とは限らない

ところで

ところではない

どころか

と見える

としては

として

八

兎に角、兎も角

三三

にせよ、にしろ

酉

三三

ナ部

に外ならない

屯

一四

何となく

四

に過ぎない

六

一五

なければならぬ

五

に就いては、(に)付いては(八)四

一六

乍ら

七

に依る、に依つては

六

一四

何はさて置いても

四

に依れば、に依ると

九七

二七

ない内に

一八

に若くはない

二〇

二八

猶更

一三

に及ばない

一四

二八

何しろ

二四

に當るまい

一五

三〇

何分、何分にも

二五

に近い

一九

三三

ニ部

に附け

二〇

三三

に拘らず

三

に附けて

二二

三四

にもずらず

三

に付き

二三

のみか
 の部
 念ネンの爲タメに
 念ネン入り
 に見ミ舞マはれて
 に見ミえる
 に限カキる
 には限カキらない
 には居ヲられない
 に違チガひない
 に隨シタガつて
 に連ツれて

三七
 二四五
 二三四
 二二二
 二二二
 二二七
 二二七
 二二〇
 二〇六
 二〇三
 二〇三

のに
 ので
 の方が増マした
 の積ツモり
 ハ部
 筈ハズ
 跳ね附ツける
 ヒ部
 引き上ヒげる
 引き揚アげる
 強ヒいて…ならば
 皮肉ヒニク
 フ部

二四七
 二四七
 二四七
 二四七
 二四七
 二四七
 二四七
 二四七
 二四七
 二四七
 二四七

前に述マべた通りトホです
 前に述マべた通りトホ
 間に合マふ(間に合アはない)九一
 稀マレにある
 満更マンザラ…ない
 まで
 外ホカにない
 程ホド…ない
 程ホド
 吹フき出ダす
 二つ返事フタヘンジで
 マ部
 ホ部

二二
 二二
 二二
 二二
 二二
 二二
 二二
 二二
 二二
 二二
 二二

況してから
眞に受ける

二三三

持て餘す
尤もらしい
尤も

八〇

やうに
よりも寧ろ

三四
三九

ミ部

見附かつた、見附けた

二七五

勿体ない

一三三

據どころなく

一五七

見事に

二四四

勿体振つて居る

一三四

ワ部

メ部

滅多にない

二二七

申分ない

一三九

ヲ部

モ部

もあらうに

六

申譯に

二四〇

を：んばかり

二

最早

二七

焼餅を焼く

一三〇

を見たを、見るに至つた

文字通り

三六

や否や

一七九

を裡切る

八一

ものの

六六

役に立つ

二四四

を片附ける

一八五

勿論、無論

七四

ヨ部

を禁じ得ない

二〇六

……と言はんばかり

【解】

- (A) 簡直以爲……
- (B) 幾乎要說

例

(A) 論文を頼まれた時、これは俺の得意だ

と言はんばかり早速書き始めた。

【釋義】「頼まれた」是「被人拜託」之意。

「得意」即「拿手的本領」

【譯文】 有人拿論文來拜託時、簡直以爲是自己的拿手的本領、立刻便開始寫起來。

【解說】 「と言はん」即「と言ふ」之第一變化加「ん」、「ばかり」本解作「只是」此

處轉用解作「簡直」「有人拿論文來拜託請代做的時候。 簡直以爲這件事、完全是我

的拿手、心裏這樣想着、可是沒有說出來、所以「と言はんばかり」是想說而沒有說、

表示一種內心情態的流露。

(B) 國から一通の書留が舞ひ込んだ、此れは占めたと言はんばかり、嬉しく封を切つ

た。

【釋義】 「一通」即「一封」之意。「書留」即「掛號信」。「舞ひ込んだ」原意爲「飛舞投來」、

在此乃轉用、即「投進來」之意、「占めた」原意爲「占領了」、在此爲「這可好了！成功
了有望了」等々之意。「封を切つた」即「拆封、開封」之意。

【譯文】 從國內來的一封信掛號信投進來了、心想這可好了、很高興的將封套剪開了。

【解說】 得着國內來的一封信掛號信、心想這次也許有錢寄來了、因爲掛號信多是寄錢、

不覺非常高興幾乎脫口歡呼起來、說：這可好了、不過是幾乎想說出而終沒有說出而
已。

……を取らんばかり
(……を「動詞第一變」んばかり)
【解】 幾乎要……

例

孫權そんけんが諸葛亮しよくわの來るのを見るや手を取らん
ばかりに嬉しく歡迎して呉れた。

【釋義】 「見るや」是「一見就……」之意。

「呉れた」是補助動詞僅表示是爲諸葛亮而歡迎而已。

【譯文】 孫權一看見諸葛亮走來、就幾乎要握他的手、很歡喜的迎接着。

【解說】 孫權看見諸葛亮來了、高興得幾乎要握他的手、然實際是沒有握、不過是表

示高興的程度、與高興時忘情的形態而已。

……とばかり……
【解】 一心以爲……
宛然以爲……

(A) 例

田舎者が都市の空の真赤に成つて居るのを見て此れは大火事だとばかり慄へて居る。

【釋義】 「田舎者」即「郷下人」。「空」即指「天空」。「真赤」乃「非常紅」之意。「大火事」即

「大火災」、「慄へて居る」乃「害怕而戰慄」。

【譯文】 郷下人看見都市的天空非常發紅、一心以爲是發大火、害怕得發抖。

【解說】 看見天空發紅、即真以爲是發大火、所以「とばかり」是完全表示其瞬間之真情。

(B) 「ベープ、ルース」は野球場の「ダイヤモンド」に這入るや我が物とばかり笑ひ乍ら

意氣揚揚と「バット」を頻りに振つて居る。

【釋義】 「ベープ、ルース」即「Babe Ruth」乃「美國野球王」。「ダイヤモンド」即「diamond」

乃指野球場所畫之一切界線而言。「我が物」即「自己的東西」、此處表示「是我的最得

意的。「バット」即「bat」乃打球棒、「振つて居る」即「將球棒舞動着打球」。

【譯文】「露斯」一進到野球場的界線、宛然以為是自己最得意的、一邊笑一邊意氣揚々の頻々舞動着打球棒。

【解說】「とばかり」在此處完全表示「宛然以為是這樣、或簡直以為是這樣」之意。

.....ばかり.....

【解說】 只有、僅是。
剛才。
大約。

(C)(B)(A)

例

(A) あの人は口ばかり上手で學問が少しもない。

【譯文】 那個人、專只是一張口會說、學問

一點都沒有。

(B) あの人ひとは昨日きのう日本にほんに來たばかり、だから日本語にほんごの五十音ごじゅうおんも分りわかりません。

【譯文】 那個人剛只是昨天來日本的。所以日本話的字母都不知道。

(C) この本ほんは十日じゅうにちばかり掛つて出來上つた。

【釋義】 「掛つて」乃「費了」。「出來上つた」是「製成」。

【譯文】 這本書、只大約費了十日左右、把他弄好了。

【解說】 「ばかり」乃「只是這麼一點、唯有這麼多、剛剛是、專只是、」等意、與英語 only 相同。

例

(A) にほん日本の風呂ふうろは(お湯)安やすいばかりでなく

せいけつ清潔できもち氣持が好よい。

【釋義】 「風呂」即「洗澡。」洗澡堂。「安い」

即「便易」。

【譯文】 日本的洗澡堂、不僅是便易、而且又清潔、舒服得很。

(又) あの人は音樂家ばかりでなく文學も有名です。

【譯文】 那個人不僅是音樂家、即文學也有名。

【解說】 「ばかり」在此解作「僅々、只是」等意。當作準名詞用、故接法照名詞一樣。

「ばかり」既是僅々、加一個なく、便是不僅々、「で」乃是指定助動詞、解作「是」。

(B) この「日語班」には單に文法を教へるのみならず公式應用法をも教へて居る。

【譯文】 此日語班、不單是教文法、即公式應用法亦正在教授。

(又) 米國の勞働改正法は勞働者側に利益が有るのみならず資本家側にも利益がある。

【釋義】 「側」乃指「方面」之意。

【譯文】 米國的勞働改正法、不僅勞働者方面有利益、即資本家方面也有利益。

【解說】 「のみならず」之「のみ」即是「僅々、只是」、「等意。「ならず」乃指定助動詞なり

之第一變化「なら」加否定助動詞「ず」。「なり」是解作「是、也」、「等意。「ならず」即「不
是。故「のみならず」即解作「不僅是」。

.....「體言」も有らうに

【解】 1. 有的是.....可偏要.....
2. 「時候」也看「時候」去「那能」.....
3. 「地方」也看「地方」去「那能」.....

例

(A) 時も有らうに、こんな試験勉強の最中

大聲で唄ふのは何の事だ。

【釋義】 「試験勉強」成爲日本學生的口頭禪

即是專爲試驗而用功。「最中」即「正其時」。「唄ふ」乃「唱歌」。

【譯文】 時候也看什麼時候去、在這個用功的當兒、大聲唱歌、是怎麼一回事？

(B) 處も有らうに人込ひとごみの活動館くわつぎやうかんで泣なくのは、可笑おかしいな！

【釋義】 「人込」即「人多」。「活動館」即「電影館」。

【譯文】 地方也看地方去、偏是在人多多的電影館哭泣、才是可笑呢！

(C) 人も有らうに忙しい僕わがを引張ひっぱつて厭おっせん洒せんするなんて本當ほんたうに閉口へいこうした。

【釋義】 「引張つて」即「扯着、拉扯」之意。「厭洒」乃「援助、帮着助興、」等々。「閉口」即「困る」之意。即「沒有辦法、太爲難了」。

【譯文】 有的是人、偏要把很忙的我、扯去、應援、真是沒有辦法、（真是糟他的糕）。

【解說】 「も有らうに」之「も」字、表示上面的「體言」「都有或尙有」之意。「有ら

う」即「有る」第一變化加「う」字、表示應該有吧。「に」字即「逆態前提法」、與「のに」相當、表示「反而、可是。」故「有らうに」即是表示「應該有……可是偏要……」之意。有人譯爲「別……猶可」其意或可勉強湊合、然實則似是而非之譯句也。比如在此處之(C)例、其意僅指「有的是人、何必定要我。」若依某人之譯

句、謂「別人猶可」則與此原句之義相距其遠。蓋此句僅謂「有的是人」、而並未有「別人猶可」之意。蓋此句未嘗有越俎代庖、替人設想之意。此皆因不知「有らうに」文法上之來源之故也。

有るだけ（持つて居るだけ）
【解】 儘其所有
統々

例

(A) 君は原稿紙を持つて居れば有るだけ貸して呉れ

「呉れ」此處乃補助動詞、表示「請你…」。

【譯文】 你倘若有原稿紙、請把所有的統々借給我吧。

(B) 牛の筋を貴方は五百匁 要ると仰しやいますね！今日は生憎左程 有りませんが有るだけ差上げませう。

【釋義】 「五百匁」約「中國五十兩」。「仰しやいます」即「言ふ」之敬語、解作「吩咐」。「生憎」乃「不湊巧」。「左程」即「那麼程度、那麼多」。「差上げます」。「即

送上、拿給你。」

【譯文】您要五十兩的牛筋。可是今天不湊巧沒有那麼多。儘所有的都送上吧（賣給的意思）

【釋義】「だけ」本是表示「只有、專是、僅々、」等意。在此處表示「儘量」的意思。「有多少便多少。將所有的統々」等意。

だけ有つて
【解】唯其是……
到底只有……才不愧
到底是……

例

(A)

昨日南京から一羽の『板鴨』を送つて來た。矢張り本場のものだけ有つて迎ても美味しかった。

【釋義】「矢張り」即「也、亦」。「本場」即「出產地」故「本場のもの」即「道地貨」。「迎ても」有非常、很之意。

【譯文】昨日從南京寄來一隻板鴨。到底是道地貨、非常味美。

(B) あの人には「スポーツマン」だけ有つてこんな寒い天氣なのに「ワイシャツ」一枚

で「ボート」を漕いで居る。

【釋義】「スポーツマン」即「sports man 運動家」。「いんな」是「這樣的」。「ワイシ

ヤツ」即「Yshirts。襯衫」。「ボート」即「Boat 小艇」。「漕いで」即「划船」。

【譯文】那個人終歸是（唯其是）運動家、像這樣的寒冷天氣、只是一件襯衫在那裏划

船。

【解說】「だけあつて」完全表示「唯其是這樣、到底不愧是、終歸是」等意。表示一

種欽佩、讚美、稱羨」等意。

例

(A) 幾ら利口でも子供は子供だけに幼稚な

處がある。

.....だけに
【解說】 總歸是

【釋義】「幾ら」是「無論如何」。

【譯文】無論怎樣聰明、小孩子總歸是小孩子、幼稚的地方還是有的。

(B) あの日本人の中華語は逆でも上手ですが外國人だけに調子の可笑しい處がありま

す。

【釋義】「逆ても」有「非常」之意。「上手」是「好極」。

【譯文】那個日本人的中國話，非常好。然而，外國人總歸是外國人，調子很可笑的地方還是有。

【解說】「だけに」表是雖然是怎樣好，可是總歸是……所以還是不行」之意，而前條「だけあつて」剛々相反。

……〔動詞四變〕だけ
 【解】 唯有這一點……

例

(A) 朝あさから晩ばんまで飯めしにも換かへない麻雀まじょんを遣やるだけ、君きみも意い×地ぢが無ない人だ。

【釋義】「朝から晩まで」即「自朝至暮」。

「飯にも換へない」即是「不能換飯吃」其意表示「不是能成事業的東西」。「遣る」在此處解作「打、做」等意。「意氣地が無い」即「沒有出息，不長進的。」

【譯文】自朝至暮專打着不能換飯吃的麻雀，只有這一點，你也是太不長進了。

(B) そんな不必要な事を何時までも議論するだけ、君も詰らない人だ。

【釋義】「何時までも」乃「無論何時、總是在……………」。「詰らない」乃「沒有意思」及

「無聊」等意。

【譯文】那樣不必要的事、儘在那裏議論、只有這一點、你也是太沒有意思。

【解說】平常「だけ」本解作「只是、唯有」等意。在此處接在動詞四變之下時、即表

示別的都好、只有這一椿事是怎麼怎麼的。

……………(體言) 丈(だけ)

【解】 這樣程度的、
那麼樣的、

例

(A) あれだけ君に盡力して遣つても、まだ

不平不満を溢して居るか?

【釋義】「遣つても」在此處乃補助動詞、表

示「替你」。「溢して居る」原解作「水滿溢出」之意。在此處解作「噤哩咕嚕的說着」

之意。

【譯文】那麼樣的替你盡力。還噤哩咕嚕的說着不平不滿的話嗎?

(B) 僕は彼奴にどれ丈、忠告したか分らない。どうしても聞いて呉れないから。とうとうあんな目に遭つたのだ。

【釋義】「彼奴」即「那個人」。「どうしても」乃「無論怎樣」「とうとう」是「終于」。

「目に遭つた」是「遇着那樣不幸的事」

【譯文】我對於他不知怎樣的忠告了。他總是不肯聽。終于遇着了那樣不幸的事。

【解說】此「だけ」接在「これ、あれ、どれ」等之下時。完全表示「是到了這樣的程度、費了那樣的力氣」等意。與原意解作「只是、唯有」不同了。

……代り
……代り
……代りに
……代りに

【解】以……代……
(都是接在動詞四變或「字下」)
(即是……的一段本應做、
而不做——用、底下的一
段來代替)
又表示「兩件事的交換」

例

(A) 近頃胃腸病に罹つて居るから

毎日御飯の代りに御粥を食へ

て居る。

【譯文】最近因患腸胃病、每日只

是吃粥來代替吃飯。(即是每日

吃粥而不吃飯。

(B) 私が君の爲めに此の文章を書いて上げるから其の代り、君が神保町へ行つて、經濟地理の本を探して呉れないか。

【釋義】「上げる」在此處是補助動詞當作「替你……」。「呉れないか」亦是補助動詞、解作「不可以替我……嗎」

【譯文】我來替你著這篇文章、可是可否請你到神保町去替我尋找經濟地理一書。(此句中即是說、我替你著文、然其交換條件、要請你替我去找書)

(C) 今日の圍棋試合大會で大いに敗れたが其の代り幾多の尊い經驗を得た。

【釋義】「試合」即「比賽」。

【譯文】今日的圍棋比賽大會、我是大敗了。可是得着許多的貴重的經驗。(即是說：圍棋雖是敗了、可是另一方面得着代價、得着許多的貴重經驗。)

(D) 農家畜産に關する統計を並べる代りに其の各國に對する比例を説明しやう。

【釋義】「並べる」即「並列、擺起來、書寫」

【譯文】 關於農家畜產之統計暫不列出、僅將其對於各國之比例來說明之。(即是：本應將統計列出、現在來說明其對於各國的比例、來代替列統計的事。)

(E) 今、日本の金が非常に^{かぬ}少く成つて居るから北平へ行く代りに日本に留學する事にした。

【釋義】 「少く」即「便易」、「事にした」乃「即這樣決定了」

【譯文】 現在日本的錢、非常便易、所以不去北平而決定留學日本。(即：以留學日本來代替去北平)

【解說】 「代り」和英語的 *instead of* 完全一樣的意思在中國的話裏面實在表現不出來。所以只要知道他的意義、是指一樁事件本應這樣辦、或是本打算這樣來辦、現在可是用另一樁事來代替他。此是一點。其次、一樁事雖沒有得着益處、可是另有一樣結果來補償他。此是二點。又其次、我來這樣替你做、可是你也來那樣的替我做、作為交換。此是第三點。

……かと思ふと

【解】 以爲是……可是……

(B)(A) 剛以爲……可是……

(以上是從第三者看來一種情景或事實)

剛要……就……

(D)(C) 一想到……就……

(以上是當事者本人的一種表示)

例

(A) 諸葛孔明は六回目に孟獲を擒

つて來た時、此奴は今度こそ

心から屈服するかと思ふと孟

獲はまたもや頭を横に振つて

中々屈服しない。

【釋義】「六回目」乃「第六回」。此

奴「乃指「此人」含輕視之意即「這個東西」。「今度」即此次。「こそ」乃加重語氣。

有唯有之意、故「今度こそ」即唯有此次之意。「心から」乃是「從心裡面」。「またも

や」即「又復」之意、「や」乃加重語氣。「頭を横に振つて」即「搖其首表示不肯」

之意。「中々」乃「很」之意。

【譯文】 諸葛孔明、在第六次擒着孟獲的時候、以爲唯有這次他總會心悅誠服吧：可是

孟獲又復把頭搖、很不肯屈服。

【解說】孔明第六回擒着孟獲的時候、以爲他這次總該屈服、可是結果剛々相反、孟獲

還是不肯屈服。所以「かと思ふと」是完全表示你以爲總該這樣吧、可是剛好不然。

(B) 二羽の燕が追ひつ追はれつ飛んで來て船の帆柱に突き當るかと思ふと又臚を掠めて飛んで行つた。

【釋義】「追ひつ追はれつ」是「互相追逐」之意。「帆柱」即「桅檣」。「突當る」是「碰

頭」。「臚」即「船尾」。

【譯文】二燕互相追逐飛來、剛以爲要碰着桅檣、可是轉瞬即掠過船尾而飛去。

【解說】「帆柱に突當るかと思ふと」是剛以爲要碰着桅檣、可是又……」所以「かと思ふと」在此種句子時、全是第三者看見一種光景、在第三者心中以爲是這下一定會這樣了、可是剛好不然。

(C) 周公はお客様を玄關迄送つてから再び食堂へ戻つて來て筷子を取らうかと思ふと又某賢士が訪ねて來た。

【釋義】「玄關」乃「大門口」。「食堂」即「飯廳」。「戻つて來て」即「重走回來」。「筷

子を取る」即「拿起筷子就食」之意。

【譯文】 周公將客送至大門口之後，又回到飯廳來。剛要拿起筷子，可是又有某賢士來

訪了。

【解說】 走回到飯廳，剛要拿起筷子，即是尚沒有拿起筷子而客人又已來了，所以「か

と思ふと」乃表示本人剛一要這樣做而尚未做的時候。可是底下又有別一椿事情發生了。

(D) 哥崙布が新大陸を發見した瞬間、自分はこれで大いに成功したのかと思ふと有頂天で何遍も双手を舉げて萬歳を絶叫した。

【釋義】 「自分」即自己。「これで」乃「即此」「因此」之意。「有頂天」乃「歡喜絕頂」之意。

【譯文】 哥崙布發見新大陸之瞬間，一想到自己就此大成功了，便歡喜達于極頂，不知無數次的舉起双手，絕叫萬歲。

【解說】 一想到自己即此大成功，就立刻歡喜得欲狂，所以在此處之「かと思ふと」是

當事者之本人、「剛一想到……………就……………」。

……………と思つたか……………

【解説】 也許以爲是……………

例

(A)

あの人は今度の試験に見込がないもの
だと思つたか、すつかり憂鬱になつて
居る。

【釋義】 「見込」乃「希望」「指望」之意。「すつかり」乃「完全」。「て居る」乃表「正

在」

【譯文】 那個人也許以爲對於這次的試驗沒有希望的吧……完全在憂鬱着。

【解説】 也許以爲沒有希望的原故、便憂鬱起來、所以「と思つたか」是第三者。先看

見當事者即文中之「あの人」憂鬱的結果、便猜想其原因、猜想那個人、或是在這樣
的想着吧。

(B) 泥棒はこれは空巢とでも思つたか僕が居る所に忍び這入つて來た。

【釋義】 「泥棒」即「竊賊」。「空巢」即「無人在家的空屋」。「とでも」之「でも」乃加

重語氣。「忍び」乃「輕々の」。

【譯文】 竊賊也許以為是空家吧、我坐在那裏、他居然偷々の閃進來了。

【解說】 同前。

(A) ……………と思つたら
 【解說】 以為是…可是…
 (B)(A) 以為是這樣…
 熟知大謬不然

例

(A) この人なら出来ることだらうと思つたら
 矢張り下手糞で中中遣つて行かれない
 い。

【釋義】 「なら」是「倘若、如果」之意。「下手糞」是表示「不能幹、糟糕」之意。「糞」是形容「其不能幹之甚」。「中中」是「很」「遣つて行かれない」是「不能做到」。「行く」是補助動詞、沒有「去」的意思、只表示事的進行、第一變化「か」接「れ」字可能助動詞。

【譯文】 以為倘若是他嗎、大概能夠辦得成、可是也不中用、很不能夠辦到。

【解說】 此處是第三者在想：以為那人他總能夠辦到吧：不過第三者在此句中被省略。

(B) 熱海あたりへ行つて湯治をすると胃腸病が直ると思つたら大間違。熱い湯に浸つて氣持が幾分好くなるが胃腸病は一向、直らない。

【釋義】「あたり」即「一帶」之意、「大間違」即「大錯」之意。「湯治」即「入浴療治」之意。「直る」即「治愈」、「氣持」即指「心胸、精神」等之意。「氣持が好い」即心胸暢快。

【譯文】以爲到熱海一帶去洗洗溫泉、胃腸病可以治愈、熟知大謬不然、浸在熱水裏面、心胸雖有幾分暢快、但胃腸病一向總不見好。

【解說】在此句「と思つたら」是當事者自身在想、他自己以爲是總該這樣這樣吧、可是不然。

(又) 球撞は無論技術の如何に依るが併し運の一つにも依る。これは優しいから當ると思つたら外れるし、これは難しいから駄目だと思つたら思ひがけない所で當つて仕舞ふ。

【釋義】「球撞」即「Billiard・打彈子」。「無論」乃「固然」。「併し」即「但是」。「運

即指「運氣」。「優しい」即「容易」。「當る」即「撞中」。「外れる」即「沒有撞中」。「駄目」即「糟了、無用」。「思ひがけない」即「想都沒有想到」。「仕舞ふ」即「完了」。

【譯文】 打彈子固依技術之如何、但亦看運氣。以為這是容易可以撞中、可是又打不中以為這是很難、糟了、可是又在一個想都沒有想到的地方打中了。

例

(A) (1) 君子は小節に拘らずその所信を披瀝して邁進しなければならぬ。

【釋義】 「邁進」即「一往直前」之意。

【譯文】 君子不拘于小節、披瀝其所信一往直前可也。

直前可也。

(2) 學生は修業の期間には政治に拘らず

(B)(A)に拘らず
.....にも拘らず(關らず)

【解說】

- 1. 不拘泥于.....
- 2. 雖然然而.....
- 3. 不關係于(不干與).....
- 4. 不管.....

(B) 雖然然而

専ら學問を勉強しなければならぬ。

【釋義】「修業の期間」即「求學時代」。「専ら」即「專心」。「勉強」是「用功」。

【譯文】學生在求學時代、不可關係于政治（或不可干與政治）、非專心致力於學問不可。
(3) 國から友達が尋ねて來て居るに拘らず依然本を讀み續けて一向構はない。

【釋義】「讀み續けて」是「繼續的讀」。「構はない」分兩種解說、一是「毫不要緊」。
或「全不在乎」。一是「不招呼、沒有款待」。

【譯文】雖然有友人自國內來訪、然而依然繼續看書、全不在乎。

【解說】「拘らず」本來有「不拘束」。「不拘泥」。「不管」之意。故亦可譯作「雖有友人從國內來訪、完全不管、仍繼續讀書」

(4) あの人は大通りの中に拘らず大きな聲で歌ひ出したのは一寸變な奴だな。

【釋義】「大通り」是「大街」。「一寸」是稍爲。「變な」是「奇怪」。「奴」是輕蔑語即「這個東西」。「な」是「感嘆詞」。

【譯文】那個人不管是大街市前、也大聲唱起歌來、真是怪物。

(B) 寒國北海道に來て居るにも拘はらず些つとも寒くありません。

【釋義】「北海道」是日本的北方的一個島。「些とも」是「一點都……」。

【譯文】雖然來到寒國的北海道、然而一點都不覺得冷。

【解說】此公式原意是「不拘于、不管、不爲所拘泥」等意。但此種意義一轉便可解作「雖然……然而……」之意。完全表示下句中之意義或結果與上句相反。

………を物語る

(を物語つて居る)

【解說】證實(說明)………

興味きょうみを持つて居るゐるかを物語つて居る。

【釋義】「問はず」即「不問」。「小僧」即「徒弟」。「小夥計」。「キャッチボール」即 Catching ball 一種野球(即棒球)投球的練習。「遣つて居る」即是「做」之意。此處乃「打着球」之意。「如何に」與底下之「か」相呼應、表示「怎樣的」。

【譯文】不問是學生。不問是小夥計到處都可看見他們在投球。此可證明日本國民對於

例

(A)

到處いたるところで學生がくせいを問はずこぞう小僧を問はずみな皆
「キャッチボール」を遣つて居るのが見
える。これは日本國民にほんこくみんが如何いかに野球やきうに

野球是怎樣的有興趣。

【解說】「物語る」本是講述故事。在此等句子中完全是「證明」之意。

(B) 日本にほんの學生がくせいは試驗しけんの時ときよく夜通しよどしで勉強べんきやうするに拘かはらずちつとも疲れつかを見せないのはその體質たいしつの如何いかに壯健さうけんであるかとを物語る。

【釋義】「夜通して」是「通宵達旦」。「に拘はらず」是「雖然然而」參照前面的「に拘はらず之公式」。「ちつとも」是「一點都……」、「見せない」即「不會現出」之意。

【譯文】日本學生在試驗的時候常常通宵達旦的用功然而一點也不現出疲勞的樣子、此可證明他們的體質是怎樣的強壯。

【解說】「見せない」の「は」之「の」字是代表一名詞一事物即是指「不現疲勞的」這椿事。「物語る」即表示證明之意。即是說這樣不現疲勞的事、證明了他們的體格是怎樣的強健。

……を見た
……を見らる
……を見るに至つた

【解説】

- (A) 表示得着一種結果
- (B) (即代替)を「字前面之字當動詞
- (C) 達到了一種的結果

思。僅是一種轉用法。

(B) 幾回いくわいの折衝せつしょうを重ねて漸やうやく再びふたたび海軍軍縮會議かいぐんぐんしゆくくわいぎの開催かいさいを見た。

【釋義】「折衝」即漢文本意即交涉之意。「重ねて」即重重複復じゅうじゅうふくふく做了好幾次之意。「開催」即開會。

【譯文】經過好幾次的交涉、好容易又再開海軍軍縮會議。(好容易得着會議的開催)

【解說】「海軍軍縮會議開催を見た」實則即可改寫作「海軍軍縮會議が開催した」所以

「見た」在此處僅是幫助「を」字上面之「開催」助其作一動詞。故遇此等句子時，可

例

(A) 十年じゅうねんの努力どりょくで漸やうやくその成功せいこうを見た。

【釋義】「漸く」(好容易)

【譯文】以十年之努力、好容易才得着成功

【解說】「その成功を見た」完全是表示得着

成功的結果、「見た」一點都沒有看見的意

立刻把「を見た」看成「した」。「した」即さ行變格動詞。第二變化之「し」接「た」字、表示過去完了而已。

(C) 憲法 けんぽう は十二月十日遂に其の發布を見るに至つた。

【釋義】「遂に」是（終之、終于）之意。

【譯文】憲法起草在十二月十日終至于發表了。

【解說】「發表を見るに至つた」即表示達到發表的步驟。「至つた」固可解作「至于」的意思其實意思很輕微。「見る」正如前條所述一樣。毫無「看見的意思僅表示得着一種結果而已。

(C)(B)(A)	最早 <small>もはや</small> …… のみ(或ばかり)
	最早 …… ない
	最早 …… ……
【解說】	既已 …… 則只有
(C)(B)(A)	已是 …… 已不

例

(A) 斯う虎の背中に乗つて居ると最早、乗つて居る儘に此奴の駈け廻るに任せらるのみだ。

【釋義】「斯う」乃（這樣）。「背中」即「背

「儘」照原不動。「此奴」乃（這個東西、即指虎而言）。「任かせる」（即任其）。「のみ」乃（只有）。

【譯文】 既已騎在虎背、只有騎着不動、任其亂跑而已。

【解說】 「最早」決非字面之最早之義。即是既然成那樣那樣的情形、則再不能怎樣怎樣、只有這樣這樣才可以。不過「再不能怎樣」這句、常常被省略。若不省去則例如
此段引例、也可寫作：

こう虎こらの背せなか中なかに乗のりつて居ゐると最早いちばん下くだりることが出で來きない、乘のりつて居ゐる儘まま此奴こいつの駈かけ廻まわるに任まかせるのみだ。

既已騎在虎背、則再不能下來、唯有騎着不動、任其亂跑而已。

(B) こんなに雪ゆきが降ふつて居ゐるから最早いちばん「ハイキング」がで出で來きない。

【釋義】 「こんなに」是表示（這樣之意）「ハイキング」即 *hiking*、是「徒步旅行」。

【譯文】 既然這樣的下着大雪、徒步旅行已不可能了。

【解說】 「最早」……「ない」即是表示上面一段話既然已如此如此、則其下面必早已

發生相反的結果。

(又) 王昭君は長安の門を出て番邦に這入つたら最早、漢元帝のものではない。

【釋義】「這入つたら」即「進入」之意。

【釋文】王昭君既然出長安門進入番邦、則早已再非漢元帝之物。

(C) 結納を濟して遣つたら最早、君の物だ。

【釋義】「結納」即（聘禮）。「濟して」是（弄完）之意。「遣つた」沒有原來「做」的意義、只是補助動詞。「たら」是（如果）。

【譯文】如果把聘禮旅定了、則已是你之所有了。

【解說】放定了聘禮、則再不能變改、已是你之所有、故「最早」是表示上面一段話若是這樣這樣、那末、再沒有問題、早已是決定了。

(C) 狼は獅子以上の兇暴きよぼうさを持つて居る。

【釋義】「持つて」原是（拿着）之意、在此是「有」之意。

【譯文】 狼有獅子以上之兇猛。

(又) その人はあなた以上の智慧ちゑを持つて居る。

【譯文】 那個人有比你以上之の智慧。

【解說】 「以上」在體言之下時、完全如字面的解釋。

(D) 氷は水より以上の冷つめたさがある。

【譯文】 氷較水更爲寒冷。

(又) 佛國ふつこくは其その空軍くうぐんの力ちからに於おいては美國べいこくの其それより、より以上の勢力ちからを持つて居る

【釋義】 「佛國」即「法國」。「於いては」即「其於……」。「美國の其れ」之「其れ」乃代表「空軍之力」。「其れより」之「より」。乃「較諸；比較」之意。「より以上」之「より」乃「更其」之意。

【譯文】 法國在其空軍之力量。則實比美國之空軍力量、有更大之勢力。

【譯文】 既把此書的內容詳爲說明、加之又代其翻譯。

【解說】 「上に」是表示（既已這樣做了之後、又加之那樣的做）。即是「上に」是對於做了的一樁事上面、加上又來一種作用之意。



例

(A) 我々は世界の偉人に成るように努力して勉強しなければならぬ。

【譯文】 我等必須努力用功俾能成世界偉人

(又) 轉ころばないやうに氣きを付つけて歩あるいていらつしやい。

【釋義】 「氣を付けて」即「留神；留心」。「轉ぶ」乃「趺交」。

【譯文】 請留意的走着、使不要跌倒吧！

【解說】 此「ように」不與一般之「ように」相同、故絕對不解作「様子」之意。只是表示一種目的、即指「ように」之上面一段爲其目的、其意即謂「爲得要做到這樣這樣的地步」。故解釋時除甚長之句子外均須先解「ように」下面之一段再轉到上面那一

(C) その本は僕も一と通り讀んだ。

【譯文】 那個書、我已照例的（通常的）讀了一遍。

文字通り

【解說】

正如字面一樣

一樣、歷盡許多困苦、才走來了。

【解說】 「通り」表示正和什麼什麼一樣；依照什麼什麼一樣的去辦；整個的表現事物或意思的一致。

(A) 前に述べた通りです。
(B) 前に述べた通り、
(以上述べた如く)

【解說】

正如前述

例

あの人は文字通り苦心^{せんしん}慘澹^{はんたん}で漸く^{やうやく}歩いて來た。

【譯文】 那個人正如千辛萬苦字面所表示的

例

(A) 國體^{こくたい}を以て君主國^{くんしゆこく}と共和國^{きやうわこく}との二つに區別^{くべつ}してあるのは前に述べた通りです

【釋義】 「通り」即「正如………一樣」。

【譯文】 以國體區別爲君主國與共和國之二者、乃正如前面所述一樣。

(B) 前に述べた通り君主國に於てその政體を又專制君主國と立憲君主國との二つに分けることが出来る。

【釋義】 「分ける」即「分爲、分作」之意。「出来る」即「可以、能夠」之意。

【譯文】 如前所述于君主國其政體又可分爲專制君主國與立憲君主國之二者。

【解說】 在(A)條之「區別してあるのは」之「の」字是代表一名詞爲全句之主格。「述べた通り」即是其說明語故此句乃指上述一段之事正如前述。在(B)條之「前に述べた通り」是當副詞句子用、乃指其下面之一段是「正如前述」。

初譯書者往往將(B)條之「前に述べた通り」亦如(A)條翻譯。以爲是總括其以上之一段句子、此乃大誤。極非注意不可。如在此處之(B)條「前に述べた通り」是寫在頭一句尙容易看出知指底下一段、如放在中間時、更非留意不可。

(B)(A)

それのみか

………〔四變〕のみか

【解】

豈但………

不僅………

例

(A)

日本の野球選手は米國の職業野球選手に比べれば其の技倆に於いて大差がある事は何人も認めて居る、其れのみか

體格の差違は實に日本野球選手をして追ひ駆けても追ひ付かないものがある。

【釋義】

「追ひ駆けて」即「追趕」。「追付かない」即「追不上」。

【譯文】

日本の野球選手與美國職業野球選手相比較起來、其技倆有大差別、是任何人所承認。不僅是如此、其體格之相差、實有使日本選手要追都追不上。

(B)

日本に於ける大臣は能く活動をして居るのみか年を取つてもまた能く運動を遣る内田鐵相の様にこの間「トーカー」に這入る爲めに猿又一つで「スカル」を漕いで

居る事さへ有つた。

【釋義】

「年が取つても」即「雖是上了年紀」。「この間」即「前幾天」。「トーカー」即「有聲電影」。「猿又」即「短褲」。「スカル」即「小船」。「漕いで」即「划船」。

【譯文】 日本的大臣、豈但是很能活動、就是年老了尙且常做運動、如內田鐵相、在前幾天、爲得攝製有聲電影、只穿着一條短褲、划着小船。

それよりも

【解】 與其是那様……………

例

(A) 運動が不足であると色々な病氣が起つ

て來るから毎朝「マラソン」を遣るの

も一つの方法であるがそれよりも朝起

きてから冷水摩擦をして夜寝る前に入浴する方が仍簡單で効目が宜い。

【釋義】 「起つて」乃「發生」。「マラソン」即「長距離賽跑」。

【譯文】 運動若不足。就會發生種々疾病、所以每晨長距離練跑固是一種方法。然與其

那樣不如清晨起床之後、行冷水摩擦、夜晚就寢前入浴、更是簡單而有効果。

(B) 政治舞臺に立つて能く國家の爲めに働くのも好いがそれよりも教育に力を入れて

教育の普及を計る方が緊急な事である。

【譯文】 站在政治舞臺爲國家而工作雖然很好，然與其那樣不如致力於教育以圖教育之普及反爲緊要。

【解說】 「それ」即指「那樣」。「よりも」即「比較」故「それよりも」即「比較那樣，倒不如這樣」之意。

……… [四變] よりも寧ろ………

【解】 與其………毋寧………

與其………倒不如………

例

(A) 人に絶つて就職運動をするよりも寧ろ

自分の腕で働いた方が餘程好いんだ。

【釋義】 「絶つて」乃「請求；攀援；請託；」

等意。「働いた方が」即「工作」。「方が」乃指這樣的做法。

【譯文】 與其攀援他人爲就職運動，不如用自己的手腕（本領；能力）工作起來反倒好

多了。

(又) あの人は學者と言ふよりも寧ろ政治家の素質を持つて居る。

【譯文】 那個人與其說是學者，倒是很有政治家的素質。

(又) 冬に於いては登山するよりも寧ろ「スキー」をやる方が宜しい。

【譯文】 在冬天與其登山不如「スキー」(滑雪)更好。

【解說】 「よりも」即比較之意。比較着與其那樣。「寧ろ」即毋寧這樣。亦有「上面無」よりも」而單用「寧ろ」一個字者。可解作「真可說是；更其；的確」等意。

(A)こととなつて居る
 (B)ことになつて居る

【解】 (表示已規定如此。)(即已變成這樣。)
 (表示爲其舊例。)(已現成是這樣。)

(故解說時可解出來、而翻譯時不必一定翻譯出)

例

(A) この學校では學生が午前七時講堂に集つて「ラヂオ」

體操を遣ることになつて居る。

【釋義】 「ラヂオ」即「radio・播音」。ラヂオ體操」乃由播音中喊口令、全市民依照口令而動作之體操、盛行于日本。「遣る」即「做；爲」之意。

【譯文】 在這個學校、是規定學生在午前七時、齊集講堂(禮堂)做ラヂオ體操。

(B) 順天堂には初の外來患者が先づ二圓の診察料を納めた後、診察を受けることと

なつて居る。

【譯文】 順天堂(病院)、規定着初次外來患者(即未住病院的)、先納二圓診察費、其後再受診察。

【解説】 「こと」即「事」。「となつて居る」即「變成」蓋「なつて」即「成る」第二變促音便加「て」字。不過此種「こととなつて居る」、或「になつて居る」都是表示已成爲這樣的「定例；定規」去了、不是說「從此來變成」而是說「已往已變成是這樣」。

例

(A) 今度の卒業旅行は關西の方面に極つて居る。

【體言】に 極つて居る
 【四變】(は) 定好了
 【體言】に 極つて居る
 【四變】(は) 一定的(等于「勿論」)
 【解】 不用說(等于「勿論」)

【譯文】 此次卒業旅行、定好在關西方面。

(又) この貸間かしまはもう極つて居ますか？

【譯文】 這個貸間、已定好了嗎？(已定下了嗎)。

【解説】 「極つて」乃「極まる」之第二變化變促音便加「て」字。「居る」表示時間進

行、「正在；正正」等意。「極まる」即有解作「定好之意」，故「極つて居る」即照原意解釋。但下面(B)例，則大不然，完全表示「當然的；不用說的」之意。

(B) 雪が降つて居るから氣候の寒くなるのは極つて居る。

【解說】 因爲在下雪，天氣變寒，乃是當然的（一定的）

(又) 僅か二十圓の月給を取つて居るから飛行機に乗れないことは極つて居るさ。

【釋義】 「僅か」即「僅少」之意。「乗れない」乃「乗られない」之意。即「不能乘」

「さ」乃感嘆詞。

【譯文】 僅々拿二十圓的月薪，其不能乘飛行機，當然不用說。

(又) 君は餘程、惡作劇が好きだから、その事をしたのも、君に極つて居る。

【釋義】 「餘程」乃「很」。「をした」乃做了。「の」乃代表「事情」。

【譯文】 因爲你很喜歡惡作劇，所以做那件事的，也一定是你。

(又) 愛人の招待だから此奴が行くに極つて居る。

【釋義】 「此奴」乃「這個東西」。爲罵人口吻。然有時親友間亦用之。

【譯文】 因爲是愛人招請，他一定是去的。

【解說】 「極つて居る」在此種句子中時，完全表示當然又當然；簡直不用懷疑；何消說得；」等意。可比方說「太陽從東方出來，是極つて居る」，『月亮在夜裏出來也是「極つて居る」之事』諸如此類。

さもなければ

【解】 如其不然；

倘或不是；

否則……………

例

(A) 君は早く極めた方が好からう！さもな

ければ、他人に取られて仕舞ふ。

【釋義】 「極めた」是「弄定；定好；」。「好

からう」是「好い之かり活用」解作「好吧！豈不甚善」之意。「仕舞ふ」乃補助動詞、「完了」之意。

【譯文】 你趕快定下來更好吧！不然，便會被別人拿去。

(又) 君は日本に來る積りなら、早く來給へ！さもなければ、後に日本の金が高くなつたら來られないせ！

【釋義】「積り」乃「打算」「なら」乃「倘若；如果」。「來給へ」即來て下さい；來なさい；不過「給へ」無「下さい」那樣客氣。用于親友間之命令法。「高くなつたら」即「如果變貴」、「たら」即「如果之意。」

【譯文】 如果你是打算來日本、便趕快的來吧！否則、以後、如果日本錢變貴、便不能來了。

【解說】「さもなくば」「之」「なければ」「乃」「ない」字第五變加「ば」。「さも」即指「那樣」。即是「倘若不那樣」之意故解作「倘或不然；否則」等意。

さなきだに (副詞) (文言)
【解】 縱不能如此；
即使不然。

の傾向にすらある。

例

(A) 然るに漁村の方面には何等斯かる設備も無くさなきだに原始的な漁業が何時迄も等閑視され進歩は愚か、其の退歩

【釋義】「愚」乃解作「不用說；不僅是；」可參看此條公式。「すら」即「甚至；尙且

」等意。

【譯文】 然而、漁村方面、毫無此等設備、縱不如此、其原始的漁業、終被視作等閑（即等閑付之）、其進步固無待言、甚且有退步之傾向。

【解說】 「さなきだに」即等於「それでなくとも」（即使不是這樣）或解作「しからずとも」（縱令不然）表示其上面一段事情、「縱不盡是這樣、可是總是怎樣怎樣的不完美」之意。

(A) どんなに……ても(でも)

(B) どんな……ても(でも)

【解】 無論怎樣……也……

例

(A) 社會に對して役に立つ事ならどんなに辛くても遣り通さなければなら
ない。

【釋義】 「役に立つ」即（有益）。「遣り通す」（即一直辦去）。

【譯文】 對於社會有益的事無論遇着怎樣的困難也非一直辦去不可。

(又) 彼的人是金持ですが品性が悪いからどんなに威張つても誰も彼を敬服する人が

ない。

【釋義】「金持」即（富翁）。「威張る」即（驕傲）。

【譯文】那個人雖然是富翁因爲品行不好無論怎樣自傲也沒有誰敬服他。

(B) どんな英雄でも全然誤りのない事はない。

【譯文】無論怎樣的英雄全然無誤的事是沒有。

(又) あの人は大馬鹿ですからどんな事でも平氣で遣るのです。

【釋義】「大馬鹿」即（非常愚蠢）。「平氣」即（不在乎）

【譯文】因爲那個人是個大傻瓜無論怎樣的都滿不在乎的做去。

何^などなく

【解】不知何故的；

自然而然的；

(A)

例

盛夏^{せいいか}の候^{こう}と成^なれば快晴^{くわいせい}の日^ひでも空氣^{くうき}は水氣^{すゐこん}を含^{ふく}んで何^などなく夕立^{ゆふだち}の雲^{くも}でも起^{おこ}りさうに思^{おも}はれる。

【釋義】「でも」乃「雖是」。「夕立」乃「驟雨」。「起りさう」是「似乎要起」。「ゆふだち」

接在「動二變、均解似乎」。「雲でも」乃「或許有雲、都……」。

【譯文】一到盛夏之候、雖是快晴之日、而空氣含着水分、不知怎樣的總覺得似乎有驟雨的雲會發生。

(B) 東京に住んで居る間、仕事の餘り忙しかつた所爲か何となく不愉快勝ちで仕様がなかが昨日温泉に這入つて來たら迎も好い心持だつた。

【釋義】「間」即「期間」。「所爲」乃「所致；緣故」可參看此項公式。「勝ち」乃「容易；動輒」之意。「仕様がなかが」乃「無法、」可參看此項公式。「たら」乃「一旦……就」。

【譯文】住在東京、也許是因工作太忙之故吧、不知何故總是不愉快。沒有辦法。然而、昨日一到温泉洗一洗回來。非常舒暢了。

【解說】「何となく」表現一個人的心境。不自知其然；無原因的、無理由的、就是這麼覺得、自己也不懂是什麼原故。一種自然而然的發露。用於現實的事情。

.....〔四變〕ともなく
 【解】也並不是.....
 也並不知道.....
 並不一定是.....

例

(A) 中學時代から手紙を書く必要の有る度
 に誰に習ふともなく唯だ思ふ儘を平常
 の言葉で書くのである。

【釋義】「手紙」即「信札」。「度に」即「每次」。「思ふ儘」即「想着怎樣就怎樣」、「言葉」即「話」。

【譯文】中學時代在每次有寫信必要的時候、也並沒有向誰學習、只是把自己所想着的、用平常的話寫起來。

(B) 其の少年が一生懸命に働いて而も品物を出來る丈安く賣るから町では誰から言ふともなく「あの店は正直だ！品物は逆も安くて好い」と言ふ評判が擴げて行く。

【釋義】「一生懸命」即「拼命努力」。「働いて」即「工作」。「出來る丈」即「儘其可能」。「擴げて」即「廣播、擴大」。

【譯文】 那個少年拼命工作而物品又儘量的廉價出賣，在那一帶街上也並不一定是誰說的，說是「那個店舖正直得很，東西便易又好」。這樣的批判，逐漸廣播起來。

【解說】 「ともなく」表示並不一定是從誰來學習，或是誰在那裏說，只是自然而然而有這麼一回事。

(A) どうして

【解】 爲什麼

(B) どうしても

【解】 無論如何

例

(A) 君はどうして昨日遊あそびに來こなかつたか

?

【釋義】 「なかつた」乃「ない」之過去。

【譯文】 你昨天爲什麼不來玩？

(又) 今日はどうして、こんなに、寒いでせう。

【譯文】 今天爲什麼會這樣的冷？

【解說】 「どう」即「如何」。「どうして」之「して」即「さ」變動詞第二變加「て」字。

解作「爲、幹、」等意。故「どうして」即「幹什麼；爲什麼」之意。

(B) 今日は試験しけんが有あるから、どうしても、學校がくかうへ行いかなければならぬ。

【釋義】「なければならぬ」可參照此條公式。即「不可不」「非……不可。」

【譯文】今天因為有試驗、無論如何、非去學校不可。

【解說】「どうしても」之「ても」表示「雖然」之意。故「どうしても」即是「雖然

這麼做；隨你幹什麼」；其意即表示出一種決心、故可解作「無論怎樣、無論如何。」

飽あくまでも

【解】無論如何：

堅持到底：

頑強到底：

(A)

例

我々も彼かれの様ような高貴かうきな野心やんしん即ち青雲せいうんの志こころざしを抱いだかねばならぬ、そして其それを達たつする爲ために飽あくまでも努力ごりよくしなければ

ばならぬ。

【釋義】「ねばならぬ」即「非……不可」。「爲めに」乃「爲得」。

【譯文】我們也不可不像他那樣抱着高貴之野心即青雲之志。而爲得達到這事起見、

則無論如何非努力不可。

(B) 我々正義の爲めに人道の爲めに飽くまでこの悪魔と戦はなければならない。

【譯文】 我們爲正義爲人道、都非堅持到底來和此惡魔相戰不可。

(C) 其の人が頑固だから自己の主張を飽くまで固持して居る。

【譯文】 那人因是頑固、所以自己的主張總是頑強到底來固執。

【解說】 「飽足」原是「飽足」之意。一轉解作「討厭或厭棄」蓋「過飽則生厭」。「ま

で」乃「爲止」、故「飽くまで」即「到生厭爲止」沒有生厭以前、總是幹着。所以又

再轉用解爲「無論如何；到底總要」等意。

(A)	幾ら………でも
【解】	無論怎樣的………
(B)	幾らでも………有る
【解】	不論多少都有………

例

(A) 君が若し日本小説を讀みたいと言ふな

(B例)

らば僕の所では幾らでも有るが中國の

(A例)

(A例)

小説なら、幾ら君が要求しても無い物

は仕方がない。

【釋義】「無い物は」乃「沒有的東西」。仕方がない」乃「無法」。

(B例)

(A例)

【譯文】你若說要看日本小說、我那個地方要多少都有。若是中國小說、那無論怎樣要求沒有的東西總歸沒有法子。

(又) 幾ら君が酒を飲めと勸めても酒に弱い僕は、飲んでも飲めない。

【釋義】「飲めと勸めて」之「飲め」乃命令法。即「喝吧」命令人喝之意。「酒に弱い」即「不會喝酒」之意。「飲めない」乃「飲まれない」之約、即「不能飲」。

【譯文】無論你怎樣勸我飲酒、不會喝酒的我、要喝也不能喝。

【解說】「幾ら……ても」即「隨你怎樣可是……」此處「幾ら」不解作「幾多錢」。須注意。又「幾らでも有る」即是「要多少有多少」之意。

例

(A) 縦令槍が降つても今日は出發しなければならぬ。

(A) たとへ……ても(とも)
(B) よし……ても

【解】 縦令……然……
即使……然……

【譯文】 縦令今天落槍、也非出發不可。

(又) 縱令決裂を賭してまでも仍自分の主張を貫徹させる決心である。

【釋義】「まで」乃插入在「ても」之中間、加重語氣、表示「甚至」之意。「させる」乃「使役助動詞」。

【譯文】即使拼着決裂、也決心要把自己的主張使之貫徹。

(B) よし君が行かなくても僕一人りで行くんだ。

【釋義】「行くんだ」之「ん」即「の」字所變來者、即「行くのだ」。「の」在此代替一事情。即「我是去的」之「的」字。

【譯文】即使你不去、我一個人也是要去的。

(又) よし今度の會議が成功しなくても、流産する迄だ。大した事は有るまい。

【釋義】「迄だ」解作「只是；不過」之意。「大した事」乃「了不得的事」「まい」乃「怕不；恐不」。

【譯文】此次會議即使不成功、也不過是流產。不見得有什麼了不得的事。

(B)(A)

.....にせよ.....
にしろ.....
 【解】 無論：即使：
 就算是.....

(A)

例

君は其の事が嫌ひだと言ふにせよ併し
 いざと言ふ場合になると、君は矢張り
 しなければならぬぞ！

【釋義】 「嫌ひ」即「討嫌；不願」。「いざ」即「萬一的時候；緊迫的時候；事急の時

候」。「矢張り」即「也是」。「しなければならぬ」即「不可不做」。「ぞ」乃感嘆詞、
 帶點威嚇的口吻。

【譯文】 即使你說不喜歡那樁事、可是到了萬一的時候、你也非做不可。

(B) 教授にしる學生にしる皆人間だから、學問の差が有つても社會に於いては平等だ

【譯文】 無論教授、無論學生、都是人類、所以學問雖有差別、然在社會、終是平等。

(又) これは拙い物にしる親から贈つた物だから重寶にしなくてはならない。

【譯文】 此雖是不好的東是也：然而而是父母所賜故非寶貴不可。

【解說】 「にせよ」「にしる」本爲「さ變動詞命令法」。此處轉用、解如上述、表示「縱

然是……可是也要」或「無論是怎樣」等意。

(C)(B)(A)

……「一變」なければならぬ
……しなければならぬ
……せねばならぬ

【解】不可不……

非……不可。
必須……

例

(A) 國際智識を得る爲めには新聞を讀まなければならぬ。

ければならぬ。

【譯文】 欲求得國際智識、非讀報不可。

(又) 今日は行かなければならぬ所が有るから、これで失禮します。

【釋義】 「失禮します」即「對不起」此處表示「告辭」。

【譯文】 今天有非去不可的地方、即此告辭。

(B) 今は入學試験の爲めに毎日勉強しなければならぬ。

【譯文】 現在爲入學試験の原故、每天非用功不可。

【解説】 「ない」字之第五變化即「なけれ」再加「ば」、即「倘若不……則」。「なら」是

「成る」之第一變、「ならない」即「成る」第一變加否定之「ない」解作「不成」故

「なければならぬ」即「如果不……則不成」。

(C) 今日より十日まで當事務室へ提出せねばならぬ。

【譯文】 從今日起至十日至、非向該事務室提出不可。

【解說】 「せねば」即等于「しなれば」。而「ならぬ」即等于「ならない」。

……【禮言】でなくて何であらう

【解】 非……而何？

不是……究是什麼？

(A) 例

朝十時から漸つと起きて十二時に成ると漸く朝飯を取つて一日の半分を無駄に送つたこんな生活は墮落でなくて何

であらう？

【釋義】 「漸つと」乃「好容易」。「取つて」在此處即「就食」之意。「無駄」乃「無用的；無意義的」。

【譯文】 朝晨從十時才起來、十二時才吃早飯、將半日、無意義的白度過、這樣的生活、

不是墮落是什麼？

又) 七歳にして鋼琴を弾けるのは天才でなくて何であらう。

【譯文】 七歲而能彈鋼琴、非天才而何？

【解說】 「でなくて」即「でない」之第二變化加「て」字。「でない」解作「不是」。用

第二變化加「て」、有「如其不是」之意。「であらう」即等于「でせう」解作「是……

呢」故「何であらう」即是「是什麼呢？」所以此公式即是「一半詰問而其實即有斷

定之意」。如第二例所說「不是天才、那末究竟是什麼？你說吧！」說不出 還不是我

說的天才嗎？即自己肯定的句子。

(A) 是非 ぜひ
 (B) 是が非でも ぜがひでも
 (C) 是非共 ぜひとも

【解】 務必；無論如何；

例

(A) 明日は私達の誕生日ですから是非遊び

に來て下さい。

【譯文】 明日是我的生日、務必請來玩。

(又) 今日は試験があるから是非學校へ行かなければならないので君の話は此の次に

しやう。

【譯文】 今天因為有試驗、無論如何非去學校不可、你的話下次再說吧！

(B) 其の畫は國寶である故、是が非でも、取り戻さなくてはならない。

【釋義】 「取り戻す」乃「取回」。

【譯文】 因此畫乃國寶之故、無論如何、非取回不可。

(C) 今度花見に日本に來るならば非共君の細君を連れて來て見せて遣りなさい。

【釋義】 「花見」即「看花」多是指看櫻花。「細君」即「太太」「連れて」即「帶來」。

「遣りなさい」乃補助動詞「讓他……」

【譯文】 這次如來日本看櫻花、無論如何請帶太太來、讓她也看看。

【解說】 「是非」乃「不管是非」「總要這樣」之意。

(A)	………	〔四變〕	のに
		【解】	反而
			可是
(B)	………	〔四變〕	のに
		【解】	對子

例

(A) 雪が降つて居るのに少しも寒くない。

【譯文】 在下雪、可是一點都不冷。

(又) こんなに勉強して居るのに些とも進

歩しない。

【譯文】 這樣的用功、可是一點都不進步。

(又) 折角上げたのに何故棄てたか？

【譯文】 好意送給你的、爲什麼反而丟掉？

【解說】 「のに」完全表示上下兩句結果相反、「是這麼這麼來着反例……」。

(B) その人の日本語の上手であるのに驚いた。

【譯文】 對於那個人日本語說得好、真是驚奇。

(又) 日本の交通機關がこれ程發達して居るのに感心した。

【譯文】 對於日本之交通機關這樣的發達、真佩服極了。

【解說】 此處之「のに」不是像前條來表示「反而、可是」、其「の」字乃代表一樁事、

「に」即對子。故特提出比較、以免誤解誤用。

(B)	(A)
………	………
〔四變〕から	〔四變〕ので
【解】 因爲………所以	

例

(A) 餘り勉強して居るのでとうとう／＼神經衰

弱になつて仕舞つた。

【譯文】 因爲太過于用功、所以終究變成了神經衰弱。

(又) 新年中食ひ過ぎたので胃腸病に罹つた。

【譯文】 因爲新年中吃得過度、患起胃腸病來了。

(B) 手許に字引がないから難しい漢字が出ると弱つて仕舞ふ。

【釋義】 「手許」乃「手邊；手頭」。「字引」即「字典」。「弱つて」即「弱る」之第二

變促音便加「て」字」在此處解作「困難；爲難；」等義、與「困る」相同。

【譯文】 因爲手邊沒有字典。所以每遇着爲難的漢字、就爲難得很。

【解說】 「ので」與「から」接在「四變」之下時、都解作「因爲所以」之意。

(A)	……… (四變) からとて
【解】	雖說是……… 然而………
(B)	さらばとて (文言)
【解】	雖然然而

例

(A) 雪が降つて居るからとて學校を休む譯

にも行かない。

【釋義】 「學校を休む」乃「不去學校；缺

課」之意。「譯にも行かない」乃「斷無此理；不能；不可以」、等意。

【譯文】 雖說是正下着雪、然而也不可缺課。

(又) 新年だからとて酒を餘り飲み過ぎても、健康を害するから、好い加減にしたら好からう。

【釋義】 「餘り」「太過」之意。「飲み過ぎ」乃「飲過度」。「好い加減」可參照此條公式。

即「適可而止；斟酌的辦；」等意。「したら」之「し」乃「變動詞第二」。「たら」即「倘若、如果」。「好からう」乃「かり活用」。即「好吧！」。

【譯文】 雖說是新年。然太飲酒過度。也有害于健康，不如適可而止的好吧。

【解說】 「からとて」即「からと言つて」之略省。「から」是解作「因爲」。故「からと言つて」即表示「說是因爲那樣々々吧？」而底下含有「可是……然而」之逆意。即表示「不能說是因爲那樣々々の原故。而……」故即可作「雖說是……然而……」之意。

(B) 「ザール」投票は大概獨逸側が有利である様に見える。さればとて必ずしも「ザール」が獨逸に復歸するとは斷言出来ない。

【釋義】「ザール」乃地方名、原爲德國領土、大戰後改爲聯盟委任統治、規定在一九三

五年投票以決其究屬德？抑屬法？抑仍維持現狀？

【釋文】「ザール」投票、大致似於德國方面爲有利。雖然如此。然亦不能斷言「ザール」

一定能復歸于德國。

【解說】「さればとて」即「さればと言つて」之略。「されば」文言之第五變之「ば」

等于口語之「から」解作「因爲」故「さればとて」亦即口語之「さうするからと言つて」即「雖說是那麼樣、可是……」

(A) ……からとて……

【解】 雖說是……也決不可以……
してはいけない

(B) ……からとて……

【解】 雖說是……也不應……
ものではない

ない」乃「不可」。

例

(A) 一介いっかいの學生がくせいだからとて輕蔑けいべつしてはいけ

ない。

【釋義】「とて」乃「と言つて」之略。「いけ

【譯文】雖說是一介學生、也決不可以輕蔑。

(B) あの事はどうせ駄目だからとて抛つて置くものではない。

【釋義】「どうせ」乃「反正、横豎」之意。「駄目」乃「不成功；無用」之意。「抛つて置く」乃「置之不理」之意。

【譯文】雖說是那件事反正不成功，也不應置之不理。

【解說】「だから」原意爲「因爲是，所以」之意。「とて」即「と言つて」之省略，即是「說……」之意。所以「からとて」即表示「雖說因爲是這樣這樣，所以便想怎樣怎樣嗎。可是不行」。即是「不能說因爲是這樣，而可以隨便了。」

【譯文】「だから」原意爲「因爲是，所以」之意。「とて」即「と言つて」之省略，即是「說……」之意。所以「からとて」即表示「雖說因爲是這樣這樣，所以便想怎樣怎樣嗎。可是不行」。即是「不能說因爲是這樣，而可以隨便了。」

【譯文】「だから」原意爲「因爲是，所以」之意。「とて」即「と言つて」之省略，即是「說……」之意。所以「からとて」即表示「雖說因爲是這樣這樣，所以便想怎樣怎樣嗎。可是不行」。即是「不能說因爲是這樣，而可以隨便了。」

(A)	恰も……やう	(口語)
(B)	宛も……やう	(文言)

【解】恰像……如く……
宛如……

例

(A) あの人の話は恰も機關銃のやうに早く

て聞き取れない。

【釋義】「機關銃」即「機關槍」。「聞き取れない」即「聽不清；聽不進。」

【譯文】那個人的說話、恰像機關槍似的、快得聽不懂。

【譯文】那個人的說話、恰像機關槍似的、快得聽不懂。

(又) 此の飛行機は恰かも蜻蛉のやうな形をして居る。

【譯文】 此飛行機。恰似蜻蛉的形狀。

【解說】 「恰も」或寫作「宛も」正與字面解釋一樣「恰如、宛如」等意。

(B) 處には宛も戦争でもして居る如く、大勢の人が左往右往して居る。

【釋義】 「戦争でも」之「でも」乃加重語氣。表示「甚至連」等意「即甚至連戦争都

……。「大勢」即「多」。

【譯文】 彼處宛如戦争、多數人正左往右來。

【解說】 「如く」是文言之比况助動詞、等于口語之「やうに」。即中國語之「如」字。

例

(A) 小鳥の聲だとか 蟬の聲だとかは外的

とでも言ふのか、外に現れる様な趣を持つて居るが蟲の音は内的である。

……とでも言ふのか

【解】 甚至可說是……吧

【釋義】「趣」即「趣味」。

【譯文】小鳥的聲音、或是蟬的聲音、都甚至可說是外的聲音吧、因有表現在外面的趣味。然而蟲的聲音、則是內的聲音。

(B) あの人ひとは天才てんさいとでも言ふのか、英語えいごや佛語ぶつごや獨逸語どいつご等は言ふまでも無く、希臘語ギリシャごと拉丁語ちてんごでさへも二月ふそつきの内にうちにすつかり上達じやうたつした。

【釋義】「佛語」、「法國話」；「獨逸語」「德國話」「さへも」乃「連」；「言ふまでも無く」乃「不用說、」可參看此項公式、「すつかり」乃「完全」。「上達」乃「熟練；通熟、非常好。」

【釋文】那個人甚至可說是天才吧！英語法語德語等不用說、即希臘語拉丁語都只是兩箇月中完全學好了。

【解說】「とでも言ふのか」之「でも」乃插進去的加重語氣表示「甚至」。「言ふのか」是「可以說吧」之意、故此公式即是表示一種自己驚嘆語、以爲那個人或那樁事、可以說是這樣這樣的吧！

……とは言へ……
 【解】 雖説……然而……
 固是……然而……

(A) 例

其の家は今没落して居るとは言へ流石
 由緒有る家柄の事で其の子弟達は皆氣
 質が上品で禮儀正し。

【釋義】「流石」即「無怪乎；終歸是；」等意。可參看此項公式。「由緒有る」即「有

來歴；有深遠歷史；有光榮歷史」。「家柄」即「門閥」

【譯文】那一家現在雖說是沒落，然終歸是有來歷的門第。其子弟都是氣質很上品、禮

儀很端正。

(B) 日本にの土地は狹小とは言へ其の土地の沃饒は科學原理の應用と相俟つてその生産

高は實に豊富である。

【釋義】「生産高」即「生産額」。「と相俟つて」即「兩者相輔」。可參看此項公式。

【譯文】日本の土地固是狹小、然其土地沃饒、又因應用科學原理、其生産額實在豊富。

【解說】「とは言へ」即示表示「固然可以這樣說；可是……」下面一句總是表示相反的

結果。

言はば……………

【解】 可說是……………

說起來即……………是也。

例

(A) 東京は僕に取つては言はば、第二の故

郷のもんだな!

【釋義】 「に取つては」可參看此條公式。即

解作「對於；從……看來；」等意。「もん」即「もの」之變成、「だな」之「だ」即「是」字之意、「な」感嘆詞。

【譯文】 東京在我看來、可說是第二故鄉!

(又) 戰爭と言ふものは言はば人間の不平不滿を清算する眞劍の芝居だ。

【釋義】 「眞劍」即「認真」之意。「芝居」是「戲劇」。

【譯文】 所謂戰爭這樣事情、說起來、即是清算人們的不平不滿認真的戲劇。

【解說】 「言はば」是「言ふ」之第一變化加「ば」字。文言之動詞、其第一變化、可加

「ば」等于口語第五變化加「ば」、表示「如果……則……」之意。此處是文言的轉用、

解作「倘一說起來、則……」即可解作「說起來即……是也；」或因其意而解作「可說
是……」等々。

……「四變」ものの
(と言ふものの)
【解】固是……然而……
雖說是……

然だ。

例

(A) 國際聯盟は世界各國の平和を圖る爲めに造つた團體だと言ふものの實際に於いては歐美各強大國の御用機關と同じ

【譯文】 國際聯盟、雖說是爲圖謀世界各國之和平而設之團體、然而實際等于歐美各強

大國之御用機關。

(B) 醫學は今日に至つては其の驚くべき進歩は呈して居るものの一方に於いては患者が前よりも激増して居て醫者は何れも商賣大繁昌の體で此れは醫學の前途のまた遼遠であることを如實に物語つて居る。

【釋義】 「べき」乃文語、即「可」之意。「何れも」乃「不論何者」。「如實に」即「如

事實一樣。「物語つてゐる」乃「證明」。可參看此頃公式。

【譯文】醫學在今日、雖說是呈可驚之進步、然在他方、患者較前激增、醫師都生意興隆。此可證明醫學前途實是遼遠。

【解說】「言ふものの」即「言ふものが」未了之「の」字即有「が」字之意。解作「但是」。故「言ふものの」即「雖說是、但是……」之意。

○○と言ふ○○
(人と言ふ人)
(家と言ふ家)
【解】(A) 凡是一切的人、
凡所有的家屋、
凡是有點像家屋的房子
(B)

例

(A) 海岸に長さ四十尺の大鯨が引き上げられたので町の人と言ふ人皆見に行つた
【釋義】「引き上げる」即「拉起來；拉上

來；」「られ」乃「被役助動詞」。「町」即「街」。

【譯文】在海岸拉起一條長四十尺的大鯨魚、街上所有一切的人（凡是可稱得起「人」的都……）都去看。

(E) 今度の大火事は實に空前のもので其の町の家と言ふ家が皆焼けて仕舞つた。

【釋義】「仕舞つた」乃補助動詞、即「完了」之意。

【譯文】這次大火災、實是空前的災禍。街上所有一切的房子、（凡是可叫着「房子」的）都燒完了。

【解說】「○○と言ふ○○」此「と言ふ」即是表示「凡可稱作」之意。故「道と言ふ道」即「凡是一切道路」。「船と言ふ船」即「一切的船隻」。

(A) なんと……ではないか
 【解】豈不是……是怎樣……呵……

(B) 何と言ふ……であらう
 【解】真是說不像的……這是怎樣的……呵……

例

(A) 彼は「俺が將來あの議事堂を舞臺にして腕を振るのさ」と微笑んだ。なんと驚くべき抱負ではないか、

【釋義】「腕を振る」乃「發揮手腕、大展其才」。「さ」乃感嘆詞。

【譯文】那個人微笑着說：「我將來要把那個議事堂當作舞臺、大揮其手腕哩」。這是怎樣可驚的抱負呵！

(B) 日本人は徹底的性を持つて居る。圍碁に就いて言つても此れは元、中國の發明したものであるが日本人が之を徹底的に研究する爲めに今は圍碁と言ふと全く日本人の右に出る者が無い。この徹底性は何と言ふ素晴しい國民性であらう。

【釋義】「元」即「元來」。「素晴しい」即「非常好，美妙」。

【譯文】 日本人有徹底性。即就圍碁來說，元來是中國發明的。因日本人徹底研究之故，現在一談到圍碁，完全無出于日本人之右者（不能勝似日本人）此種徹底性是怎樣可羨可贊的國民性呵。

【解說】「なんと……ではないか」與「何と言ふ……であらう」都是表是一種驚嘆欽佩的口吻，是一種曲的，而不是直面的，故不可錯解作是疑問句子。

例

(A) 武者小路實篤氏は

どちらかと言へば

實踐の人である。

どちらかと言へば（と言ふと）
何れかと言へば

【解】

說起來可算是……（方面）
（表示就兩者以上之中，可算是這方面）

【譯文】 武者小路實篤君、說起來可算是實踐的人（這一方面）。

【解說】 武者小路氏本是小說家、然最近又辦一個「新村」、就這兩樁事說來、究竟是那方面的人材呢？那末、說起來、還是可算實踐的人吧。

(B) 今年の冬はどちらかと言へば先づ平年よりあたたか温い方です。

【譯文】 今年冬天、說起來可算是比平年温暖。

(C) 目下の國際聯盟と言ふ物は何れかと言へばまあ、無用の長物である。

【譯文】 目下國際聯盟、說起來可算是無用之物。

【解說】 「どちらか」即解作「竟是那方面」。「と言へば」即解作「倘若來說」。「何れか」乃「どちらか」之文言。所以此公式即是表示倘若說起來他是那一方面呢？那末可以算是這方面吧！是自問自答語；是自己向人解釋語。而不是疑問語。

例

(A) 歩き乍ら唄を歌ふ。

【譯文】 一邊走路。一邊唱歌。

乍ら（接動詞第二變）

【解】

(B)(A) 一面……一面……
雖然。

(又) あの女は笑ひながら電話を掛けて居る。

【譯文】 那個女子一面笑一面打電話。(邊打電話邊笑)。

(又) 「たばこ」を飲み乍ら本を書く。

【譯文】 一面抽香烟、一面著書。

【解說】 「乍ら」在此即表示「兼兩種動作；兼兩種事情。」

(B) あの人は大學教授であり乍ら英語一つも分らない。

【譯文】 那個人雖是大學教授、可是英語一個也不知道。

(又) 勉強はして居ながら實は飛んで居る飛行機に氣を取られて居る。

【釋義】 「氣を取られる」即「被其吸引；一心向着。」等意。可參看此條公式。

【譯文】 用功雖是在用功、其實一心向着那飛着的飛行機去了。

【解說】 「乍ら」在此處完全表示「雖然；縱是。」等意。

(A)	勿論 <small>もちろん</small> ……
	勿論……
【解】	固然……
	不用說……
	固不待言、即……
(B)	無論 <small>むろん</small> ……
【解】	當然……
	不用說……

例

(A) 五千字位の論文は勿論、十萬字の大論

文をも上手に書けます。

【譯文】 五千字那樣的論文、不用說、即十

萬字的論文、都能寫得很好。

(又) 勿論行く事は行くが併しこの論文を書

き上げなければならぬから、そんなに早く行く事が出来ない。

【釋義】 「書上る」乃「寫完成」。「なければならぬ」乃「不可不；非……不可。」

【譯文】 固然。去總是去、不過、這篇論文非寫起來不可、所以不能那樣早去。

(B) 今日は日曜日だから、無論遊ばなければならぬ。

【譯文】 今日因是星期日；當然非出遊(玩々)不可。

(又) 無論君が知つて居る筈だ。

【譯文】 當然、你是應該知道的。

【解説】 「勿論」與「無論」大致相同。只是「勿論」可用在句子當中、表示此事固不待言。而「無論」多用在句子起頭、表示當然。

……。
愚おろか……。

【解】 不用說……即……

……。
固談不到、即

莫說……即……

例

(A) 佛語は愚、英語も知らない。

【譯文】 法國語固不用說、即英語都不知道。

(又) 十圓は愚、十錢もない。

【譯文】 不用說十圓、即十錢(即一角)都沒有。

(又) 雨がこんなに降り續ければ明日は愚、明後日の日曜日あつちに晴れて呉れば好い。

【譯文】 雨倘若是這樣的繼續下、那明天是不用說、只要後天的星期日能晴都好。

(又) 農民が餘り頑固なので機械を使用する事は愚、選種や溫床などの方法はうほうの利用も

餘り行つて居ない有様である。

【釋義】 「行つて」即「行使；使用。」等意。「有様」乃「情形；光景」。不譯出亦可。

【譯文】 農民太過頑固、使用機械之事、固談不到、即選種或溫床等之利用、亦未嘗行

之。

【解說】「愚」本解作「愚蠢」，此處乃轉用，完全表示一種進一步的打消。「豈但是這
個、即那樣都不行」

(A)	……… 【解】 此外沒有 只有………	……… 【解】 此外沒有 只有………
(B)	……… 【解】 此外沒有 只有………	……… 【解】 此外沒有 只有………

（接在四變下）

例

(A) この本は手前共の店の外に幾ら探しても買つて居ない。

【釋義】「手前共」即「我們」此語大概多為商人所用。「幾ら……ても」即「無論如何」

【譯文】此書、除了我們這個店以外、無論

怎樣去尋找、都沒有賣。(只有我這店才有)
(又) この同じ色の手袋が外に有りませんか。

【譯文】與此同顏色的手套、此外沒有嗎？

【解說】「外にない」之意義、正如字面所表示一樣、「除此以外、再沒有了」。

(E) 我々修業時代に於ける重要な目的は學問の造詣を深くするに外ならない。

【釋義】「修業」即「求學」。「於ける」即「在於……之」。「造詣」即中國語、「學問的深造」之意。

【譯文】在吾等求學時代之重要目的、無非是（只在于）深造其學問而已。

(又) 學問をするのは國家を救ふ爲めに外ならない。

【譯文】求學問、不外爲救國。

(又) こんなに勉強して居るのも、入學試験の爲の外はない。

【譯文】這樣的用功、無非爲的是入學試驗。

(又) 生活して行かうと思ふなら懸命に働く外はない。

【釋義】「懸命」即「一生懸命；拼命努力」之意。

【譯文】若想生活過去、不外（只有）努力工作。

【解說】「外はない」即完全表示「不外……如此。無非是如此；」等意。「外ならない」

之「ならない」乃「成る之第一變加「ない」。其意與「外はない」全同。僅多用於文
言中而已。

……………に過ぎない

【解】 僅不過……………

ぎないと云ふ事が確められた。

【釋義】 「確められた」乃「已經弄確實了」。

【譯文】 月蝕在往昔。被人看作是不可了的事。可是在科學發達了今日、已確實了這

僅不過是被地球的陰影所遮蔽。

(B) 此の二三日以來、毎朝の溫度は零下四度に降下して居るから随分寒かつたが併し

これは唯だその前驅に過ぎない、本當の寒さは此からです。

【釋義】 「随分」乃「非常」。「併し」乃「但是」。「此から」乃「此後」。

例

(A)

月蝕は昔に於いては一大變事の様に考へて居られたが科學の發達した今日にはそれは唯だ地球の陰で掩はれたに過

【譯文】 此二三日以來、毎晨的溫度、在零下四度、非常寒冷、但是、這僅不過是先驅隊、眞的寒冷、還在後頭呢。

【解說】 「過ぎる」乃「過于」、「過ぎない」即其第一變化加「ない」解作「不過」。故「に過ぎない」即「不過；僅是」等意。

……………【體言】で済む

【解】 即此便行……………

(因…而未惹起大事。)
即此算了

例

(A): 昨夕ゆうべの火事くわじは發見はっけんが早はやかつたから大事だいじに至らずんたに 済すんだ。

【釋義】 「早かつた」乃「早い」之「かり活

用表示「過去完了」。「大事に至らず」乃「未成很大的事故」。

【譯文】 昨晚的火灾、因發覺得早、未至成災、就完事了。

(B) この入學願書にふがくぐわんしょは一通りひととはここに書かきましたが手續てつぎはこれで済すみましたか。

【釋義】 「一通」乃「依照形式」之意、「ここに」即「于此」。

【譯文】 此入學願書、已依照形式、寫在此處。手續即此便行嗎？(即此便完了嗎？)

(C) 人をそんなに侮辱おじやくしたのに此くらゐの位の事ことで済すむのか？

【釋義】「のに」乃逆態前提法。表示上下句意相反。

【譯文】那樣的侮辱了人、這樣一下、就算了嗎。

【解說】「済む」原來解作「完了」。但有時轉用、解成「算了；拉倒；便行得」等意。

持もて餘あます
 【解】已厭棄
 不理會
 無如之何

例

(A) この子供こどもは餘あまり惡戯いたづらなので近所きんじよの人々ひとびとが皆持もて餘あまして居る。

【釋義】「小供」即「小孩子」。「惡戯」即

「頑皮」。

【釋文】這個小孩、太頑皮、附近的人都不理他。

(B) 張君は天資そうめいが聰明であるが勉強めいけんを餘あまり爲しないばかりでなく舞踏ダンスを遣やつたり「カフ

エ」に這入はいつたりして幾いくら訓戒くんかいしても改あらためないから親おやまで持もて餘あまして居る。

【釋義】「ばかりでなく」乃「不僅是……」。遣やつたり」之「たり」即「或是」即並

列法。「遣」乃「做」之意。「カフェ」即珈琲館有女子陪開玩笑的地方。「幾ら……
ても」乃「無論如何」。「親まで」乃「連他的双親」「甚至双親」。

【譯文】張君天資是聰明、可是不僅不用功、還跳舞、或是進珈琲館尋開心、無論怎樣
訓戒都不改。連他的父母。都已厭棄他。

【解說】「持つて餘す」之「餘す」乃四段活用動詞、解作「多餘；剩餘」之意。「持つ
て餘す」即「拿着都有得剩餘；有着反嫌多餘」。故表示「厭棄；不理」之意。

……を裏切る

【解】反叛；反其所期。

例

(A) 袁世凱は國民黨を裏切つて自ら洪憲皇
帝と稱するに至つた。

【釋義】「自ら」即「自己」。

【譯文】袁世凱反叛國民黨。自稱洪憲皇帝。

【解說】「裏切つて」即「裏切る」之第二變化加「て」變促音便。

(又) 拿破崙の對英經濟封鎖政策が露西亞に裏切られた爲めに破られたので拿破崙は遂

に兵を提げて莫斯科に遠征した。

【譯文】 拿破崙對英經濟封鎖政策、因被俄國背叛、遂致打破、拿破崙遂提兵遠征莫斯科。

【解說】 「裏切られた」乃「裏切る」之第一變化加被役助動詞「れた」。

(A) 今度の書留は屹度金を送つて來ただらうと思つて早速封を切つて見たがまた裏切られて何も這入つて居ない。

【釋義】 「早速」即「立刻」。「封を切つて」即「開封」。「屹度」即「一定」。

【譯文】 此次掛號信、一定有錢寄來吧！開封一看、又反其所期、什麼也沒有。

【解說】 「裏切る」完全表示「與初意相違背；與人相背叛」之意。

例

(E)(A)

ともすると
動もすれば

【解】 常々；

動不動；動輒。

(A)

北海道あたりでは冬に這入つてからは吹雪が烈しくて列車はともすると立往生の體である。

【釋背】 「這入つて」「進到」。「吹雪」即「大風雪」。「立往生」即「停着不能動」原來

「往生」即「死去」之意。「立往生」即「站着死了」。此處乃轉用也。「體」乃「様子」情形」

【譯文】 在北海道一帶、一進到冬天、大風雪很利害、列車動輒（常々）被阻不能動。

(1) 其の人の性質は非常に氣短いので動もすれば人と喧嘩する。

【釋義】 「氣短い」乃「性急。暴躁」。「喧嘩」乃「打架；口角」。

【譯文】 那個人性質非常暴躁、動不動便和人家吵嘴。

(又) あの人是非常に懶けて稍もすれば缺席する。

【譯文】 那人非常懶惰。動輒缺席（缺課）。

【解說】 「ともすると」與「ややもすれば」同一解釋、即表示「常々容易；動不動便怎

様」之意。

(A) ……に就いては
 (B) ……に付いては(に付き)
 【解】 對于……………
 關于……………

例

(A) 農場整理のうぢやうせいりに就いては先般せんぱん、開催かいさいした會議かいぎの席せきで随分ずぶん討論とうろんされたがこの問題もんだいは今後こんごも又持ち上もがるだらう。

【釋義】 「先般」乃「前些時」。「持ち上げる」即「提出」。

【譯文】 關於農場整理、在前次所開之會議席上、大為討論。此問題、今後亦將被提出。

(B) 先日新聞で發表された「軌道探傷車」の科學原理は日本人が最先に發見したのか
 それとも米國人が最初に發見したのかと言ふ問題に付いては今も其の儘解決しなかつたが兎に角何れも世界に大いに貢獻する所がある。

【釋義】 「それとも」即「抑或；或者」。「其の儘」即「仍然；仍與前一樣」。「兎に角」即「總而言之」

【譯文】 日前新聞所發表之「軌道探傷車」之科學原理、究為日本人最先所發見、抑或為美國人所發見關於此一問題、仍未解決、總之、皆對於世界大有貢獻。

【解説】 「就いては」即「就く」 第二變化加「て」變「い」音便、即中國之「就……説來」。「付いては」即「對于」。乃「付く」第二變化「て」變「い」音便。

(A) 引き上げる
(B) 引き揚げる

【解】(A) 拉上；提高、漲價、
(B) 退去、離開、

例

(A) 「起重機」と言ふものは不思議な物でど
んな重い物でもそれを引き上げる事が
出来る。

【釋義】 「と言ふものは」可解作「這樣的東西」。「不思議」即「不可思議；奇怪」。

「どんな……でも」乃「無論如何的」。

【譯文】 起重機這樣的東西、真是不可思議。無論怎樣重的東西、都能拉起來。

【解說】 「引き」乃接頭語「上げる」即「弄上來」之意。故「引き上げる」即「引扯

上來」之意。然又可用作「提高價格」之意。

(B) 移民法の制限で居留民の大部分はその土地を引き揚げた。

【釋義】 「土地を」之「を」字、解作「から」「由；從」之意。

【譯文】 因移民法之限制、居留民之大部分、均由其地退去。

(又) 世界大戰の當時米國在住獨逸の人々は皆自國に引き揚げた。

【釋義】 「自國に」乃「向着本國」。

【譯文】 世界大戰當時、住在美國的德國人、都向着本國退去。

【解說】 「引き揚げる」即中國「遠揚」之意、「走開、退去」等解釋。

折角 せつかく
状態 わきわき
々々

【解】 特意的、
好意的、

例

人が折角苦心して拵へたものを無駄にして
はいけません。

【釋義】 「苦心」即「花費了很大的勞力、心

思) 之意。「拵へた」乃(做了的)。「無駄に」乃(浪費、無用)。

【譯文】 別人特意做好了的東西不可任意浪費。

(又) 折角の御好意ですけれども今の場合ではどうしても御意見を引受ける事は出来

ません。

【釋義】「引受ける」即（接受）。

【譯文】雖是你特意的一番好意但在此時無論如何也不能接受你的意見。

(又) 孟子が中途で學校を止めて歸つて來た時孟母が態々其の折角織り掛けて居る布を切つて以て彼を諭した。

【譯文】孟子中途廢學而歸時、孟母故意的將那特意正在織的布切斷而來曉諭他。

(又) 先日は態々御出になりました何にも構ひませんで失禮致しました。

【釋義】「御出になりました」乃與「來て下さいます」同意（來）的敬語。（構ひません）乃（未得招待）。

【譯文】日前承你特意的光臨一點沒有招待實在失禮得很。

【解說】「折角」與「態々」都是表示一種「特意的；故意的；好意的；」等意。但是

「折角」與「態々」用法不同。即是「折角」表示雖是你的好意。可是有時難免辜負這樣的好意。比方說：「你特意地跑來、可是住不下、對不起。」那末我何可說：「折角來て下さるけれども満員ですから濟みません。」在此種場合、便只可用「折角」、而

不能用「態々」。又如「態々」可以表示故意的。比方說：「態々その寒暖計を破した」（故意的將寒暑表弄破了）如此處也只用「態々」而不能用「折角」。又雖是同樣表示「特意的」、然在這樣的句子比如：「態々三越まで行つて時計を買つて来た」（特意的走到三越百貨店去買了錶回來了。）如此種句子、也只能用「態々」而不能用「折角」。

尤ともらしい〔體言〕……………

【解】 似乎頭々は道の……

看來完全似真的……

例：

(A)

あの人の演説を一寸聞くとガともらしい話をして居る様だが好く考へると全く自己宣傳で詰らない。

【釋義】 「一寸」即「稍爲」、「詰らない」即「無聊；沒有意思」。

【譯文】 那個人的演說、稍爲聽一聽、似乎頭々は道、可是、好々的想起來、完全是自己宣傳、沒有意思得很。

(B) 其の人の言分を始めては尤ともらしく思つて居たが能く事情を調べて見ると眞赤

【釋義】「よく」是(時常)。「嘘を云ふ」是「說誑」。「奴鳴付ける」是(怒喝、喝罵)。

【譯文】那個人常々說誑你喝罵他是對的。

(C) 藤村君は十二時迄も起きて來ないのは怪からん。尤も昨晚は夜更け迄も勉強して居たそうだから無理もない。

【釋義】「怪からん」是(豈有此理)。「夜更け」是(夜深)。

【譯文】藤村君到十二點鐘都不起來、真豈有此理。固然昨晚他好像用功到夜深、也不能怪他。

【解說】「尤も」在(A)例解作「最；尤其」在(i)例、解作「當然；很有理的、很對的」。所以常々說「それは尤もです」即是「那個是很有理；很對的」、在(C)例解作「固然；固是因這樣」。

(A) 間に合ふ
(B) 間に合はない

【解】

(A) 趕得上;
經用湊合

(B) 趕不上
(1) 趕不上
(2) 不
(3) 遲了、

(又) 朝八時四十分の汽車で立つ積りですが今から行つても間に合ふだらう。

【釋義】 「汽車」即（火車）。「積り」即（打算）。

【譯文】 打算坐清早八時四十分的火車出發就是現在去也趕得上吧。

(又) 此の背廣は僕に取つては少し長い様ですが外に好さそうなものが無いので此れ

で間に合はう。

【釋義】 「背廣」即（西裝）、「よさそな」即（似乎好一點的）。

例 (A) 此の本は随分古い様ですけども今の中、まだ間に合ふと思ふ。

【譯文】 這本書似乎很舊、然在目下我想還
够用。

【釋義】 「随分」即（非常、很）。「今の中」即（目下）之意。

【譯文】這套西裝在我好像長了一點然此外似乎好一點的也沒有所以用此湊合湊合。

(B) 今もう八時二十分過ですよ、早く行かなければきつと間に合はない。

【譯文】現在已經是八點二十分、若不趕快去一定趕不上。

(又) 此の机はかなり大いです普通の卓子掛けなら間に合はないのだ。

【釋義】「机」即日本人家用的矮卓子。「かなり」即(相當的)「卓子掛け」即「卓布」。

【譯文】這張矮卓子有相當的大普通的卓布是不够。

(又) よく身體を注意しないと肺病にでもなつたらその時氣を付けても間に合はない

【釋義】「でも」乃加重語氣「氣を付ける」乃「留神、注意、小心」等意。

【譯文】不好々の注意身體等到成了肺病再來注意也遲了。

【解說】「間に」之「間」可解作「時間；地方；」故「間に合ふ」即「合上時間；或合

得來時間的經過即是經用」。又「間に合はない」即「合不上時間；或不經那樣時間

之久、即不經用。不够」之意。又比方說：「常有米舖來問要不要米、若是想說「還

有、可以不要」即可說「間に合つて居る」蓋即是表示「我所有的米、尙够之意」。

……〔四變〕 知ら（或「なの」之下）

【解】 也許……………

或是……………

例

あの人ひとはよく嘘うそを付つくが今いま言いつた事ことは本ほん當たう
知ら。

【釋義】 「嘘を付く」即（說謊話）

【譯文】 那個人雖然時常會說謊但是剛才講的話也許是真的吧。

（又） 此の二三日にさんちちが急きふに寒さむくなつたから明日あしたは雪ゆきが隆ふるかしら。

【譯文】 這二三日突然冷起來了明日也許會下雪吧。

（又） もう遅おそいですから私わたし歸かへるか知ら。

【譯文】 已經很晚了，我或是回去吧；

【解說】 「か知ら」完全是一種俗語，多半用在女子說話的時候。來表示一種「思斷不

定；判斷不定；懷疑的口吻；或自己與自己商量的口吻」等々。在前兩句在普通也有

人說在最末一例「歸るか知ら」則完全是日本女子說話的口吻，表示一種「想回去又

不好意思說出來，怕得罪人」，說一句「か知ら」先表示自己的意思。便要走也不嫌

突兀了。

何はさて置いても

【解】 别的都暫可不管

其他姑不論、

例

(A)

何はさて置いても此の論文を書き終らなければならぬ。

【譯文】 别的都可暫時不管、此篇論文、非

寫起來(寫完成)不可。

(又) 國庫收入激減の爲め預算が随分削除された、が教育は國民全體に取つては是が

非でも必要だから、何はさて置いても教育費だけは増額して呉れなければならぬ

い。

【釋義】 「随分」即「非常；很」等意。「に取つては」即「在……；着來；對于……」

可參着此項公式。「是が非でも」即「無論如何」可參觀此項公式。

【譯文】 國庫收入大減之故、預算大被削減、然教育對於國民無論如何皆極必要、故

别的姑不管、只教育費非請其增額不可。

【解説】「置いて」即「置之；姑置之」之意。故「何はさて置いても」即表示「姑無論何物置之不管」其次即有「可是這個這個非辦不可」之意。

それはさて置き

【解】 那個姑且不管

這事暫擱一邊

|| 君に頼んだ本は持つて來たか？

【釋義】「危く」乃「很危險、差一點就……。「轢かれる」即「軋倒」。「怪しからん」

乃「混賬；可惡」之罵人口吻。

【譯文】 聽說你來的時候、險一險被汽車轢倒了。那個汽車的司機真可惡。這事暫不提、

可是我託你帶的書拿來了沒有？

(B) 今日の演說會は實際拙かった。それはさて置き次の演說會は何處で遣る積りか？

【釋義】「拙かった」即「拙い」之「かり活用」解作「壞得很」「遣る」即「舉行」之

例

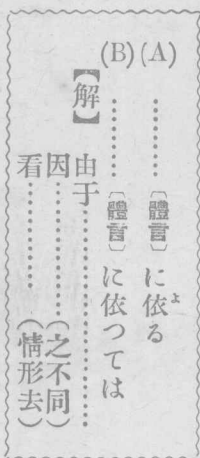
(A)

君が來る途中で危く自動車に轢かれる所だつた相ですが其の自動車の運轉手は實に怪しからん。併しそれはさて置

意。「積り」即「打算」。

【譯文】今天的演說會，實在是壞極了。這個且不管他，你下次演說會，打算在那裏開呢？

【解說】「それは」即「那個；那樁事」。「よて置き」即「暫且不提；暫且放下」故「それはさて置き」即表示「上面述的那樁事暫擱一邊、姑不用再提」之意。



例

(A) 人の事業の成功又不成功は全く其の人の勇氣と決心とに依る。

【釋義】「成功又不成功」即「成功或不成

功」。

【譯文】人之事業成功與否，全由于其人之勇氣與決心。

(又) 「ラヂオ」の能く電線無しに聞えるのは蓋し電波原理の應用に依る。

【釋義】「電線無しに」即「不要電線」。「ラヂオ」即「播音」。

【譯文】 播音(無線電)之所以不要電線而能聽者、蓋由于應用電波之原理。

(B) 日本に於いても、地方に依つては言葉が東京の其れと大變違ふ所も有る。

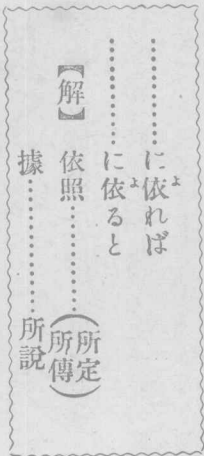
【釋義】 「於いても」即是「即在于……」。「言葉」即「言語」。

【譯文】 即在日本、因地方之不同(看地方去)也有說話與東京大不相同的地方。

【解說】 「依つては」即「依る」之第二變加「て」變促音便。其意雖全與「依る」同、

然因用句不同、常可解作「看什麼地方去了看什麼情形去。因地方國家等之相異、

而……」



例

(A) 東京日日新聞に依れば南京政府は最近

に須磨總領事を通じて日本に大借款

を交渉して居るとの事である。

【釋義】 【通じて】乃表示「由于；介于；託；籍；」等意。「との事である」即等于

「相です」「聽說」。

【譯文】 據東京日日新聞所傳、南京政府、最近託須磨總領事向日本交渉大借款。

(B) 最近早稻田大學の規定に依れば留學生が學部に入る者は必ず大學卒業の者であらねばならぬ。

ねばならぬ。

【譯文】 依據最近早稻田大學之規定、凡留學生入大學部者、非大學卒業者不可。

(C) 氣象臺技師の話に依ると今年の寒さは平年より温かい方だ相です。

【譯文】 依氣象臺技師所說、今年の寒冷、較之平年、算是溫暖的。

【解說】 「依れば」即「依る」之第五變。「依る」本解作「由于；依照；因于；」等意。

此處「依れば；依ると」即完全表示「依據」之意。

例

(A) 會社から一通の「貴下は色色御苦勞で

した、暫時御休養を御勧め致します」

と言ふ手紙が來た、其れは取りも直さず

取りも直さず

【解】 即是；

即刻。

す馘首の通知だ。

【釋義】「敵首」即「停職；撤差」

【譯文】由公司來了一封「閣下辛苦異常、暫祈休養」的信、這即是撤職的通知。

(B) 世界大戰當時、英國から獨逸に「宜しく速かに塞耳比亞から撤兵しろ」と言ふ最後の通牒を送つた。それは取りも直さず開戦の宣告である。

【譯文】世界大戰當時、由英國送與德國的最後通知、謂「宜速由塞耳比亞撤兵」、此即是開戰的宣告。

(C) 「母病至急歸れ」と言ふ電報を受取つたので取りも直さず荷物を纏つて東京驛を出發した。

【釋義】「荷物」即「行李」、「纏つて」即「收拾」。

【譯文】接着「母病速歸」的電報、即刻收拾行李、從東京驛出發。

強しくて……………ならば

【解】 若勉強……………別……………

若硬要……………則只有……………

例

(A) 私には道樂だうらくが一つも無いが強いいて言いふ

ならば圍碁ゐご位ぐらゐでせう。

【釋義】 「道樂」即「消遣」。

【譯文】 在我沒有一樣消遣的。若勉強說來、則只有圍棋吧！

(B) 私わたくしは演說えんせつがととも下手へただが強いいて遣やるならば五分間の演說えんせつを遣やりませう。

【釋義】 「下手」乃「惡劣」之意、「遣る」即「做」。

【譯文】 我的演說非常不高明、若硬要我わたくし做、則只有來一個五分鐘的演說吧！

(C) この頃不承無精いしやうぶしやうで仕事しごとに全然手てが付つかないが強いひて繪えを書かいて呉くれと請求せいきうするな

らば、これこゝを持もつて行いきなさい。

【釋義】 「不承無精」即「無精打彩」。「手てを付つかない」即「不着手」。

【譯文】 此一向、無精打彩什麼也不幹、若硬求畫畫、你把這個拿去い吧！

【解說】 「強いいて」原爲「強いる」即「勉強；強要」之意。故此處即表示勉強要人怎

様怎樣。

……の方が

【解】……方面(這樣)

例

兄にいさま樣よりも弟おとうとの方が高たかい。

【譯文】弟々這方面比哥哥高。

(又) 貸間かしまよりも貸家かしやの方が自由じゆう自在じざいで氣持きもちがいい。

【譯文】租賃間不如住貸家的方面來得自由自在精神上來得舒服。

(又) 僕ぼくは冬ふゆよりも夏なつの方が好すきです。

【譯文】我對於夏天方面比冬天更喜歡。

【解說】「の方が」是表示一種事情方面、即示說某一個人或某一椿事是更好或是更壞、

有比較的意思。在中國話裏面、沒有恰當的字、只好解作「方面」比較相近一點。然

決不是指「方向」須注意。

……の方が増した

……よりは増した

【解】 這樣的倒好多了

例

(A)

あんな詰らない音樂會へ行くより自宅
で小説でも讀んだ方が増した。

【釋義】 「詰らない」乃「無意思的」。「小

説でも」之「でも」乃加重語氣。表示「就是小説也好」之意。

【譯文】 與其去到那樣無意思的音樂會、倒不如在家裏着小説好多了。

(B) 日本の刺身を喰はして呉れるのなら餓へる方が増した。

【釋義】 「刺身」即「生魚片」。「呉れる」乃補助動詞表示「拿那個生魚給我吃」。「なら

乃「倘若」。

【譯文】 倘若拿日本的生魚片給我吃、不如餓着倒好多了。

(C) この外套は古いが天氣が寒いからこれを着て居ると無いよりは増した。

【譯文】 這件外套國是舊、但天氣寒冷、穿着牠總比沒有的好。

【解說】 「増し」乃「増す」之第二變、當作名詞。原解作「増加」此處乃轉用解作「更

好」之意。「だ」即「です」。

………所爲か………

〔接四變及〕の「字之下」

【解】 ……所致吧………

因………之故吧………

例

(A) 此の頃は天候不良の所爲か、どうも風

を引き易い

【釋義】「風引、乃風寒感冒。」

【譯文】這一向，想是天候不正所致吧！很容易傷風。

(B) 風を引いた所爲か、喉が痛くて仕様がない。

【釋義】「仕様がない」乃「沒有法子；討厭」等意。

【譯文】因受了風寒的原故吧！喉嚨很痛沒有辦法。

【解說】「所爲」即表示「一種原故」。「一種什麼所致」，加「か」字，表示疑問「想是

這樣吧！也許是吧！」等意。

氣きの所せ爲み(か)

【解】 疑心所致吧！

心神使然吧！

心理作用吧！

大門口來了。

(又) 本當ほんたうに誰も君きみの惡口わるくちを言いひはしない、全く君の氣きの所せ爲みだ。

【譯文】 真的、誰也沒有說你的壞話、全是因你自己疑心的原故。

【解說】 「氣」即「心神；思念」、故「氣の所爲」即「心神使然；自己的疑心」等々。

……………感じかんがする

【解】 有……………之感；

覺得……………

例

(A) 氣きの所せ爲みか誰だれか玄關げんくわんに來きて居ゐると思おもつ

た。

【譯文】 大概是疑心所致吧！我以爲有誰在

例

(A) 日本にっぽんの交通機關かうつうきくわんのこれ程ほど發達はつたつして居ゐる

のを見みて日本人にっぽんじんは確たしかに偉えらいと言いふ感かん

じがする。

【譯文】 看見日本的交通機關這樣的發達、覺得日本人的確有才幹。

(B) 夏休中海水浴をする時、砂濱に横つたり、足球を遣つたり。泳いだり、又時々笑談をして本當に「義皇上人」の感じがした。

【釋義】「横つたり」即「横着」。「泳いだり」即「游泳」。幾個「たり」即並列法。解作「或是這樣；或是那樣」

【譯文】暑假中海水浴的時候、或横臥砂邊、或蹴足球、或游泳、又有時爲種々笑談、

眞有義皇上人之感。

【解說】「感じがする」乃「感ずる」之第二變當作名詞再加「が」再加さ變動詞する」表示自己「所感覺；心中所以爲的事。」

氣にする
【解】介懐；
掛意；
牽腸掛肚

は及ばない。

例

(A) 手紙を書くには平生用ひる言葉で素直に書くのが宜しい。學問の乏しい事や筆蹟の下手な事等は、大して氣にするに

【釋義】「素直」乃「老老實實」。「筆蹟」即「筆畫；字體」。「大して」乃「大不了的」。「に及ばない」乃「用不着；無須」。

【譯文】寫信、只用平生所用的話、老實的寫去就可以、至于學問缺乏或是字體不好、那用的着來過于介懷。

(B) 此の頃書いて居る「日語公式詳解」と言ふ本の事を氣にして日曜日ですへも外出を控へて其の出版の後れないように懸命に書いて居る。

【釋義】「書いて」即「寫；著」。「さへも」乃「甚至」。「控へて」乃「暫停；」。「後れないように」乃「使其不要遲延」。

【譯文】此一向、因正在編著的「日語公式詳解」一書、老放在心上、所以連禮拜天都不外出、拼命著作使此書不要遲延。

【解說】「氣」即「心思」。「氣にする」表示「心思的牽掛；對於一事使心裏動着；」故即「介懷；注意、牽掛、等意」。

氣に入る

【解】 合意
中意

此の洋服が恰好も好いし色も流行色ですか
ら若し貴方のお氣に入るなら買つて上げま
せう。

【釋義】「恰好」即（様子）。

【譯文】這件洋服様子既好而顔色也是時新的如中你的意那就買了送你吧。

(又) 此の部屋が南向ですから朝から晩まで日が當ります若しお氣に入るなら定めた方が好いでせう。

【釋義】「部屋」即「房間」、「日が當ります」即「當太陽」。

【譯文】這房間因是向南故早晚都有太陽若是你合意那就定了好吧。

(又) 熱海が温泉もあるし景色もよいのですからすつかり氣に入つたので始は一週間位滞在する積りでしたが遂に二月も延ばして仕舞つた。

【釋義】「積り」即「打算」、「すつかり」即「完全」。

【譯文】 熱海既有溫泉而且景色也好的緣故、完全中意了原打算只住一週的樣子終於延
長了兩個月。

氣が氣でない

【解】 非常焦急

例

(A) 汽船は愈々纜を解いて出帆しやうとするが見物に上陸した李君はまだ戻つて來ない、僕は氣が氣でない。

【釋義】 「出帆」即「開船」。「見物に」即「閑逛；參觀」。「戻つて」即「回來」。

【譯文】 汽船即將解纜開駛。然上岸去閑逛的李君還沒有回來、我真是焦急的了不得。

(B) 今晚神戸まで友達を出迎へに行かなければならないが吹雪の爲めに二丈位の「レール」が破壊されて復舊する迄は二三時間を要すると言ふ事であるから其の時僕は

實に氣が氣でなかつた。

【釋義】 「吹雪」即「大風雪」。「二丈位」即「大約兩丈」。「レール」即「軌道」。「迄」

即「爲止；」。 「と言ふ事」即「聽說」。

【譯文】 今晚非到神戸去迎接朋友不可。可是因大風雪、軌道被破壞二丈左右、聽說到復舊爲止要兩三小時、其時真是焦急得要命。

(A) 氣を取られる
(B) 氣取り (氣取つて居る)
【解】 (A) 被吸引
(B) 裝着一種様子

例 (A) 悲劇の芝居を見て居る内に「すつかり」
氣を取られて思はず涙を溢した。

【釋義】 「芝居」即「做戲」。「すつかり」乃「完全的」。「思はず」乃「不知不覺」。「溢した」原意是「太滿了而潑出」之意、此處

乃是「流着」之意。

【譯文】 看做悲哀的戲劇、完全的被他吸引、不覺流出淚來。

【解說】 「氣」字在此處是表示「心境」。「取られて」是「取られる」之第二變化接「て」

字、「れ」字是被役助動詞、解爲「被人家取去」。「心境被人家取去」、即是說被人吸

引自己的心腸。

(又) 母親重態の電報に氣を取られて勉強が全然出來なくなつた。

【釋義】「重態」是指「病體重大危險的狀態」。勉強」是「用功」。「出來なく」是「不能」。「なつた」是「變成」。

【譯文】接着母親病重的電報牽腸掛肚，完全不能用功了。

【解說】「母親重態，電報に氣を取られて」本是說被母親病危的電報吸引着自己的心思。即是對於母親病危的電報，自己的心腸完全被牽引，所以「氣を取られる」說是對於每一事情，或每一物件，自己的心思，自己的心腸，自己的注意全被他吸引被他牽引去了。

(B) あの人ひとは紳士しんし氣取りきとりで歩いて居ゐる。

【譯文】那個人裝着一副紳士的神氣走着路。

【解說】「氣」在此處是表示「神氣」。「取り」即是「取着，裝着」之意。所以「紳士氣取り」即是「裝着紳士的神氣」。

(又) あの人ひとは教壇けうだんに立たつて講義こうぎをする時ときよく氣取きとりつて居ゐる。

【釋義】「教壇」即「講臺」。「講義をする」即「授課」。

【譯文】 那個人站在講臺授課時、常裝着一副神氣。

【解說】 此處是把「取り」用其原來的動詞形、以其第二變化加「て」字變促音便、所以單用「氣取つて」時即是「表示、其神氣、裝着一副格子。神神氣氣的樣子、很自

傲自高的樣子」等々。

(A)	………氣がする
【解】	心以爲………；覺得；
(B)	………氣が附く (自動)
【解】	注意；感覺得。留神。
(C)	氣を附ける (他動)
【解】	注意、留心、

例

(A) 今度は屹度、成功するだらうと言ふ氣

がする。

【譯文】 我心裏以爲這次是一定成功。

(又) 食たべなかつたけれども食たべた様やうな氣

がする。

【譯文】 雖是沒有吃、好像 (心以爲) 吃過似的。

(B) 論文ろんぶんを書いて居るうちに題目だいめくが間違まちがつて居るのに氣が付いた。

【譯文】 正把論文在寫着的時候、發覺了 (才注意到) 寫的文不對題 (和題目剛々相錯

誤。

(又) 氣が付いて見ると淺草の方面へ乗つて來た。

【譯文】 留神一看，才知道坐車坐到淺草方面來了。

(C) あそこは危ぶないから、氣を付けて行つていらつしやい、

【譯文】 那個地方因為是危險、請留神的走吧。

【解說】 (A)條是表示自心的一種感覺。常々沒有的事、都只是「心中以為」。 (B)條則是

完全表示「忽然感覺着」「忽然發見了」等意。是實在有的事情、起初沒有留意到。後

來才發見了、或後來才感覺了。如果解作「留神；注意」等意時、則與(C)條完全相同

不過(B)條為自動詞、而(C)條為他動詞而已。

例

(A) 今日こんにちは鼻先はなさきが千切ちぎれる程ほど寒さむかつた。

【釋義】 「千切る」、即「切斷；掉落」之意。

【譯文】 今日冷得幾乎要掉落了鼻子。

(A)	………程
【解】	幾乎………；(甚至………)
(體言)	程
【解】	怎樣的；這樣的；
(數字體言)	程
(C)	大約、左右、上下

(又) 僕は君に言ひ様のない程、感謝して居る。

【譯文】 我對於你感謝得甚至沒有話可以表現。

【解說】 「程」乃表示「一種程度」。即是「某一種事、幾乎是到了這樣的程度；甚至到了這樣的程度」之意。

(B) これ程、君に盡力して遣つたのに、まだ不平を言ふか？

【釋義】 「て遣つた」乃「補助動詞」乃「替你；」之意。「のに」乃逆態前提法、「反而；可是」之意。

【譯文】 這樣的替你盡力、還說着不平嗎？

(又) あれ程、約束したのに到々來なかつたのは本當に詰らない。

【釋義】 「約束」乃「約定；相約」之意。「詰らない」乃「太沒有意思；倒霉」等意。

【譯文】 那樣的約定好了、可是到底沒有來、真是無趣。

(又) 如何程科學が進歩しても、月球へ旅行する事は出來ないだらう。

【譯文】 無論科學怎樣的進步、到月球去旅行的事、總是不可能吧！

【解説】「程」在此處雖也是表示「一種程度」、即是表示「像這樣這樣的程度、」故即解

作「這樣的；那樣的；無論怎樣的；」等意。

(C) 私は二年程前に二冊の本を書いて公にした。

【譯文】 大約二年前、我曾著了兩冊書、公之于世。

(又) 東京から上海まで汽船で行くなら四日程懸るでせう。

【釋義】「汽船で」乃「用汽船；由汽船；乘汽船」之意。「懸る」乃「費」之意。

【譯文】 由東京至上海、若乘汽船去大約費四日。

【解説】 在此等數字下、即解作「三天左右、四天前後、大約幾多年前」等々。

.....程.....ない。

【解説】

- (A) 沒有如.....一樣
- (B) 再沒有像.....

例

(A) あの店の品物は定評程、安くありません。(安くない)。

【釋義】「定評」即漢字本意、大家的一種好

批評、(稱許)之意。

【譯文】 那個店舖的物品，並沒有如大家說的那樣的便宜。

【解說】 如此等句子之「……程……ない」乃表示「並不如所原定那樣的程度。」

(B) 遠く國から日本に來て尋ねる友達が居ない程、失望する事はない。

【譯文】 老遠地從國內來尋找的朋友，不在，再沒有像這樣失望的事。

【解說】 此處「……程……ない」是完全表示「世無如……者」，「只有這樣這這樣的

事、才是……」之意。又如：

(又) 貴方程利口な人はない。

【譯文】 再沒有如你這樣聰明的人。

(又) 北海道程寒い地方がない。

【譯文】 再沒有如北海道那樣冷的地方。

(A)

〔體言〕しか……ない

【解】除……外、再沒有。

就只有……

(B)

〔體言〕より……ない

【解】除……外、再沒有

只能……

例

(A) この彫刻は世の中に一つしかない相です。

す。

【釋義】「相です」乃「听說」。

【譯文】聽說這個彫刻、世上只有這一個。

(又) 僕は今、五圓しか持つて居ない。

【譯文】我現在、除了五塊錢。多一個都沒有帶得。

【解說】「しか」即「除此之外」之意。故「しか……ない」即是「只有……」等意。

(B) 勉強するより仕方がない。

【釋義】「仕方がない」可參看此條公式。即「沒有辦法；無法；」等意。在別處還解作

「不得已」之意。

【譯文】除了用功、沒有法子。

(又) この事は君より外に出来る者がない。

【譯文】 此事除你而外、沒有別人能做。

【解說】 「より」在此處即是「除……而外」之意。故「より……ない」即「除……之

外、再無……」等意。

(A) 滅多に……ない
 (B) 稀に有る
 【解】 幾乎沒有
 很少有

(又) 此の頃は僕が滅多に外出しない。

【譯文】 這一向、我差不多不外出（很少出去）。

(又) こんな立派な本は滅多に見えない。

【釋義】 「立派な」即「很好的；完美的」。

【譯文】 這樣完美的書、很少見到。

【解說】 「滅多に……ない」即「極少極少之事；差不多沒有；但是不是絕對的沒有。」

例

(A) 廣東あたりでは雪が滅多に降らない。

【釋義】 「あたり」即「一帶」。

【譯文】 廣東那一帶、很少下雪。

故是表示其程度相近于「完全沒有」、即是「幾乎沒有、或是很少」。

(B) こんな利口りこうな子供こどもは稀まれに見みえる。

【譯文】 這樣聰明的小孩。實在少見（罕見）

(又) その人程ひとほど勉強べんきやうする者ものは稀まれに有る。

【譯文】 像那人那樣用功的。很少有。

【解說】 「稀に有る」即是「有是有一點、不是絕對沒有；可是少得很。」

(A) ……〔動第一變〕ない内に……
 (B) ……しない内に……

【解】 尙未……
 還沒有……

例

(A) その人ひとは圖書館としよくわんに這入あつつて熱さあつの所ところ爲なか、本ほんを二頁ふたぺいも讀よまない内にうちにぐうぐうと睡ねむつて仕舞しまつた。

【釋義】 「の所爲」即「所致；原故；」等意、可參看此條公式。

【譯文】 那個人跑進圖書館。也許是因熱的原故吧！書還沒有讀到兩頁、便呼々の睡着

(又) 手紙をまだ書き終らない内に、友達が来て邪魔されることは非常に不愉快な事だ。

【釋義】「邪魔」即「妨害。吵擾」「される」乃「被役助動詞」。

【譯文】信尙未寫完、朋友走來、被他擾亂着、真是最不愉快的事。

(又) 日本語の會話をも勉強しない内に直ぐ辯論會に出席するのは一寸無理だな！。

【譯文】日本語的會話尙且沒有學習、就出席辯論會、稍々不合道理。

【解說】「ない」解作「無、不」、「内に」即表示「在那樣時間內。」故「……しない内」

「即是「在沒有做那樣事之時期內」故即是「尙未做；還沒有；」等意了。

例

(A) 汽車が發車する^{きしゃがはつしゃする}か^かしない内に^{せんぱうから}前方から

一臺の電車が^{でんしゃが}蔭進して^{はくしんして}來たので^{おほ}大きな

音響と共に^{とも}兩方の^{りやうはう}最前の^{しゃりゅう}車輛は^{こつぱみ}木葉微

……する^{する}か^かしない^{しない}内に^{うちに}

……〔四變〕か〔同上動詞第一變〕ない

内に

【解】剛一要……(甚至尙未……)

塵に粉^{ちん}砕^{ぶんさい}された。

【釋義】「と共に」乃「同時」。

【譯文】火車剛一要發車、自前方有一臺電車驀進而來、於是一大音響而同時兩車之最前端車輛、如木葉飛塵似的粉碎了。

(B) 近頃、ちかごろ 迎も忙しい、まて いそが 食事をする時でも箸を取るか取らない内に客が遣つて來た事が屢々有つた。しばしばあ

【釋義】「食事をする」即「就食」。「箸を取る」即「取箸就食」之意。「遣つて來た」即「就來了」。

【譯文】最近非常忙。常常就食的時候、剛要拿起筷子來、又有客人來了。

【解說】此公式完全表示那當時的情景、表示剛要這樣（甚至尙沒有這樣）而立刻有他事發生了。不過與「や否や」或「と間もなく」等不同、須注意。

例

に若くはない（如くはない）

【解】不若；不如；

(A) 身體の疲れを回復するには能く眠るに

若くはない。

【譯文】 回復身體之疲勞、不若熟睡。

(B) 上海で毎月百圓位の費用を使つて學校に這入るなら日本に來て留學するに若くはない。何となれば今日日本に於ける生活費は上海より安いし爲替も安いから七十圓位の中國の金で随分足りるからである。

【釋義】 「何となれば」乃「何則、蓋」。 「爲替」即「滙兌」。

【譯文】 在上海毎月用百元左右來進學校、不如來到日本留學。因爲現在日本的生活費

比上海更便宜、而且滙兌又低。七十元中國錢、就很够了。

(C) 餘り謙遜して人の機嫌を取るより正直で自己の熱誠を現すに如くはない。

【釋義】 「機嫌を取る」即「討好；恭維」。「より」乃「與其」。

【譯文】 與其太過謙遜去討人的好、不如正直的表現自己的熱誠。

例

(A) 身體が壯健であつてこそ初めて、遠大

な思想も湧き智徳の圓滿を期すること

.....こそ初めて
【解】 唯有.....纔能.....

が出来る。

【釋義】「湧き」即「發生」之意。

【譯文】唯有身體壯健。纔能發生遠大之思想、智德能期其圓滿。

(B) 日本語が上手であつてこそ始めて日本人との交際が出来る。

【釋義】「上手」即「很好；妙極」之意。

【譯文】日本話要說得好纔能與日本人交際。

(C) 各國が誠意を披握してこそ始めて軍縮會議の成功する事が出来る。

【譯文】唯有各國披握其誠意、軍縮會議纔能成功。

【解說】「こそ」乃加重語氣、表示「唯有；只是；」等意。「始めて」本是「開始」之意。

「開始能够」即「纔能；方能够」之意。所以此公式乃完全表示「必須如此如此」

方可。否則不行了」之意。

(A) 手出してだをしようものなら

【解】 只一動手就……就……

【解】 如果一做就……就……

(B) 手てを出だす

【解】 着手；參加；(做買賣) 幹一幹；

例

(A) 併しかし吾わが輩はいの方ほうで少すこしでも手出てだをしようものなら家内かない總掛そうがりで追おひ廻まして迫ほ

害がいを加くへる。

【釋義】 「吾輩」即「我」非如中國意思指複

數。「總掛り」即「總動員」。「追ひ廻す」即「四處追逐」。

【譯文】 可是、我這方面，只稍為想動一動手、那末、家內的人總動員的來到處追逐、

加以迫害。

(又) 電車でんしゃの中で掬す摸りが手出てだしをしようものなら忽たちまち捕とまれて仕舞しまふ。

【釋義】 「掬摸」即「扒子手」。

【譯文】 在電車中扒子手如果一動手、即刻便被攫去。

(B) 某君ぼうくんが證券交易所しょうけんかうえきしよに手を出てだして大失敗おほしつぱいに遇あつたので自殺じそつした。

【譯文】 某君向證券交易所也來一手(指做買賣) 遇着大失敗遂自殺了。

【解說】「手を出し」即「伸手出去」轉用起來即表示向一種事情出手幹一幹、或是動一動。「しよう」即さ變動詞第一變加推量助動詞之「よう」。「なら」即「倘若」。故此公式即「倘若只要一出手」之意。

合點がっしんが行かない

【解】猜不出；莫名其妙；

(想不到那個是什麼意思)
不可解的

の行かない不思議な光ひかりを見る事も度々たびたびであつた。

【釋義】「仔虎」即「小虎」。「段々」即「慢々」。「薄氣味悪い」即表示「有點討厭」；

或「作噁心」。

【譯文】那個小老虎慢々長大、有時、看起來有點討厭、在他的眼底、有一種光是母羊

所不可解的、常々看見。

例

(A) 其の仔虎ことらは段々だんだん大きく成つて來て時に
は何だか薄氣味うすき悪く見えるやうに成つ
て來た、其の眼底かんでいには此の親羊おやひつじが合點

(B) 主人しゆじんの様な凋しなび懸かけた人間ひとを求めて態々わざわざこんな艶つやつばい様な話わらをするのは合點が

行かない。

【釋義】「凋び懸けた」即「將就木焉；衰頹之人」。「艶つぽい」即「芳艷；」。

【譯文】尋着主人這樣老氣橫秋的人、特意來說這樣的芳艷的話、真猜不出是什麼意思

(真莫名其妙。)

【解說】「合點」即別人的意思自己來猜想、以為一定是這樣的。「行かない」即表示「不

能、不行」之意。故「合點が行かない」即是「莫名其妙；莫測高深」了。

(B) (A)

沙汰さたの限かぎり
 言語ごんご同斷どうだん
 【解】強王きやうおう霸道はくどう
 無法むぼう無天むてん
 壞得くわいとく無可むか批評ひひひやう

例

(A)

窮困きゆうこんの人ひとを救すくふのを名なとして慈善家じぜんかの
 資財しさいを集め獨ひとり其その私腹しふくを肥ひする者ものが
 あるこんな人ひとは人面獸心じんめんじゆうしんの徒とであつて

沙汰の限りと言ふべきである。

【譯文】以救窮因爲名、收集慈善家之資源、而獨肥其私腹者、此等人乃人面獸心之徒、

可謂無法無天。

(又) 人の財産を奪つた上に傷害罪で告訴するのは沙汰の限りた。

【譯義】「上に」乃「既然……而又……」可參看此項公式。

【譯文】既奪人之財産、而又以傷害罪控訴、眞是強王霸道（無法無天）

(B) 先日せんじつの晩王君ばんわうくんが一臺いちたいの圓タクえんたくを呼び止めて餘りあま値切りねぎり過ぎたか、其その運轉手うんてんしゆが猛烈めうれつに車くるまを廻まはして王君わうくんを轆ひき倒たはした。實じつに言語道斷げんごだうだんです。

【釋義】「圓タク」即「野雞汽車」。「値切り」即「還價」。

【譯文】前天晚上、王君叫住一輛汽車、也許是還價太過吧、運轉手（司機）將車子猛

烈廻旋、致軋倒王君。眞是無法無天。

てもちぶさた
手持無沙汰

【解】 靜對無聊

（相對無言時一種寂寞無聊之感）

例

(A) 聞いたつて明瞭めいれうな答辯たふべんは得えられぬに極きまつて居ゐるから、面めんと對むかつた儘まま無言むごんで立たつて居ゐつた、聊いささか手持無沙汰ていの體ていであ

【釋義】「聞いたつて」乃「即使去問他」。此「聞」字在日語可解作「聽聞；與訊問。」

二義。「極つて居る」乃是「一定的」可參看此項公式。「聊か」即「稍爲」。

【譯文】即使去問他，也得不着明瞭的回答，是一定的，所以面對着面也不說一句話，

稍爲有點無聊的樣子。

(B) あの下宿屋のお婆さんは餘り喋舌が上手過ぎだから會ひに行く時僕は何も言ふこ

とが出来ない何時も手持無沙汰の感じがする。

【釋義】「お婆さん」此處即指下宿屋的女主人。「喋舌」即「說話」。「上手過ぎ」即「太

過高妙」。

【譯文】那個下宿屋的主婦，太能說話，因此每去會他的時候，我是總說不出話來，一

種躊躇無聊之感。

出張つて (出張する)
【解】來到；出差；
前往；

例

(A) 鈴木社長は毎日會社の方に出張つて社
員の勤め振りを視察する。

【譯義】「勤め振り」乃「辦公的狀況」。

【譯文】鈴木社長、毎日來到公司、視察公司人員辦事的狀況。

(又) 某社員は會社の爲に九州の方面に出張つて當地の有權者と某交渉をする。

【譯文】某社員爲公司的事情、前往九州方面、與該地有權者爲某種交涉。

【解說】出張つて」即「出差前往」之意。

(B) 日本の風景を寫眞に取る爲めに遠く日光や箱根まで出張して一週間位泊つて來た

【釋義】「位」乃大約。「泊つて」即「停宿」。

【譯文】爲得要把日本風景照成相片、前往日光、箱根、住了一星期左右。

【解說】意義與前條全同、不過(A)條用其動詞原形、而(B)條乃「出張」兩漢字下加「さ

變」動詞而已。

世話せわを焼くや

【解】 替人照料；

爲人効勞；

照拂一切

た」在此處乃補助動詞。

【譯文】 那個人初到東京、一切都不明白。所以稍爲替他照料。

(B) 入學にふがくの手續てつづきは些ちつとも知りませんが、幸さいはひに張ちやうさんが色色いろいろと世話せわを焼やくいて呉くれましたので入學にふがくの事ことが到底成功たうとうせいこうしました。

【釋義】 「些とも」即「一點都」「幸に」即「幸而」。

【譯文】 入學手續、一點都不知道、幸得張先生種々帮忙(種々照拂)、入學之事終得

成功。

【解說】 「世話せわを焼やくいて」乃「焼く」第二變化加「て」字變「い」音便。「世話」本解作「人情；帮忙；助力」等々之意。故「世話せわになりまして」即是感謝人的種々照料

例

(A) その人ひとが始はじめて東京とうきやうに來たので何も分わからないから、一寸ちよつと世話せわを焼やくいて上あげた

【釋義】 「一寸」即「稍爲；暫時」。「上げ

的。「世話を焼く」即是來做這樣帮忙的事。「燒く」本是「燃燒」。此處乃轉用。

(A) 燒餅を焼く(燒いた)

【解】吃醋；嫉妬。

(A) 例 學校で修業して居た間には趙さんの席が何時も李君の後でしたが卒業後趙さんは某會社に這入つてぐんぐ伸びて

行つて今副社長にまで成つて居るのに小學教師をして居る李君はすつかり燒餅を燒いて仕舞つた。

【釋義】「修業」即「求學」。「席」即「坐位」定榜次之高下。「ぐんぐ」表示直往前進之狀。「すつかり」乃「完全」。

【譯文】在學校求學時間、趙君的坐位總是在李君之後、然卒業後趙君進入某公司一帆風順現在居然成爲副社長、使正在做小學教師的李君、大爲嫉妬起來。

(B) 芳子が愛人の高橋君の所へ一通桃色の手紙が舞ひ込んだのを見て燒餅を燒いて一晩中泣き通した。

【釋義】「舞ひ込んだ」即「投入」。「泣き通した」即「哭到天明」。

【譯文】芳子看見有一封桃色的信、投到愛人高橋君那裏。大吃其醋一晚哭到天亮。

【解說】「燒餅」解爲「吃醋」純是轉用。「燒いた」本解作「燃燒；煎炒」。此處即是把

「吃醋」一事變成動作而已。「燒餅屋」即「吃醋的人」。

途端ぎたんに

【解】剛巧其時、

乘機；

すと、途端むかに向ふからやつて來た門番もんばんの女房にようばうに猛然もうぜんと飛びかかつた。

例

(A)

咲子さきこさんが仔獅子こししを連れて庭内散步ていないさんぽに出たが寒いので仔獅子こししの機嫌きげんが悪く暴れ出したので咲さんさきさんがうつかり手を放はなした。

【釋義】「仔」即「小的」。「連れて」乃「帶着」。「機嫌が悪く」乃「不高興」。「暴れ出す」即「暴亂發氣」。「うつかり」即「不小心」；。「向ふ」乃「對面；那邊」；。「飛び

かかつた」即「飛躍猛撲過去」。「女房」即「妻室」。

【譯文】咲子(人名)帶着小獅子到院子散步、因天氣冷小獅不高興暴跳起來、咲子一不

小心將手一放、在這個機會小獅便猛然向着從對面走來的號房的妻室猛撲過去。

(又) 預て地方官異動を着々斷行しようとする途端に例の關西大風害に遇つて一時

中止された。

【釋義】「しやうとする」乃「將要做」。「例の」即「前次的」。

【譯文】早預備斷行地方官更調、剛巧其時遇着上次之關西大風害。一時也只得中止了。

【覺束ない】

【解】拿不穩；

靠不住；

太危險。

例

(A) 今夜星が一つも見えないから明日の天

氣はどうも覺束ない。

【釋義】「どうも」有「實在是」之意。

【譯文】今夜星子一個也看不見、明天的天氣、實在是靠不往、

(B) 近頃、頭が痛くて仕様がな、醫者に診察して貰ふと神經衰弱だ相だ、それなら

今度の入學試験はどうも覺束ない。

【釋義】「仕様がな」乃「無法」。「相だ」是「聽說」。「それなら」是「那末」。

【譯文】 最近頭痛得沒有辦法、請醫生診察一看說是神經衰弱、那末、此次入學試驗真

是靠不住、

(C) 彈丸が肺の所に當つて居るから生命が覺束ない、

【釋義】 「當つて居る」即「射中」。

【譯文】 因彈丸射着肺的地方、生命太危險(靠不住)

【解說】 「覺束ない」乃完全表示「靠不住；拿不穩。」比方說人家的日本話說得不好也

可說「覺束ない日本語」。即是表示他的日本話是不完全、是靠不住的。

勿體ない

【解】 不相配；
太過可惜。

太不抵得

例

(A) あんな美しい御嬢さんを其の明旨の百姓に嫁したのは本當に勿體ない事であつた。

【釋義】 「御嬢さん」即「小姐」。「明旨」即「目不識丁之人」「百姓」即「農夫」、「本

當に」即「真正是」。

【譯文】 將那樣美麗的小姐、嫁與目不識丁之農夫、真是太不配了。

(B) 卓子掛ていごるかけを雜巾ざうきんとして廊下ろうかの埃ほこりを拭ふくのは勿體ない事だ。

【釋義】 「卓子掛」即「卓布」。「雜巾」即「抹布」、「埃」乃「塵灰」。

【譯文】 用卓布當作抹布來揩拭廊下的塵灰、真太可惜。

(C) 大學だいがくを卒業そつげふしたのに人力車夫じんりきしやふをして居ゐるのは勿體ないな！

【譯文】 大學都已卒業。可是只做一個黃包車夫真太不抵得。

【解說】 「勿體ない」比「惜しい」更甚。「惜しい」解作「可惜」。而「勿體ない」是千萬

倍的可惜、在傍人看來、都覺得可惜萬分、事情太不相配。

勿體振もつたいぶつて居ゐる

【解】 神氣十足；

妄自尊大；

擺架子、

(A)

例

大學院だいがくゐんに這入はいる爲ためめ指導教授しだうけうじゆの捺印なつしんを
求めもとに教務課けうむくわに行いつて見みると先生せんせいは室むろ
の真中まんなかに在ある課長椅子くわちやういすに腰掛こしかけて居ゐて

随ずいぶん分ぶん勿體振もつたいぶつて居ゐる。

【釋義】「捺印」即「盖章」。「腰掛けて」即「坐着」。「隨分」即「很是」。

【譯文】爲入大學院求指導教授盖章到教務課去、先生正在室中最中央之課長椅上坐着神氣十足。

(B) 昨日李君の誕生日だから澤山御馳走を造つて大勢の親友を招待したが其の中の張と言ふ人が中中勿體振つて誰とも一言を交さなかつた。

【釋義】「澤山」乃「很多」指物。「御馳走」即「盛饌美味」「大勢」亦是「很多」乃用以指「人」。「中中」「是」「很」「交さなかつた」即「未交」。

【譯文】昨天是李君生日、弄了許多美肴、招待許多親友、其中有一個姓張的、非常擺架子、和誰都不交一言。

【解說】「勿體」即有表示「尊貴；相配」等意。「勿體振つて居る」即是表示一種神氣「驕傲；裝模倣樣」等々。

いやおう無しに

【解】(否應無しに) 不問他肯不肯

不問其願否
不問三七二十一、

例

(A)

この犬が何時も跟いて來るので仕方がないから仕舞ひには捕へて否應無しに格子手の内へ入れて置いてから出掛け

る。

【釋義】「仕方がない」乃「沒有辦法」可參看此項公式 「仕舞ひには」乃「末後；最

後」。「出掛ける」乃「出去」。

【譯文】此犬無論何時總跟到來、真沒有法子、末後只有捉住他、也不管他三七二十一

把他放進大門内、再出去。

(B) 刑務所では犯人が捕まれて這入つて行く時所長が其の犯人を前に立たせて否應なしに指紋を捺させることになつて居る。

しに指紋を捺させることになつて居る。

【釋義】「刑務所」即「監獄」。「前に立たせて」乃「使立于前」。「捺させて」乃「使

其捺按」。「ことになつて居る」乃「已這樣規定」、可參看此項公式。

【譯文】 監獄每當犯人被捕進去時、所長使犯人立于其前、不問其肯不肯、使其捺按指紋。

【解說】 「否」即「不答應」、「應」即答應。「否應なしに」即「無所謂答應不答應；不管肯不肯」。

今更いまさら

【解】 現在又來……

現在更其

つて居た。

(A) 例

其その會社くわいしやは始はじめから覺束おぼつかないと思おもつて居いたが併しかし一旦とうし投資とうしした以上いじやうは今更いまさら手てを引ひくのも悪いので暫時しばらくせいくわんしゆぎ靜觀主義じやうくわんしゆぎを取

【釋義】 「覺束ない」即「靠不住；有點危險」。可參看此項公式。「以上」乃「既然……」可參看此項公式。「手を引く」乃「收手」之意。

【譯文】 那個公司在最初即覺得他有點危險、然而既然一旦投資、現在又來收手也不大好、所以暫時取靜觀主義。

(B) 通知も出したし一切の用意も出来て居るから今更この會を中止する譯には行か

な。

【釋義】「出したし」之最末「し」字乃並列法解作「而且」。「譯に行かない」乃「不能；斷無此理」。「用意」即「準備」。

【譯文】通知既已發出、而且一切準備都弄好了現在又來中止斷無此理。

【解說】「今更」乃表示「一切一切的事已是那樣做了而現在又來這樣這樣」之意。

猶更……
【解】更其；
更不用說

等に至つては猶更の事である。

(A) 例

夕立のやうな性質上短時間の雨でも長い間に續けて見なければ其の動の趣味を味ふ事は出来ない、況して春雨秋雨

【釋義】「夕立」即「驟雨」。「味ふ」乃「領略」。「況して」乃「而況」。

【譯文】如驟雨等性質上雖是短時間之雨、若不在長時間繼續觀看、也不能領略其「動」

之趣味、而况春雨秋雨等則更不用說。

(B) 努力は成功の一大要素である、昔の簡單な社會に於いてすら努力をしなければ成功が出来ない。今日の複雑な而も競争激しい社會に於いては猶更徹頭徹尾不眠不休の努力を要する。

【釋義】「すら」乃「尙且、甚至」。「而も」乃「而且」。

【譯文】 努力乃成功之一大要素、在昔日簡單社會、尙且非努力不能成功、在今日複雜而又競争甚激之社會、更其須徹底不眠不休之努力。

満更まんざら………ない
【解】 當然不………
並 不………

例

(A) 吾輩も先生先生と言はれて満更悪い心持はしないから、ハイ〜と返事をす
る。

【釋義】「と言はれて」即「被人叫着」。「心持」乃「心胸；精神」表示舒服不舒服的意思。「吾輩」即「我」單數。

【譯文】 我被他、叫着先生、當然也不覺得不好。所以「是！是！」的連忙答應。

(B) 「レビユ」は本當好かないが切符まで買つて呉れて是非行けと勧められたから、
滿更悪いでもないから一緒に行つて來た。

【釋義】 「レビユ」是女子舞臺上跳舞兼歌唱。「切符」即「票」。「まで」乃「連；甚至」之意。「呉れて」乃「給我」。「是非」乃「無論如何」可參視此項公式。

【譯文】 歌舞本來不大歡喜、然而連票都已買得送來被他勸着無論如何都得去、既這樣也並不壞、所以和他一道去看得來了。

【解說】 「滿更」乃表示「一樁事情、就是這樣辨々、也沒有別什麼不好、所以底下常々是跟着一個否定助動詞「ない」。

(A) ……
〔四變〕 爲ためです

(B) ……
の爲ためになる

(C) ……
の爲ためめに

【解】 (A) 因爲……之故

(B) 爲……而有益

(C) a 爲……(被……)
b 爲……起見

皆因爲貧窮無錢之故。

【解說】 在此等句中「爲め」完全與「から」相同。表示「因爲……之故」。

(又) あの男をとこがそんなに酒さけを飲のんだり泣ないたりして自棄やけになつて居ゐるのは皆お前みなまへの爲

めだ。

【釋義】 「お前」即「人稱代名詞第二稱之不客氣語。此處指一女子」。

【譯文】 那個男子那樣的飲酒又哭、自暴自棄、全是爲你之故。

例

(A) あの人はそんなに儉約けんやくして、そうして

そんなに働はたらいて居ゐるのも皆貧乏みなびんぼうで金かねが

ない爲ためです。

【釋義】 「そんなに」是「那樣的」。「そうして

て」乃「而且」。「働いて」是「工作」。

【譯文】 那個人那樣的省儉而且那樣的做工

【解說】 此句中之「爲め」亦是表是「因爲……之故」有「因爲你害了他」之意。但是不能如前條可換用「から」因爲此處之「爲め」接在「の」字下面。而「から」則非接在四變下不可。

(B) 每朝早く起きて一時間位運動をすると非常に體の爲めに成る。

【釋義】 「一時間位」即「一小時左右」。

【譯文】 每朝早起、倣一小時的運動。那末、於身體非常有益。

【解說】 此等句子中之「爲めになる」即全是表示「利益；於人有好處」等々之意。

(又) 君がまた白狀しないのか？ そんなに頑張ると君の爲めに成らないぞ！

【釋義】 「白狀」即「自白；一切說出來」。「頑張る」即「堅持；強硬」之意。「ぞ」是威脅口吻。

【譯文】 你還不把一切說出來嗎？如果那樣的強硬不說，便於你不利。

(C) …… a 敵軍は既に我軍の爲めに包圍されて居るから最早袋の鼠と同然だ。

【釋義】 「最早」乃「既已經……則……」可參觀本書「此項」之公式。「袋の鼠」即袋中

之鼠無所逃避之意。

【譯文】 敵軍既被我軍所包圍、則已如甕中之鼯。

【解說】 此等句中之「爲めに」表示「被……」之意故其下一定有被役助動詞、如「包圍されて」即「される」即被役助動詞。

(C) ……b 我々は國家を強くする爲めによく努力しなければならない。

【釋義】 「しなければならぬ」乃「非……不可」

【譯文】 我們爲強盛國家起見、非好々的努力不可。

【解說】 此等句中之「爲めに」即是表示「爲得…起見」之意、可以接在動詞四變之下也可以接在「の」字之下、如「貴方の幸福の爲めに」(爲得你的幸福起見)。「國家の爲めに」乃「爲得國家起見」。「早く起きる爲めに」(爲得早起起見)。「學校へ行く爲めに」、「爲得上學校起見」等々。

……と相俟つて(待つて)

【解】 兩者相輔；

(表示兩者相得益彰之意)

例

(A) 湖沼の水色も亦四圍の山容と相俟つて

風景之美を造る。

【譯文】 湖沼之水色與四圍之山容兩者相輔

而成風景之美。

(B) 世界平和は軍縮會議の成功と全世界人民の眞の覺悟と相俟つて實現するべきである。

【釋義】 「べき」乃文語、表示「可以」

【譯文】 世界和平、須軍縮會議成功與全世界人民之眞正覺悟兩者相輔始能實現。

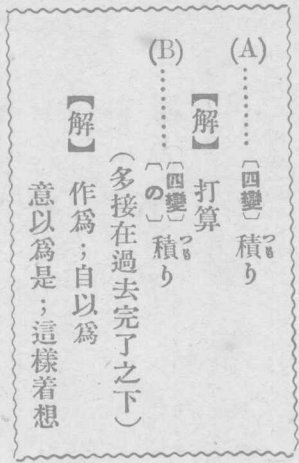
(C) 日本は明治維新當時岩倉具視公爵や伊藤博文公爵等先進の大努力が日本國民全體の頑強の大決心と相俟つて今日の強國基礎を築き上げるに至つた。

【釋義】 「頑張る」乃「堅持；拼命幹」等意。

【釋文】 日本、因明治維新當時岩倉具視公、伊藤博文公爵等先進之大努力與日本全國

民之硬幹決心相輔而行、遂築成今日強國之基礎。

【解說】「と相待つて」是表示原有一種本已很好、再和另一種相輔而行時、愈其增加力量。



例

(A) 電氣も宜しいし機械も必要だが私の意見では先づ政治が軌道に納めてから然るべきであるので今年やはり慶應大學の政治科に這入る積りです。

【釋義】「然るべき」即「始可如此」。

【譯文】電氣亦佳、機械亦重要、然予之意見、以爲須政治先入軌道始能如此、故今年

仍打算入慶應大學之政治科。

(又) 汎太平洋會議が愈々開會するですから出來る事なら傍聽に行く積りです。

【釋義】「愈々」乃「終于；即將」等意。「出來る事なら」是「如果可能的話」。

【譯文】 汎太平洋會議、即將開會、如果可能的話打算前往傍聽。

【解說】 「積り」乃「積る」之第二變。原解作「積疊」此處爲轉用、表示一個人的希望與將來的決心。放在文句的最末尾、恰與中國位置相反。

(A)	……… 【譯】 筭	預定；理由；當然 必須；應該
(B)	……… 【解】 譯	理由；原故 應當；預定

(與「筭」用法稍不同)

く」乃「自然發生」「役に立たない」乃「沒有効用」。

【譯文】 其成爲疾病或腐敗之源之微細生物、若是沒有種子可以自然發生的、則這樣的

方法應該是沒有効用。

(又) あの人(ひと)が今日(けふ)來る筭(はら)ですが、どうした譯(わけ)ですか今(いま)に成(な)つてもまだ來(こ)ない。本當(ほんたう)

例

(A) 若(も)し病氣(びやうき)や腐敗(ふはい)の元(もと)と成(な)る微細(びさい)な生物(せいぶつ)が種(たね)がなくても自然(しぜん)に湧(わ)く物(もの)であつたら斯(か)う言(い)ふ方法(はうほう)は何(なん)の役(やく)にも立た(た)ない筭(はら)である。

【釋義】 「元」乃「源頭；基本」等意。「湧

に可笑しい。

【釋義】「どうした譯」乃「甚麼原故」。

【譯文】那人今天應該來的、不知什麼原故到現在尙沒有來、真是奇怪（可笑）。

(B) 事態がこんなに成つた以上、今更手を引く譯にも行かない。

【釋義】「以上」乃「既然……」可參看此項公式。「今更」乃「到現在又來……」。「手を

引く」即「收手」。

【譯文】事態既然到此地步、現在又來收手、也斷無此理（再無收手之理）

(又) 米國に十年も留學したから英語が上手な譯（旨い筈）です。

【譯文】在美國留學十年、英語當然很好（當然好）

(又) あの人はどうして怒つたか譯が分らない。

【譯文】那個人爲什麼發怒、不知其故。

(A) (B) 總括之例：（表示此二者之區別）

(1) 上海丸は今日午後三時神戸に着く筈ですが途中で大暴風雨に遭つたので一時長

崎さきの附近かきんで停航ていかうした。こんな譯(A)で三時間位じかん、後おくれた。

【譯文】 上海丸預定今日午後三時到神戸、因中途遇大暴風雨、一時在長崎附近停錨。

因此之故、遲了(B)三小時。

(2) どう言ふ譯(B)かこゝに置いた指環ゆびわが見えなく成つた。併し誰も來なかつたから盜ぬすまれる筈(A)がない。

【譯文】 什麼道理(B)（什麼原故）放在此處的戒指、沒有看見了、但是誰也沒有來過、不應該會被人偷去。(A)

(A) (B) それはその筈はず
 (A) (B) それもその筈はず

【解】
 (A) (B) 那是自然
 亦無怪乎

例

(A) あの人の日本語は逆も上手ですじょうずね！

(B) それはその筈、九年くねん以上も日本に居ゐるから。

【譯文】 那個人(B)的日語真好！那自然、因為在日本住了九年以上。

(B) あの人はどうしてそんなに急きゆうに歸國きこくしたかと思ふと、それもその筈、母病危篤きとくの

電報を接したから。

【譯文】 那個人爲什麼那樣的突然回國、蓋因接着母病危篤的電報。亦無怪乎其然。

【解說】 「筭」本解作「當然；應該是；預定」等意。可參看該項公式、在此處即是表示

「當然；之意」。與「それは」「それも」相映照、便可解作「蓋無怪其然；亦理所當然」之意。

(B)(A)

…… (二變) たら宜かつた

…… (二變) たら好いのに

【解】(A) 倘若……就好了
(表示並未做得、有點後悔)

(B) 如果……便好、可是
(表示未這樣做、可是錯過了)

例 (A)

長い間國から消息が些とも無いから今朝急いで一通の書留手紙を書いて出した所に國からの便りが來た。其の時私はもう少し待つたら宜かつたと思つた

【釋義】 「些とも」即「一點都」。「手紙」「便り」都是「信」。

【譯文】 因爲許久從國內沒有一點消息、所以今早發出一封掛號信去、剛々國內的信又

來了、其時我想倘若稍爲待一待就好了。

(B) 或日友達と一緒いっしょに先生せんせいを訪ねて行つたが丁度先生の出掛けたばかりの所で逢あはなかつた。本當ほんたうに五分間位早く來たら好いのに驛えきで雜誌ざっしを買つたから、こんな目に遭あつた。

【釋義】「丁度」乃「剛々」。「こんな目に遭つた」乃指「遇着這樣的事」。

【譯文】某天和朋友一道去訪先生、正巧是先生剛出去、沒有會着、倘只是早來五分鐘便好、可是在車站因買雜誌、遂致遇着這樣的不幸。

(A)	……とすれば
【解】	假設……則……
(B)	……としても
【解】	縱令這樣……

例

(A) 一日の産卵數さんらんすうが二百個とすれば一月の産卵數さんらんすうは六千個なに成る譯わけである。

【釋義】「譯」即「應是；當然。」可參看該

項公式。

【譯文】假設一天的產卵數是二百個、則一月的產卵數應是六千個。

(又) 太陽は地球から凡そ三千八百萬里も離れて居る。一時間百哩の速度で飛ぶ飛

行機に乗つて行くとすれば八十七年を要する。

【譯文】 太陽距地球離着三千八百萬里。假設坐一個時速百哩的飛機前往，要八十七年。

(B) 昔むかしの人が如何いかに空想くうさうが發達はつたつしたとしても今日のやうな無線電等ラヂオは夢想むさうにだも付かないであらう。な

【釋義】 「無線電」即指「無線電信電話、播音」。「だも」乃「甚至；連」。

【譯文】 假設古人縱令怎樣空想發達，然如今日的無線電，怕連夢想都沒有想到。

【解說】 「すれば」原是「倘若做，則……」之意。此處「とすれば」乃完全當作某一

事情之假定。

(B) 「マリー」は女王ぢやうじゆになつた積りほろで、濫褻服らんせつふくを着て居ても冷食殘物れいしょくのこりものを食つて居ても仍

氣高けだかい振ふりをして濶歩くわつぽして居る。

【釋義】 「マリー」「女孩名」。「氣高けだかい振ふり」乃「高貴的神氣」。

【譯文】 瑪利作爲自己是已成爲女王。雖穿着破衣，吃着殘羹冷飯，仍是高傲的神氣堂

堂的走着。

【又】君は只の旅行者と思はないで國家の代表者の積りで行きなさい、そうして向ふで大いに國家の爲めに遣つて下さい。

【釋義】「只の」乃「平常的」。可參視該項公式。「向ふで」乃指「在那邊；在那個地方」。「遣つて下さい」乃請你好々の幹。

【譯文】你不要以爲是一個平常的旅行者、要作爲是國家的代表前去吧！而且請你在那裏爲國家大大的幹一番。

【又】この人は御覽の通り素樸で正直な男です、どうぞ其の積りで使つて下さい。

【釋義】「使つて下さい」「請使用」。

【譯文】這個人和你看見一樣、素樸老實的人、請你這樣着想的使用他吧！

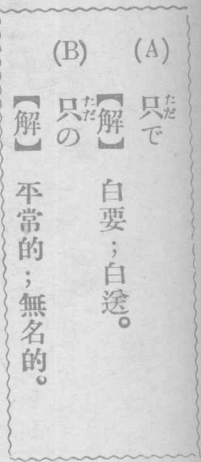
【解說】「積り」在此等句中、便和前條「打算」不同、表示「自以爲是這樣；存心這樣」等意。

(A) 只ただで

白しろ要い；白しろ送く。

(B) 只ただの

解と 平常へいじょう的てき；無む名めい的てき。



例

(A) 外ぐわい套たいは五十ごじゅう圓げんです、この手て巾きんは只ただで差さ

上あげませう。

【譯文】 外ぐわい套たい是五十ごじゅう圓げん、此こ條じょう手て巾きん、便べん白しろ送く

呈てい吧ぱ。

(又) 今日こんにちは箱はこ根ねや熱あつ海かい、それそれから湯ゆ河が原はら等とう温おん泉せん地ちへ旅りょ行こうして來きた、一いっ切さいの費ひ用ようは皆みな

茅まう君くんが拂はつて吳くれたから只ただで遊あそばして貰もらった。

【釋義】 「拂はつて」乃乃「支し付ふ」。吳くれた」乃乃補ほ助じょ動どう詞し、表示ひょうじ「替か我が給たま了り」。「遊あそばして」乃乃

「使し我が遊あそび」。「貰もらった」乃乃補ほ助じょ動どう詞し、表示ひょうじ「得え着ち人にん家か請まを遊あそび」。

【譯文】 今天こんにち到いた箱はこ根ね、熱あつ海かい、及および湯ゆ河が原はら等とう温おん泉せん地ち方かた旅りょ行こう來き了り、一いっ切さい的てき費ひ用よう都みな是なり茅まう君くん支し付ふ。

白しろ白しろ的てき玩あそび了り一いっ趟ちやう、自おの己の沒な有あ出で錢せん。

(B) 李り君くんは只ただの留りゅう學がく生せいではない、實じつに中ちゅう日にち親しん善ぜんの使し命めいをも兼かねる。

【譯文】 李り君くん不ふ單だん是なり平へい常じょう一いっ個こ留りゅう學がく生せい、且かつ兼か負お有あ中ちゅう日にち親しん善ぜん的てき使し命めい。

【解說】 (A)例之「只で」即是白白的、不費金錢也不費勞力之意。(B)例之「只の」即表

示不是一尋常的兼有其他作用的。

曰く附きの………

【解】 有過去歷史的……

有緣故的………

例

(A) 流石さすが曰く附つきの女おんなですから法はふてい廷ていに立たつ

て堂々だうだうと辯解べんかいして居ゐます。

【釋義】 「流石」乃「無怪乎」或「到底是……」。

【譯文】 到底是有過去歷史的女子、所以站在法廷、堂堂的辯解。

(B) 私の嘘うそは只ただだ冗談じやうだんはんぶんい半分で言いつたがあの人は曰ひとく附つきの嘘うそだから君きみは餘程よほど用心ようじんしな

ければならなう。

【釋義】 「嘘」乃「說謊」。「冗談」即「笑話；開玩笑」。「餘程」乃「很」。「用心」乃

「注意；留心」。

【譯文】 我的說謊、只是半開玩笑、可是那個人却是有緣故的說謊、(有用意的說謊、)你

非很留心不可。

【解説】「曰く」本是解作「説；謂。」即孔子曰之「曰」在此處轉用、表示「來頭、原故」。「曰く付き」即表示「有來頭、有所謂的、有原故的」等意。

せんすべも無い

【解】 走頭無路；

無法可施

一匹の親羊が冗れに出遇つた。

【釋義】「八方」即「四面八方」。「悲鳴を揚げた」即「揚聲悲鳴」。「疲れ果て」乃

「完全疲乏」。「出遇つた」即「遇着」。

【譯文】小獅子吃驚向四面奔跑悲鳴、叫他的母親、然而沒有回答。完全疲乏正無法可

施的時候、有一匹母羊、正碰着他。

(B) 比島拳闘選手一行の内四名が持金不足の爲め上陸禁止を喰つてせんすべも無い時

に平沼會長の斡旋で三名だけ漸く上陸を許された。

例

(A) 仔獅子は驚いて八方に走り廻り、悲鳴

を揚げて母を呼んだが答へが無い。疲れ果て、せんすべも無くなつた時に

【釋義】「比島」即「菲律賓」。「持金」即「帶來的川資」。「喰つて」乃轉用即「遭遇」之意。「斡旋」即「調停；辦交涉」。

【譯文】菲律賓拳闘選手一行中四名因所帶錢不足、被禁止上岸、正無法可施的時候、得平沼會長之奔走調停、三名始得允許登岸。

【解說】「せんずべもない」之「せん」即さ變動詞第一變化加文語「ん」字表示「想做」。「すべ」即「術」字、解作「方法」。故「せんずべもない」即「無術可展、無法可施」。

餘儀なく（餘儀ない）
 【解】 不得已
 餘儀なくされる（された）
 【解】 被逼不得已；

例

(A)

明日箱根へ旅行する予定ですが今日の
 夕方あたりから雪が降り出したので餘
 儀なく其れを中止した。

【釋義】「夕方あたりから」乃「自傍晚的時候」。

【譯文】本預定明日到箱根去旅行、可是今日自傍晚時候起下起雪來了、不得已中止此

行了。

(B) 昨日は餘儀ない事情が有りましてので参りませんでした、どうぞ悪しからず御願ひします。

【釋義】「悪しからず」乃（不要見怪）。「お願ひします」乃「客氣語」、即「請求」之意。

【譯文】昨天因有不得已的事情、沒有來、請不要見怪。

(C) 汽車中、人が一杯でしたから私が神戸から京都まで立ちん坊を餘儀なくされた。

【釋義】「一杯」即「满满的；很多的」。「立ちん坊」即「站着不坐」。

【譯文】火車中的人滿極了、從神戸到京都之間、我被逼不得已只有站着。

據どころなく

【解】 不得已

例

(A) 吹雪に遭つて列車は立往生になつた。

據どころなく、列車の中で一晚を通した。

【釋義】「吹雪」乃「大風雪」。「立往生」乃「停車不能動」原來「往生」乃「死去」之意。「立往生」即「站着死去」此處轉用其意。

【譯文】遇着大風雪・火車停着不能動，不得已已在火車中過了一晚。

(B) 本當は今日こんにちは國際俱樂部こくさいくらぶに出席しゅつせきしなければならぬが他ほかに急きふに據たもとるところない事情じきじょうが出来できてとう／＼俱樂部くらぶへ行くのを見合みあわせた。

【釋義】「しなければならぬ」乃「非……不可」。「出來て」乃「發生；有了」之意。「見合せた」乃「中止了」。

【譯文】本來今天非出席國際俱樂部不可，然而別的地方忽然發生不得已的事情，只好中止不去了。

【解說】「據どころなく」與「仕方なく」大致相同，表示一種不得已的情形。

(A) 仕方しかた無なく

【解】 不得えい已い

(B) 仕方しかたが無ない

【解】 沒有辦法

例

今日こんにちは急きふに用事ようじが出來できたから仕方しかたなく先日せんじつの庭球ていきうの約束やくそくは此この次つぎにしませう。

【釋義】 「用事」即「要事」。

【譯文】 今日因突然間發生了要事、所以日前網球之約不得已只好下次再做吧。

(又) 此こんなに忠告ちゆうこくしたのにもつとも、聞きいて呉くれないから本當ほんたうに仕方しかたが無ない。

【譯文】 像這樣的忠告了(他)、然而還是一點也不聽、所以真沒有辦法。

(又) 靜しづかに勉強べんきやうしようと思おもつて居ゐる所ところに又友達ともだちが來きて半日はんじちを無駄むだに過すごしたのは本當ほんたうに仕方しかたが無ない。

に仕方がない。

【釋義】 「所に」即(其時)。「無駄」即「浪費」。

【譯文】 正欲靜心用功的時候、又有朋友跑來了、浪費了半日光陰、真是沒有辦法。

【解說】 「仕方」即「做的方法」或「辦法」。故「仕方がない」即「沒有辦法」等意。

(A) 仕様が無い(仕様の無い)
 【解】 沒有辦法
 (B) 仕様が無い奴だ
 【解】 無聊的東西

第しなかつたのは仕様のない事だ。

【釋義】 「及第」即「合格」。「なかつた」即「ない」之過去完了。

【譯文】 這樣的用功，入學考試還是沒有合格，真是沒有法子的事。

【解說】 「仕様」即「做的方法；辦法」蓋「様」字在此既不是解作「様子」！更不是解

作「君；或先生」、只是「方法」之意。故「仕様が無い」即「沒有辦法」。

(B) 本も碌に讀まないし下宿屋では人と喧嘩ばかり、あの人は實際仕様が無い奴だ。

【釋義】 「碌」與中國字之本意恰々相反。解作「好々的」。

【譯文】 書又不好々の讀，在旅館又專和人吵鬧，那個人真是無聊的東西。

【解說】 「仕様が無い」原是解作沒有辦法，此處亦可轉用作是一種罵人口吻，如「無

例

(A) この二三日實に寒くて仕様が無い。

【譯文】 這兩三天真是冷得沒有辦法。

(又) こんなに勉強してまた入學試験に及

聊；無法無天；無法對付」等々。

(A) 致いたし方かた無なく

【解】 不得已；

別無他法、

然而現在正需要、不得已也只得買了。

(又) 試驗しけん最中さいちゆうに國くにから「至急しきゅう歸れ」と云いふ電報でんぱうが來きたから致いたし方かた無なく試驗しけんを止やめて直すぐ出發しゅつぱつしました。

【譯文】 在試驗期中從國內來了一個「即速歸家」的電報，所以沒有法子只好拋開考試馬上出發了。

例

此この外ぐわい套いたふは百圓ひゃくえんにしては高過たかすぎるが今入用いまいりようだから致いたし方かた無なく買かふ事ことにしました。

【譯文】 這件外套，要一百元，未免太貴、

【解說】 「致いたし」即「爲する」之謙卑語、解作「做」之意。「方かた」即「方法」之意。故「致いたし方かた無なく」即「沒有做的法子」、即是「沒有辦法」、亦即是「不得已」等意。與「仕方無なく」相同。

く」相同。

詮方せんかた無なく

【解】 只好；

無他法、

例

國くにから學費がくひが三ヶ月さんげつごつ續つづけて送おくつて來こなかつたので詮方無せんかたく全部ぜんぶの本ほんを質屋しちやに入れてやつと二十圓ごじふを拵こしらへた。

【釋義】 「質屋」即（當舖）。「やつと」乃（好容易）。

【譯文】 因家中接連三個月沒有寄學費來，所以只好把全部所有的書都當了，好容易才

湊了二十元。

(又) 昨日橫濱よこはまへ行く時とき、電車でんしゃに間まに合あはなかつたので詮方無せんかたく自動車じどうしゃで行いつた。

【釋義】 「間に合はなかつた」即（沒有趕上）之意，（參照本條公式）。

【譯文】 昨日去橫濱的時候，沒有趕上電車所以只好雇汽車去的。

【解說】 「詮方無く」表示再沒有別的辦法，只好來怎樣々々和「仕方なく」等差不多的

意思。

途方に暮れた

【解】 走頭無路、

沒有辦法。

人も無いから實に途方に暮れた。

【釋義】 「別に」乃「另外；其他」。「頼る」乃「依靠」。

【譯文】 特意從國內來日本尋訪朋友、可是一星期前那個朋友因卒業旅行到北海道去、
其外又別無可依靠之人、真是走頭無路。

(B) 病氣の爲めに入院して居る内、醫者から手術をしなければならぬと言はれて而
も學費が半年も送つて來なかつたから本當に途方に暮れた。

【譯文】 因病入院中、醫師謂非行手術不可、然而學費又半年未寄來、真沒有辦法。

【解說】 「途方に暮れた」即「日暮途窮」之意。故可解作「無法；事與願違」等意。

例

A)

態々國から日本に友達を訪ねて來たが
一週間程前に其の友達が卒業旅行の爲
めに北海道の方へ行つたので別に頼る

途方も無い

【解】 過爲誇張；
不近情理；
無所涯止。

過爲誇張的話。

(B) 虎が象の背中に乗つて町に走り廻つて居ると言つて居るがそれは途方も無い話だ

【譯文】 有人說老虎騎在象背上在街上跑、這全是不近情理的話。

(C) 喋舌屋が一度口を開けば途方も無い話を續ける。

【釋義】 「喋舌」即「講話」。「屋」乃指「人」。「喋舌屋」即「歡喜說話的人」。「口を開けば」即「倘若一開口」。

【譯文】 喜歡說話的人、一旦開口、便說一個無休無歇。

【解說】 「途方も無い」乃表示一種「不合乎道理；過爲誇大其辭；無有停止」等意。

例

(A) この人が非常に滑稽だから時々途方も

無い話をする。

【譯文】 這個人因爲非常滑稽、故時々說些

……観を呈して居る

【解】 有……現象。

呈……之狀。

観を呈して居る。

【釋義】 「心配」即「憂慮」。「毛頭もない」乃「一點都沒有」。

【譯文】 瑞士風景又好、氣候又溫暖適宜、而且又爲永久中立國、故如戰爭等事一點都

不用憂慮、真有世界樂園之觀。

(又) 國際俱樂部が開會する時、各國の人々が一堂に集つて歡談して居る時だけ、真

に世界大同の観を呈して居る。

【譯文】 國際俱樂部開會的時候、各國的多數人集于一堂談笑、唯有此時、真有世界大

同的現象。

【解說】 「観」即表示「一種狀況；一種現象」。「呈して居る」乃「正正現着；正正呈

(A)

例

瑞士には風景も好いし氣候も溫暖適宜
で而も永久中立國であるから戰爭の心
配などは毛頭もない、真に世界樂園の

出」。故「觀を呈して居る」即表示「現出一種這樣的狀況」。

……………工合（具合）
 【解】 情形；安排；様子、

例

(A)

神田の某亭で晚餐を食ふ、久し振りで
 正宗を二三杯飲んだら今朝は胃の具合

が大變好い。

【釋義】 「某亭」即指「某酒館」。「久し振り」乃「很久」。「正宗」乃「日本酒名」。「大變」即「非常」。「たら」乃第五變之たら表示「一旦；就」。

【譯文】 在神田某酒館吃晚餐、很久沒有喝酒、一喝了二三盅、今早胃很覺舒服（胃的
 情形很好）

(B) 朝六時から夜十一時まで休まずに勉強する、この工合で行けば試験に及第するだらう。

【譯文】 從清早六時起至晚十一時止不休不歇的用功。依這樣的樣子辦過去、可以考試合格吧。

(C) 君の事だから無論助けて上げる積りだが併し今日は具合が悪いから明日屹度、し
ます。

【釋義】「無論」即「當然」。「積り」乃「打算；意思」可參看此項公式。「屹度」即「一
定」。

【譯文】因為是你的事、當然打算來幫助你。可是、今天不方便（今天情形不好）明天
一定辦吧。

(D) こんな具合で遣つたら宜からう。

【譯文】照這樣的安排（佈置）、大概好吧！

(B) (A)

具合が好い
具合が悪い

【解】(A) 舒服；情形很好、
(B) 不舒服、不方便、
情形不好。

例

(A) 今迄鼻蓄膿症に罹つた爲呼吸が随分困
難であつたが此の間手術をして貰つ
たので今は迎も具合が好くなつた。

【釋義】「罹つた」即「患着」、「此の間」乃「前幾天」。「貰つた」乃「請他替我做一

椿事」。

【譯文】從昔到今皆因患鼻子蓄膿症、呼吸很困難、可是、前幾天受了手術、現今非常

舒服。

(又) 明日この洋服を拵へて呉れるなら仍具合が好い。

【釋義】「拵へて」乃「製造」。「仍」乃「更其」。

【譯文】如果明日能把洋服做好、那更其好了(指情形更好)。

(B) 腹の具合が悪いから診察して下さい。

【譯文】肚子很不舒服、請替我診察。

(又) 冬の季節に卒業旅行をするには一寸具合が悪い。

【譯文】冬季舉行卒業旅行、稍々情形不方便。

【解說】「具合」可再參看「具合」的公式。

(C) (B) (A)

好い加減かげんに
手加減てかげん

【解】

(A) 程度；情形、
(B) 剛々好；媽々虎々；
(C) 適度。
斟酌；裁量。

例

(A) 御風呂おふろの加減かげんはどうですか。

【釋義】「御風呂」即「入浴」或指「入浴之水」。

水。

【譯文】「燒的洗澡水的程度、怎麼樣？」

(又) 先のお湯ゆは一寸熱過ちよつとあつぎだが今少し水みづを入れたから丁度ちやうど好い加減かげんです。

【釋義】「お湯」在此即解作「洗澡水」。「一寸」乃「稍々」。「丁度」乃「剛々」。

【譯文】先那個洗澡水、太熱、剛才加了一點冷水、所以剛々好。

(B) 花はなも随分ずぶん看みましたから好い加減かげんに歸かへりませう。

【譯文】櫻花已很看了一番、差不多（合適的）我們也就回去吧！

(又) あの會社員くわいしやまんは仕事しごとを好い加減かげんに遣やつて居る。

【譯文】那個公司職員、媽々虎々的做事。

(C) 昔中國の如き專制君主時代に於いては君主の手加減一つで宰相にも成るし、囚人にも成る。

【譯文】 如古昔中國專制君主時代、因君主之裁量（一任意判斷）或爲宰相、或爲囚人。

【解說】 「加減」原是「增加減少」之意。此處即是轉用表示因一個人的調節按排、而情形便成怎樣。

(B) (A)

好い鹽梅
あんぱい
あんぱい
鹽梅

【解】 (A) 剛々好；適宜。
(B) 情形、様子、程度

例

(A) 今日こんにちは好い鹽梅ですね！

【譯文】 今日天氣真好呵！

【解說】 「好い鹽梅」是說「真是剛好」。然

而此處何以添出「天氣」二字？因爲這是日本人普通的應酬話、這樣平空一句、即是

指「天氣好」而言。

(又) この位書いたら丁度好い鹽梅でせう。

【釋義】 「位」指「這樣的程度」。「丁度」是「剛々」。

【譯文】 寫到這樣的程度、也就剛好吧！

【解說】 【好い鹽梅】 即是指「剛好好處」；正巧。〔等〕再參看下條「鹽梅」即更可明白。

(B) 幾ら材料が上等でも鹽鹽梅が好くないなら矢張と拙いです。

【釋義】 「幾ら……でも」即「無論如何」。「矢張り」乃「也是」。「拙い」即「不好吃」。

「惡劣」

【譯文】 無論材料怎樣上等、鹽若放得不適宜、也是不好吃。

【解說】 「鹽梅」完全表示「程度」；情形；樣子」等意。先有發音。「鹽梅」二字乃近乎其

音故以此二字、撮合上去。非真是「鹽梅」可作如是解也。

(B)(A)

見當が付く
見當が付かない

【解】 (A) 有頭緒
大概情形可以猜得着

(B) 沒有頭緒、莫明其妙、

猜不出

(A)

例

始めてあの會社に這入つて勤めて居る

と、何が何だか、薩張り分らないが、

段段遣つて居るうちに漸く見當が付い

て來た。

【釋義】「始めて」乃「最初」。「勤めて」乃「服務」。「と」乃前提出。「何が何だか」

是「一切甚麼」。「薩張り」是「完完全全；清清楚楚」。「段段」乃「漸々」。

【譯文】最初進到那個公司去服務的時候，一切什麼都不懂。其後慢慢做得過去，才漸

漸有了頭緒。

【解說】「見當が付く」是指一個人自己對於一樁事情，漸知道他的內容，有一種「會心獨得」之意。前條「片が付く」雖亦解作有頭緒然與此不同。「片が付く」是把一件雜亂的事情弄得清楚有頭緒有眉目，不再會紊亂。而此條僅是表示得着一種意思上的解決。

(B) あの人は何故そんな事をしたか、始めには全然分らないが、後に色々な事情を調べて見ると、漸く見當が付いた。

【釋義】「そんな」乃「那樣的」。「色々な」是「種種」。「調べて見る」乃「試為調查」。

「見る」即「試試」之意為「補助動詞」。「と」「前提法」。

【譯文】那個人為甚麼做那樣的事，起初全不解。其後把種種事情試為調查，才猜出他

(C) 幾ら調べてもやはり見當が付かない。

【釋義】「幾ら」是「無論如何」。

【譯文】無論如何調查、總找不出頭緒來。

(D) こんな所へ連れられて来て、一體、此處は何處だか全然見當が付かない。

【釋義】「連れられて来て」乃「被人家帶得來」。「一體」乃「究竟」之意。

【譯文】被帶到這樣的地方來、究竟這裡是什麼地方、全莫名其妙。

(又) あの人は何故そんなに怒つたか見當が付かない。

【譯文】那個人爲什麼那樣的發怒、真莫名其妙。

(E) この寶石はどの位値打があるか全然見當が付かない。

【釋義】「値打」即「價值」。

【譯文】這個寶石究值多少、全猜不出。

【解說】「見當」乃「猜想；估計；着意」等義。所以「見當が付いた」即猜想得着；估計的不錯」便一轉而爲「有了頭緒、有了眉目了」。「見當が付かない」即是變爲否定。

「猜想不着；估計不恰；着意不正確」。故一轉而解作「猜不出、莫名其妙；找不出頭緒」等意。

見當が外れる（外れた）

【解】 出乎所料、

所期不中（反其所期）

(A)

今度の書留は屹度、金を送つて來ただらうと思つたら極く普通の便りだつたすつかり見當が外れた。

【釋義】

【今度】

即「此次」。

「書留」

即「掛號信」。

「屹度」

即「一定」。

「送つて來た」

即「寄來」。

「だらう」

是推想、即「是吧」。

「と思つたら」即「以爲是……吧、可是……」可參看此項公式。「便り」即「信件、消息」、「すつかり」即「完全」。

【譯文】

此次的掛號信、以爲一定寄了錢來了、可是又是一極平常的信。完全出乎所料。

(B)

李君が暇だから此の間頼んで置いた論文はもう書いて居るだらうと安心して遊んで居る所に李君が腸窒扶斯で入院したと言ふ知らせが來てとうとう見當が外れてがつかりしてしまつた。

李君が暇だから此の間頼んで置いた論文はもう書いて居るだらうと安心して遊んで居る所に李君が腸窒扶斯で入院したと言ふ知らせが來てとうとう見當が外れてがつかりしてしまつた。

【釋義】「暇だから」即「因爲是有暇」。「此の間」即「前幾天」。「もう」即「已」

「所に」即「正其時」。「知せ」即「通知；報告；消息」等意。「とう／＼」即「終子」

「がっかり」乃「悲觀」。

【譯文】因爲李君有暇、前不久拜託的論文、大概已在寫着吧！這樣想着完全安心在玩

遊的時候、得着李君因傷寒病入院的消息。才知所期正相反、非常難受起來了。

【解說】「見當」即「所期；估計；猜想、目標」等意。「外れる」即是「未射中；脫出」

等義。故此公式即是「所期不中；估計不準；猜想未着；目標脫離」等意。

(A)	見附かつた (自動)
(B)	見附けた (他動)
【解】	發見了；尋着

例

(A) 銚を 時間探して漸つと見附かつた。

【譯文】 尋了二小時的剪刀、才尋着了。

(B) その人の講演の内容はどうしてあんな

材料を以てするか始めには分らないがよく考へて見ると漸くその理由を見附けた。

【釋義】「以てする」即「以此而爲之」。

【譯文】 那個人的講演的內容、爲什麼用這樣的材料呢！起初不明白。後來仔細的一想才發見了他的理由。

【解說】 「見附かつた」表示「尋着了、發見了、」一種不期而自見的「意思。「見附けた」乃他動詞之故、表示極力去發見一樣東西。

打つて變つて

全然大變

(全然不同)

つたり歌つたりして随分面白い人でした。

例

(A)

あの人は不斷では極く氣難かし屋であつたが先日「クリスマス會」に於いては前と打つて變つてマスクを被つて踊

【譯義】 「不斷」即「平日、平常的時候」。「氣難し屋」即是「很古板的；難說話的人」。

「クリスマス」是「聖誕節」。「マスク」即 Mask 即「戲面殼」。「踊つたり」是「跳舞」。「被つて」是「戴着」。「随分」是「很；十分」等之意。「面白い」是「有趣」。

【譯文】 那個人平素是很古板的、前天在聖誕節會上、與前大不相同、戴上戲面殼、又

跳又唱、變成了非常有趣的人。

【解說】「打つて」是接頭語、「變つて」是變了、「打つて變つて」乃將變了之意加強、表示一種完全與前不同、或與前大變之意。

陣取つて居る

【解】

(A) 站着不動

(B) 多數人占據一地

例

(A) 一人の酔拂ひが玄關で陣取つて居て中

中動かない。

【釋義】「酔拂」即醉漢。「中中」是很。

【譯文】一個酒瘋子堵着大門口怎樣也不肯走動。

【解說】「陣取つて」即表示「一個人站在一個地方取着一種姿勢一步也不肯後退」之意。

(B) 中華青年會主催のクリスマスの當日、日本婦人達が開會時間より二時間も前に左側の婦人席に陣取つて居る。

【釋義】「主催」是「主辦」。「クリスマス」即「聖誕節」。「二時間も前に」是「二小時前」。

「も」是加重語氣是表示「甚至二小時前就……」。

【譯文】 中華青年會主開之耶蘇聖誕節當日多數日本婦人在開會二小時前就已占據着左側之女賓席。

【解說】 此處「陣取つて居る」即是表示有多數同一邊的人、一齊占據着在一個地方之意。

ふた
二つ返事で

【解說】

沒有再說即刻答應

例

(A)

三越みつこしで買かつた品物しなものを係員かかりあんに家うちまで届とどけて呉くれと頼たのんで見みたが二つ返事ふたで届とどけて呉くれた。

【釋義】 「三越」是日本橋的一家百貨店的名字。「係員」即「辦事人」。「届けて呉れ」是「請

他送來」。「届け」是「送」。「呉れ」是「補助動詞」。「請他替我做……」。「頼んで」是「拜

託」。「見た」是補助動詞。不是看的意思而是「試試看」之意。「返事」即「回答」。

【譯文】 把那個在三越買的物品、向係員說請他送到家去、這樣拜託他的時候、一句話

都沒有多說、立刻答應、便替我送去了。

【解説】「二つ返事で」初看字義似乎是二個答應、實則表示多一句話都沒有說、便即刻答應了。

……〔動詞第四變〕や否や

【解】

(A) 剛一……………就……

(B) 是否……………

例

(A)

私の乗つて居る上海丸が滙山碼頭に着くや否や歡迎の人人は皆手を舉げて萬歳を唱へて私を歡迎して呉れた。

【釋義】「乗つて居る」是「所乘的」。「着く」是「到着」。

【譯文】我所乘的上海丸剛一到滙山碼頭。歡迎的人、立刻就舉手呼萬歲、歡迎着我。

【解說】此等句子中之「や否や」完全表示剛一怎樣便立刻怎樣。與英語之 *as soon as* 相

同。

(B) 太平洋會議が今年再び京都で開會するや否やは全く問題である。或は今度は東京で遣るかも知れない。

【譯文】太平洋會議、今年是否再在京都開、完全是問題。也許這次在東京開。

【解說】 此處之「や否や」是完全借用文語之「や」字即是「等于口語之「か」字、當作疑問的意義。

(C) (A) (A)

……………〔動詞四變〕が早いはやいか……………
 ……………〔動詞四變〕と間まもなく……………
 ……………〔動詞四變〕と直すぐに……………
 【解】 剛さき一……………就……………
 馬上……………(立刻)……………

(A) 例

あの紳士しんしらしい人は玄關げんくわんを出るが早い
 か折柄せりがら走つて來た電車でんしゃに飛び乗のつて行
 つて仕舞しまつた。

【釋義】 「らしい」「似乎」、「好像」。「折柄」「正當其時」。「飛乗り」「跳上去」。「仕舞

つた」在此是補助動詞、只是表示「完了」之意。

【譯文】 那個好像紳士的人、才一出大門、即刻跳上剛好開來的電車走了。

【解說】 「が早い」是完全表示那瞬間剛一這樣、就立刻……………。

(B) 外務省ぐわいむしやうの應接間おうせつまに這入はいつて待つて居ゐると間もなく一人ひとりの課長くわちやうらしい人が這はいつて來きた。

【釋義】 「這入る」是「進入」。

【譯文】 進入外務省的應接室剛一等着；不久就有一個似乎課長的人，走進來了。

【解說】 「間もなく」表示「立刻、不久」之意，與前條「が早い」稍不同。前條表示其瞬間而「間もなく」則不然耳。

(C) 東京驛とうきやうえきを降りると直ぐその足あしで留學生監督處りゆうがくせいかんたくしよへ舊友きふゆうの某君と遇あひに行いつた。

【釋義】 「を」在此處「是」(から、從、由)之意。「その足で」乃表示(剛下車亦不另換衣帽不另往何處、直接就去)之意。「遇ひに行つた」是(去相會)。「に」字接動詞第二變化、表示目的。

【譯文】 剛從東京驛走下來，就立刻直接往留學生監督處去會一個舊友某君。

【解說】 「と直ぐに」即表示剛一這樣就立刻……與(B)條同。

例

(A) あの人ひとが怒おこつたか？道理だうりで先まきから黙だま

つて居ゐた。

【釋義】「先まきから」是指（從先頭起；從先

刻起。「默だまつて」是默然不說話。）

【譯文】那個人發怒了嗎？怪不得從先刻起

就總沒有開口。

(A) ……か道理だうりで……………
(B) ……のも道理だうりです。
(C) ……のも無理むりもない。

【解】

是…………嗎？怪不得…………

雖是…………亦理所當然

雖是…………亦無怪其然

【解說】「道理で」是表示「原來如此！怪不得」等等之意。

(B) こんなに寒さむいのに君きみがそんなに薄うすく着きて居ゐるから慄ふるへて居ゐるのも道理だうりです。

【釋義】「のに」是「是這樣…反而…」之意。「着きて」是「穿衣、着衣」、「慄ふるへて」是「發

抖」

【譯文】這樣寒冷而你倒反而穿的那樣薄、所以冷的發抖、亦理所當然（怪不得你會冷

得發抖）

(C) あの人は苦學生ですから、朝働かなければならないので學校へ何時も遅刻するの
も無理もない。

【釋義】「働く」即「工作」。「なければならぬ」乃「非……便不可」、「何時も」乃無
論何時。

【譯文】那個人因爲是苦學生、每朝非工作不可故來學校總是遲刻、亦無怪其然。

【解說】此(B)(C)兩例、意義差不多、都只是表示雖是那樣、亦蓋有原故、無怪其然耳。

出來得る限り
出來得る限り
出來得る限り
【解】儘量的
儘其可能

「定做」。「拵へて」乃「製造」。

【雜文】前幾天定做的洋服、請儘量的趕快替我做吧！

(B) 諸君がこの問題の解決をそんなに急いで居るなら、我我も出來る限り(出來得る

例

(A) この間注文した洋服は、どうか出來る
だけ早く拵へて下さい。

【釋義】「この間」乃「前幾天」、「注文」即

限り) 盡力して上げよう。

【釋義】「急いで」即「急于」。「上げよう」在此處乃補助動詞、即「替你……」之意。

【譯文】諸君如是那樣的急于要解決這問題、那末、我們也儘其可能來替你們盡力吧。

【解說】此公式即如英語之 as you possible; as...as you can. 相同、即表示「儘一個人之

力量所及、能力所許、充分的做」之意。

有るが儘に(有りの儘に)

【解】(1) 原來是怎樣的就怎樣

(2) 客觀的

原來是怎樣的即怎樣的觀察他。

例

(A) 社會科學とは社會現象を有るが儘に

見るのである。

【譯文】社會科學者、乃將社會現象、照他

【解說】「あるが儘に」即原來是怎樣即說他怎樣、毫不加以批評、即是完全表示客觀的

一種觀察。而不加以主觀的批評、比如：看月亮、若說、此月亮太過冷艷、足引起人的悲愁。便是主觀的一種觀察、若月亮是明亮即說明亮；是昏晦、即說昏晦、此即是

客觀的「あるが儘に」即是表示此種客觀的看法。

(C) (B) (A)

………を片付ける
………が片付く(付いた)
片が付く(付いた)

【解】

(A) 將……收拾(或整理)
(B) 已……弄清楚(收拾好)
(C) 有眉目、有頭緒。

例

(A) 宴會が濟んで給仕が食器を片付ける。

【釋義】「濟んで」即「完畢」。「給仕」即「伺

候人、堂信」之類。

【譯文】宴會完畢、堂信將食器收拾起來。

(又) 冬休になると學生達は皆書物を片付けて國へ歸る。

【釋義】「冬休」即「寒假」。「なる」原意是「成」、此處可解為「到」、「と」是前提法「一旦

………就」之意、「達」表示複數。

【譯文】一到寒假、學生們都收拾書類、回到鄉里去。

(B) 試験の爲めに部屋は取り亂して居たが今日一日の整理で漸く片付いた。

【釋義】「爲めに」乃「因爲」。「部屋」即「房間」。「取り亂して」乃「亂得弄七八糟」

「一日の」乃「整天的」「漸く」乃「好不容易」之意。

【譯文】 因爲考試、把房子弄得很亂。今天整天的整理、好不容易才弄清楚了。

(C) 事件が餘り複雑なので始めのうちには非常に困つたが三日三晩不眠不休の努力で漸つと、片が付いた。

【釋義】 「餘り」乃「過于」「ので」乃順態前提法即「因爲」之意。「始めのうち」乃「在最初的時候」。「困つた」即「困難」。「漸つと」乃「好不容易」。

【譯文】 因事件太過于複雜、在最初非常困難、其後因三日三晩不眠不休之努力、好不容易才找到頭緒。

【解說】 「を片付ける」乃將東西收拾乾淨。但在此轉用、比如「嫁女」也可說「片付ける」其意說是把女嫁出去、不啻把一樁事收拾完了。(C)例的「片が付いた」、則是完全表示「對一樁事情弄得有了眉目；或有了頭緒；或將事情弄得清清楚楚」之意。

手入ていれ

【解】 收拾；照料；

弄清爽；擦拭。

(A)

例

軍隊に於いては兵士達が毎日其の鐵砲を
手入しなければならぬ事になつて
居るそうです。

【釋義】 「鐵砲」即「槍支」。「事になつて居る」即「規定」。

【譯文】 在軍隊中、聽說兵士等每日非將槍支擦拭不可。

(B) 馬を飼ふ人は馬を使つた後、どんな忙しい事があつても先づ其の馬の手入をしな
ければならない。

【譯文】 養馬的人、在使用馬之後、無論有怎樣忙的事、也非先將馬洗刷照料一番不可

(又) 日本の婦人は殆ど毎日其の臺所の道具の手入をする。

【釋義】 「殆ど」即「幾乎；差不多」。「臺所」即「厨房」。

【譯文】 日本的婦人、幾乎每天將厨房的器具、洗濯拂拭。

【解說】 「手入」即將東西洗淨；拭擦；刷洗；照料；等意。

手てに入いれる

【解】 到手、

弄得來

ら」乃「要怎樣、才……………」。

【譯文】聽說此本書已絕版、要怎樣才能弄到手？。

(R) 日本にほんの人が一般いっぱんに野球やきゅうが大好きだいすきで此この前まへ日米野球戰にちべいやきゅうせんの時ときに入場券にふちやうけんを手てに入いれる爲ために明治神宮外苑やきうじやうの野球場いりぐちの入口まへの前まへで夜通よこほして待つて居た人ずゐぶんおほぜいが随分おほぜい大勢おほぜいだつた。

【釋義】「大好き」即「頂喜歡」。「此の前」即「前次、不久以前」。「夜通して」乃「通符達旦」。「随分」乃「很」。「大勢」即「多」。

【譯文】日本人一般對於野球都非常喜歡、前次日美野球戰時、爲得要弄入場券到手、在明治神宮外苑的野球場進口、通夜來等着的人、非常的多。

(C) この繪えは仲仲名物なかなかめいぶつで手てに入いれるは難むづかしい。

例 (A) 此この本ほんが絶版ぜつぱんだ相さうですがどうしたら其れを手てに入いれる事ことが出來できるでせう。

【釋義】「だ相です」乃「听說」。「どうした

【釋義】「仲仲」乃「很」與「中中」相同。

【譯文】這張畫非常有名、很難到手的。

……………さへ……………

【解】

只要……………

(B) 尙且、甚至、連

(又) 僕は本をさへ讀めばどんな悲しい事でも忘れて仕舞ふ。

【譯文】只要每天用功、自然進步。

例

(A) 毎日勉強さへすれば自然に進步して

行く。

【譯文】我只要一讀書、無論什麼悲哀的事、都忘了。

(B) あの人は大學教授であり乍ら我我にさへ知つて居る事を知らない。

【釋義】「であり乍ら」乃「雖是……可是……」。

【譯文】那個人雖是大學教授、可是連我等都知道的事（我等尙且知道的）、他不知道。

【解說】在(A)例、「さへ」完全表示「只要這樣便可以了」之意。在(B)例、則完全「甚至

乎、尙且」之意。(B)例的最後的「知らない」是「大學教授」的說明語、須注意。

.....だも

【解】 甚至；
連；

例

(A)

其處には乗台自動車の便があるが三十
分も揺られると、都會の人が想像だも
付かない嶮惡の道が出て來るばかりで

ある。

【釋義】 「乗合自動車」即「公共汽車」、「揺られる」即「振搖」表示車子進行。「ばか
り」乃「只有」表示「盡是那樣的路」。

【譯文】 在那裏有公共汽車之便、然而車子搖動着走卅分鐘的時候、便有連都會的人想
像都想像不出的險惡的道路接二連三而來。

(B) 孔子は「人として恒なくんば以て巫醫にだも作ること能はず」と言つた。

【釋義】 「なくんば」即「無い」字第一變加「ば」表示「倘若……則……」其「ん」字

乃習慣上須加入。

【譯文】 人如無恒不可以作巫醫（人若是沒有恒、甚至巫醫也不可倣。）

【解說】「だも」即表示加進一層。「那樣固然不行甚至連這樣也不行」所以常々跟一個

否定字在後面、此點與さへ；すら；等不同之處。

……………まで

【解】(A) 到……………為止

在……………以前

連(甚至)……………

只不過……………

(只有……………耳)

(D)(C)B(A)

では、讀めるまで教へませう。

【譯文】這個日語書、還不會讀嗎、那末、教到你會讀為止吧！

(B) あの人が来るまで私がこの席に坐らせて貰ひませう。

【釋義】「坐らせて貰ひませう」是「請你讓我坐吧」。

【譯文】在那個人到來以前、請讓我坐坐這個位子吧！

(又) 吳佩孚は二回目の奉直戰爭を遣るまでは蓋世の英雄であつた。

【譯文】吳佩孚在第二次奉直戰爭以前、是蓋世之雄。

例

(A) 東京から上海まで幾哩がありますか！

【譯文】從東京到上海為止、有幾多英里。

(又) この日本語の本をまだ讀めないか？

(C) あの邸宅ていたくの主人しゅじんは豪いえら勢力せいりよくを持つて居ゐるから、玄關番げんくわんばんまで大いおほに威張おこつて居ゐる。

【釋義】「玄關番」乃「把門的人即門房號房」等人。「威張る」是「驕傲、作威作福」。

【譯文】那個邸宅的主人，有很大的勢力，所以連門房都很是驕傲的。

【解說】此等處之「まで」乃「連、甚至于某某」等之意。

(又) 日本にほんに國民教育こくみんけういくが普及ふきふして居ゐるから人力車屋じんりきしやまで新聞しんぶんを讀よめる。

【譯文】日本因國民教育普及、連黃色車夫都能讀報。

(D) そんなに僕ぼくを褒ほめては困こまる、僕ぼくは唯ただだ、助言じょげんしたまでだ。

【譯文】那樣的來稱讚我，可難爲情，我只是（只不過）幫着說了一點話而已。

(又) この政策せいさくを通過つうわしないなら辭職じしやくするまでだ。

【譯文】這個政策如通不過，只有辭職而已。

【解說】在此等句子中，「まで」完全表示「只不過……」或「只有……耳」之意。即是

表示「充其量，也不過到這樣地步爲止」之意。

(A) 言ふ迄までもない
 【解】不用説。
 ……〔動四變〕迄までもない
 【解】不用…
 無須乎…

(A) 例
 入浴すると身體を奇麗きれいにすることが出で来るのは言ふまでもないが健康けんかうにも成なれるのです。

【釋義】「奇麗にする」乃「弄得乾淨」。

【譯文】入浴可將身體弄得乾淨、固不用説。而且還能變爲健康。

(又) 言ふ迄もなく、我々が日本にほんに留學りうがくして來るのは全く國家こくかの爲ために努力ごりよくしやうと思おもふから。

【譯文】不用説、我們來到日本留學、全是想爲國家努力。

【解說】「言ふまでもない」是完全指「當然、不用説明」之意。然而用終止格之「言

ふまでもない」則是總括前面。若用第二變化之「言ふまでもなく」則多是指下面。

故於此不可不注意。蓋第二變化若用爲中止格、則雖是總括上面、若其第二變化用如

副詞、如上例、則全是指下面一段事「不用説」也。

(B) 月蝕は地球が太陽を蔽ふのであることは説明する迄もない。

【譯文】 月蝕乃地球遮蔽太陽、此事當無須乎説明。

(又) 説明する迄もなく菲律賓は米國の領土である。

【譯文】 用不着説明、菲律賓當然爲美國之領土。

【解說】 「迄もない」接在勤詞之下、即是有「當然；無須乎……」之意。

……………に及ばない

【解】 用不着……………

無須乎……………

例

我々が皆學生であるからそんなに遠慮する
には及ばない。

【釋義】 「遠慮」乃「客氣」之意。

【譯文】 我們都是學生、所以用不着那樣的客氣。

(又) あの人の病氣は直ぐ直るから心配するには及ばない。

【釋義】 「直ぐ」乃「立刻」。「直る」乃「病愈」。「心配」即「憂愁」。

【譯文】 那個人的病、不久就好、無須憂愁。

【解説】「に及ばない」乃表示「不必這樣、無須乎這樣」。前條「迄もない」雖亦解作「無須乎」但與「に及ばない」完全不同。蓋「までもない」乃當然之意。比如「説明するまでもない」乃指「當然如此、無須說明」。而「に及ばない」則全無「當然」之意、只是說「用不着那樣費神」。「用不着這樣來做」。

……………に當るまい
【解】用不着……………
不必……………

例

これは毎日遊まいにちあそびに來ひそる人だから菓子くわしや咖啡コーヒーなどを出だすにも當るまい。

【釋義】「これは」指「這個人」。「など」即

「等々」。

【譯文】此人每天來玩、不必（何消得）用菓子或咖啡來招待他。

【解説】「當るまい」即是「何必、何消得、不值得用……」等々之意。與「に及ばない」雖同、然稍異。

(A)	詰り………
【解】	即是………
	結果………
(B)	詰る處………
【解】	即是………
	結果………
(C)	詰らない
【解】	沒有意思；無趣。

例

(A) 大阪まで十五圓を使つた、それから神戸で又二十圓を使つた、詰り、君の今の旅行費用は、三十五圓を使つた譯です。

【釋義】「使つた」即「用去了」。「それから」即「其次」。

【譯文】 到大阪爲止、用去了十五圓、其後在神戸又用去二十圓。即是、你這次旅行費用、該是用去了三十五圓。

(又) 昨夕の舞踏會は餘り賑かでなかつた。詰り、君が行かなかつた爲めに淋しかつた。

【釋義】「餘り」乃「太過於；很甚。」等意。「賑か」即「熱鬧」。「なかつた」即「ない」之過去。「淋しかつた」乃「淋しい」之過去完了形。即「寂寞」。

【譯文】 昨晚的舞踏會，不甚熱鬧。結果是因爲你沒有去，所以寂寞多了。

【解說】 「詰り」是「詰る」的第二變化。「詰る」是「擠緊，有結束」之意。「詰り」用在此等

處，有時完全與「即ち」（即是）相同，以解說上面一段事，即是這樣這樣。又有時常用作表示「其結果蓋因如此如此之故」。更有時用在提頭，變成一種口頭禪，略々解說下面，而同時作爲上下語句的接筭法。

(B) 衣食いしょくを節約せつやくするのも、朝あさから晩ばんまで働はたらくのも詰る處、學費がくひを醸出きよしゆつしやうとする爲ためである。

【譯文】 節約衣食，自朝至晚工作，結果都爲的是想籌出學費。

【解說】 「詰る處」即是「畢竟總是……」。其結果總是……。」等意。與「詰り」稍同，而意義更明顯。

(C) 折角せつかく澤山たくさんの御馳走ごちまうを拵こしらへて居ゐたが客きやく様さまが一人ひとりも來こない、本當ほんたうに詰詰らない。

【釋義】 「折角」即「特意、好意」。「御馳走」即「盛饌、美食」。「拵へて」即「製作、弄好」。

【譯文】 特意弄好許多的肴饌，客人一個也不來，真是大沒有意思。

【解說】 「詰らない」即「詰る」第一變化加否定。而其意竟與前二例全不相關。解作「無趣」故須特別注意。

趣」故須特別注意。

(A)	……かも知れない
【解】	……かも知れない
(B)	……かも知れず
【解】	……亦未可知

例

(A) あの人の話の調子はどうも變だね！或

は九州の人かも知れない。

【譯文】 那個人說話的調子，真有點奇怪。

也許是九州的人吧！（或是九州的人，也未可知）。

(又) 國際俱樂部主催のクリスマスは今度早稻田大學學園で遣るかも知れない。

【釋義】 「遣る」即「做、舉行。」等意。

【譯文】 國際俱樂部主催的耶蘇聖誕會，此次在早稻田大學舉行，也未可知。

(B) 軍縮會議は今度成功するかも知れず要するに我等の努力の如何にある。

【釋義】 「要するに」即「要之、總而言之」。

【譯文】 軍縮會議、此次成功、亦未可知。要在於吾人努力之如何而已。

【解說】 「かも知れない」即完全等于中國之「也未可知」。「やも知れず」乃「文言」。「や」

即等于口語之「か」、意義完全相等。

………
【體言】に近
【解】 似乎是………

例

(A) 某社長が會社に來て社務を見るところ

ふよりも社員の世話を焼くのが其の本

業に近い。

【釋義】 「世話を焼く」即「替人照拂帮忙」之意。

【譯文】 某社長來到公司裏、與其說是察看社務、其實專替公司人員照料（帮忙）倒似乎

是他的本職。

(B) 某畫家が能く藝術界に名を擧げたが政治界に這入つて大いに國家の爲めに働かう

とする事は其の本望に近い。

【釋義】 「名を擧げた」即「大有名望」。「働かうとする」即「想來工作、想活動」。「本望」

即「本來的希望」。

【譯文】 某畫家在藝術界頗有聲名、然而進入政治界為國家來活動之事、倒似乎是他的本望。

【解說】 「に近い」原解作「相近于、與什麼相近」之意。此處即是由「相近」之意一轉而為「似乎、近似」等意。

……………に附け

【解】 (A) 不管……………

(B) 每逢……………

例

(A) 善いに附け、惡いに附け、こんなに寒い天氣に外套を着なければならない。

【譯文】 不管好也好、不管壞也好、這樣冷

的天氣、總非穿外套不可。

(B) あの女をんなの話はなしを聞きくに附け、自じ分ぶんの亡なき妹いもうとのことを思おもひ出だす。

【譯文】 每逢聽見那個女子說話、便想起自己的亡妹。

【解說】 「に附け」拿來并列的用時、當作「不管……………」解。拿來用在(B)例等句時、即有

「每逢、每當……之時」之意。又如：

(又) 日本にほんの科學くわがくの益々ますます發達はつたつして行く事ことを見るみるに附つけ、黃種人わうしゆじんが決けつして白種人はくしゆじんに劣おとら
ない事を愈々いよいよ意識いしきして來る。

【譯文】 每逢看見日本的科學更其發達、便愈覺得黃種人決不劣于白種人。

【解說】 「伴つて」原爲「伴ふ」即「伴隨、相伴」之意。即是說一個人的思想、和他的年齡

或環境相伴而變化。

(A)	…… 〔動變〕に附けて
(B)	…… 〔體言〕にかけて
【解】	關於……

例

(A) 田舍ゐなかの何なにかに附つけて簡樸かんぱくです。

【譯文】 鄉下關於什麼都是簡樸。

【解說】 「に附けて」乃「關於」、「何かに附

けて」即「不論關於什麼」。「附けて」原爲「附ける」下一段活用動詞、原意解作「附着；

釘上、附加、」等意。在此則純爲「轉用法」。

(又) 他人たにんの成功せいこうするに附つけて自分じぶんの無爲むゐを嘆なげく。

【譯文】 關於(對於)他人之成功、輒嘆自己之無爲。

【解說】 「に附けて」接在動詞下、有「對於。每遇、」等之意。

(B) 正直な人は金錢問題にかけては一段眞面目です。

【釋義】 「正直」即字面「正直之意」或「誠實」之意。「眞面目」乃「認真、不苟且」之意。

「一段」乃「更其」。

【譯文】 正直之人、關於金錢問題、更其認真。

【解說】 「かけて」有「關於、對於」之意。原爲「掛ける」、意義甚多。此處爲其意義

之一。

例

(A) 青年會の忘年會費は一人に付き一圓で

す。

.....【體言】に付き(付いて)
.....【解】 對于.....
.....每.....

【譯文】 青年會之忘年會費、每一個人一元

(又) この「日語公式研究」の本は一冊に付き定價一圓です。

【譯文】 此「日語公式研究」，每冊定價一圓。

(B) 軍縮會議の席上で大巡洋艦航空母艦廢止の問題に付き各國間能く議論を戦つた。

【釋義】 「能く」乃「很、充分的、」等意。「議論を戦つた」乃「議論上争闘、即辯論」

之意。

【譯文】 在軍縮會議席上、對於(或關於)大巡洋艦航空母艦廢止之問題、各國間、曾

大大的辯論。

【解說】 「付き」本爲「付く」此用其第二變化中止法、解作「關於、對於」等意。



例

(A) 丹那トンネルが開通するに連れて東京

大阪間の距離は益々短縮するに至つた

【釋義】 「トンネル」乃外來語、即「隧道」。

「に至つた」即「至於……………」有表示得到一種結果之意。

【譯文】 因丹那隧道開通、從而東京大阪間之距離。益爲短縮。

【解說】「連れて」本爲「連れる」「れて」乃其第二變化接「て」字。原意爲「帶同、連帶」之意。在此爲抽象的一種轉用法，故解作「因什麼々々の原故便隨着也怎麼怎麼起來

了」。

(B) 交通機關が進歩するに隨つて旅行には愈々便利に成つて來た。

【譯文】因交通機關之進步，從而對於旅行，愈其成爲便利。

【解說】「隨つて」原爲「隨ふ」。此爲其第二變化、變促音便。原意爲「隨着、跟隨」之意。在此爲「隨着上面一段句子中所說之原因，因而便有底下一段之出現。」亦有原來

有之事實，可是因着某種原故（即隨つて之上面一段事實）便更加怎樣起來。例如：
日本の金が易くなるに隨つて日本に留學して來る者が殖えて來た。

【譯文】因日本錢便易，從而來日留學者，更其增加。

(A) (…句子……………) 隨つて
 【解】 因之
 …………… (名詞) に伴つて
 (B) 【解】 隨着……………

例

(A) 軍縮會議が愈々倫敦に於いて開催する。隨つて各國の代表者も續續各地から倫敦に集つて來た。

【釋義】 「に於いて」「即」「在、於、」之意。「愈愈」「乃」「終之」。

【譯文】 軍縮會議、終於倫敦開會。因之。各國代表者亦續續由各地集聚到倫敦來。

【解說】 「隨つて」「原意」「隨ふ」此爲第二變化促音便。用在提頭、即與字面意義同一解釋、解作「隨而、因此」等意。

(B) 人の思想は年齢や環境に伴つて變化する。

【譯文】 人之思想、隨着年齡或環境而變化。

(A)〔否定助動詞〕には居られない
せずには居られない

【解】 不禁.....
(禁不住不.....)

(I)を禁じ得ない

【解】 不禁.....

例

(A) 母病危篤の電報を讀むと

涙が溢れずには居られな

い。

【釋義】 「溢れず」乃「溢れる」下一段活用動詞之第一變化「溢れ」加「ず」而成者。「溢れ

る」解爲「流」。「ず」爲否定、故「溢れず」即「不流」。

【譯文】 讀母病危篤之電報、不禁流淚。

【解說】 「溢れず」是解作「不流」、「居られない」是表示不能「及」不能「安心」等意。故「溢

れずには居られない」、即是「不流淚是不可能」、換句話說、即是禁不住不流淚。「居

られない」是「居る」第一變化可能助動詞再加「ない」而成者。表示「自然而然的

不能。一種心境表現」。所以可解作「禁不住」、「勢所不能」等意。

(B) 父から來週日本へ遊びに來ると言ふ電報を受けた時、小雀踊りして喜ぶを禁じ得

ない。

【釋釋】「と言ふ」本是解作「說」「謂」等意。在此可解作「這樣的……」之意。「小雀踊り」即「雀躍」之意。

【譯文】接到由父親來的「下禮拜來日本遊歷」的電報，不禁雀躍而喜。

(又) 久振ひさしぶ親友しんいうの手紙てがみを受取うけとつて喜よろこぶ餘あまり書かいて居せうせつる小説せうせつをも止やめて何なんべん遍べんもくそ
の手紙てがみを讀よむを禁いじ得えなかつた。

【釋義】「久振り」即「久遠、許久」之意。「受取つて」即「收受」。「喜ぶ餘り」即「歡喜得過分」。「書いて居る小説」乃「正在著作的小說」をも」乃「連、甚至將……」。「禁じ得なかつた」之「なかつた」即「ない」之「過去完了形」。

【譯文】隔了許久接着親友的信，歡喜得非常，連正在著作的小說都把他停止，不禁把那封信讀了多少遍。

【解說】「禁じ」原爲「さ變動詞，禁ずる」。「禁じ」爲其第二變。加「得ない」，爲連用法。「得ない」乃「得る」下一段活用語根語尾無區別之動詞，于其第一變之下加否定助動詞「ない」。解作「不能，不得。」之意，故「禁じ得ない」即「不能禁，不禁」。

禁不住」等意。

(A)	必ずしも……ない
【解】	不一定……
	非必……
(B)	決して……ない
【解】	決不

例

智のあるものは必ずしも徳があるのではない。

【釋義】「智のある」即等於「智がある」の「

字由」が「所變。凡當作形容的句子、則其句中之「が」即可變「の」。此如「鳥が鳴く聲」在此處「鳥が鳴く」是當作形容句子、修飾「聲」、故可將「が」字變作「の」字、即「鳥の鳴く聲」「鳥鳴的聲音」。「智のあるものは」即「有智者」。

【譯文】有智者不一定(非必)有德。

【解說】「必ずしも……ない」乃表示「不一定有、也許沒有。」之意。然不可誤解爲「一定沒有」。故此處須大加注意。

(又) スポーツマンは身體が壯健ではあるが必ずしも健康體とは言へない。

【釋義】「スポーツマン」乃運動家。「壯健では」之「は」字乃加重語氣。「である」即是

「是」字。所以「壯健ではあるが」即是「壯健嗎可是壯健、然而……」「言へない」乃「言はれない」即「言ふ」第一變加可能助動詞、再加「ない」、解作「不能說」。

【譯文】 運動家の身體、強壯雖是強壯、然而不一定能說是健康體。

【解說】 強壯是身體外貌的強壯、健康是內部五臟各器官都毫無損傷與缺陷。運動家固是一見似甚強壯、然而有傷了肺的、傷了腰的。壞了胃的。不過不到那相當時期、沒有發出來。這樣人很多。所以說不一定是健康體。然而也有同時是很健康的、所以不能說「一定都不是健康體」。故「必ずしも……ない」即表示「不一定是……也許不是……也許其中亦有是的……不過、不是定歸是如此」而已。

(B) 酒は決して飲んではいけない。

【譯文】 酒決不可飲。

(又) 學生は決して懶けては行けない。

【譯文】 學生決不可懶惰。

【解說】 「決して……ない」即「一定不可……」比前條之「必ずしも……ない」更其堅定。

那個人。

(又) 君は中華の人に違ひないが、併し、餘り長く外國に居るから、外國人だと思つた。

【譯文】 你誠然是中國人，可是因你住在外國太久，以為你是外國人。

(B) 君の行かないのも理由があるに相違ないが併し事情の圓滑に進行する爲めに君は矢張り行つた方が好いだらう。

【譯文】 你不去固然也自有理由，但爲事情圓滑進行起見，你還是去的好吧。

【解說】 「違ひない」即「不錯」故「に違ひない」即是「對於這樁事不錯」。即是「一定無疑了」。「相違ない」乃「毫無相差」「無區別」之意。「に相違ない」即是「對於某事無

差無別」。亦即是「一定；誠然是」等意了。

(A)	………に違ひない。
(B)	………に相違ない。

【解】 誠然；一定是。

例 (A) 俺の本を黙つて持つて行つたのは彼奴に違ひない。

【譯文】 一聲不響的把我的書拿走的一定是

……………〔動詞二變〕切つて(切つた)

【解】 完全……………

完全……………透了的

例

(A) そんな言葉は分り切つて居る。

【釋義】 「言葉」即「說的話」。「分り」即「明

白；知道」。

【釋文】 那樣的話，是完全知道透了的。

(B) あの人は何時も僕の行く處へ隨いて行く實に困り切つて居た。

【釋義】 「何時も」乃「無論何時」。「隨いて行く」乃「跟隨前往」。「困り」乃「爲難；困難」

之意。

【譯文】 那個人總是我到那裏去便跟着到那裏去，真是爲難透了。

(C) この下宿屋の待遇が餘り悪いから全部の勘定を拂ひ切つて引越した。

【釋義】 「餘り」乃「太過于」。「勘定」即「賬目」。「拂ひ」即「支付」。「引越した」即

「搬開了」。

【譯文】 這個旅館的待遇太壞，遂把全部的賬都完全付清，搬開了。

【解説】「切つて」即「切る」第二變化加「て」字。變促音便。原是「切斷、切開」之意。此處轉用、解作「完全透了、清清楚楚々」之意。

例

- (A) ……〔動詞過去形〕切り……ない
- 【解】 只是……再沒有……
- (B) ……〔動詞過去形〕儘……ない
- 【解】 即是那樣……再沒有……

(A) 芳子は今朝家を出た切り今に成つても歸つて來ない。

意相同、表示「從家裏出去」。「今になつて」即是「到了現在」。

【譯文】 芳子今早從家裏出去、(一直出去就出去了)到現在還沒有回來。

(又) 孫さんとは去年南京で會つた切り其後、ずつと見えない。

【釋義】 「ずつと」乃「一直……」。

【譯文】 和孫君就只去年在南京相會、其後一直再沒有會着。

【解說】 「切り」在此處表示「只是那麼着；只是那一次；其後總沒有怎麼怎麼了」。

(B) あの娘は東京へ行つた儘、まだ何の消息もない。

【譯文】 那個姑娘，到東京去後（即是那麽去了）再沒有什麼消息。

【解說】 「儘」本解作「原是怎樣就是怎樣」、此處接在動詞過去形之下、表示「就那樣的再沒有變動；就那樣的再沒有別的新事情發生」之意。

……儘まま（接四變或の字之下）
【解】 依舊；原狀。
（原來是怎樣便怎樣）

例

(A) 萬里長城まんりちやうじやうは今いまに成なつても昔むかしの儘ざんぜん殘存ざんぜんして居ゐる。

【譯文】 萬里長城、到如今、還依然如舊的

存在。

(E) 中華青年會ちゆうくわせいねんくわいには床ゆかを敷しいて居ゐるから靴くつの儘あが上あつても宜よろしい。

【釋義】 「床」即「地板」。「敷いて」即「舖着」。「上つて」即「上去」。

【譯文】 中華青年會、舖得有地板、所以穿着鞋子（是穿着鞋子、便照穿着鞋子的原

來的樣子）上去也可以。

(C) この本ほんには先生せんせいから聞きいた儘まを率直そつちよくに書かいたのです。

【譯文】 這本書乃是將從先生那裏所聽得的（所聽的是怎樣就怎樣）率直寫着的。

(D) 君は餘り我儘だから出世が難しろ。

【釋義】 「出世」即「出到社會上；成名」之意。

【譯文】 你太過於任性（自己要怎樣就怎樣）所以很難在社會上成名。

何しろ

【解】 何則蓋……………。

你猜怎麼着

例

(A) あの人の日本語はとても上手だつてね

何しろ東京に九年間も居たから。

【釋義】 「とても」即（非常）或（真是）。「上

手」即（巧妙）或（好）。「だつて」爲「だと言つて」之略語即（據說）或（聽說）。「ね」是感

嘆詞即（呵、呀）之意。

【譯文】 據說那個人性的日本話說得真好呵。你猜怎麼着，因他在東京住了九年呢！

(E) 中華民國は實に古い國柄である。何しろ五千年に亘る長い歴史を持つて居る國は

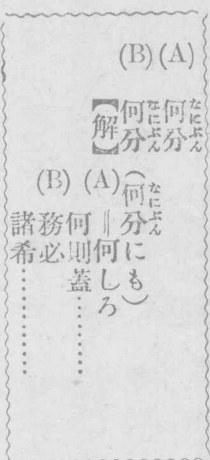
今の世界の何所にも外にはないから。

【釋義】「國柄」即(國度)。「外にはない」即(不另有)或(不再有)。

【譯文】中華民國真是個古國、何則蓋保有五千年之長久歷史的國家在現在的世界上任

何地方是不再有的。

【解說】「何しろ」是自問自答的口吻。即是自己為要申說下面的理由、先提這麼一句。



例

(A) もうそろそろ勉強しなければならぬ

何分試験は目の前に迫つてゐるからね

【譯文】再不能不慢慢的開始用功了。蓋考

試已逼近在眼前。

(B) 私は此の度始めて御國へ参りましたから何分宜しくお願ひします。

【譯文】鄙人此次初到貴國來、務必請多多照拂。

【解說】「何分」在(A)例完全與「何しろ」之意相同、表示「原來為此」之意。在(B)例之「何

分」、或「何分にも」則完全僅是用在客氣的時候、毫無大意義。

(B) (A)

……………〔動西變〕限り
 【解】只要…則…（只要在…範圍內、則…）
 ……である限り
 【解】只要是…則…
 一天是……便一天……

(A)

例

日本に來て留學する限り
 日本語を勉強しなければ
 ならない。

【譯文】 只要你是來日本留學、則你便非用功讀日語不可。

(又) 官費を貰つて居る限り、教育官廳の指令を受けなければならぬ。

【譯文】 只要是受着官費（在尙是領受着官費的範圍內）。則非受教育官廳的命令不可。

【解說】 用在動詞下之「限り」、乃表示一種限度、或一種範圍。即是說：「只要你任這

樣的情形之下時、便非受某種拘束不可」。「除非你跳出這範圍之外、才可免去某種的

拘束。」

(I) 我我は學生である限り學校の規則を守らなければならない。

【譯文】 只要我們是當學生（我們一天是學生便一天……）便非遵守校規不可。

【解說】 與前條相同、表示一種範圍。但因為接在「である」之下、便有（一天是…便一

(B)	……… ……… ……… ……… ……… ……… ……… ……… ……… ………
(A)	……… ……… ……… ……… ……… ……… ……… ……… ……… ………

【解】 只限於………にかぎる。
 唯有………
 ……とは限かぎらない、
 ……には限かぎらない、
 【解】 不限定………
 …… unlimited
 …… unlimited

【釋義】「素燒」即「牛肉鍋」。

【譯文】如果要吃日本料理，唯有牛肉鍋（最好）。

【解說】「に限る」表示「只限於這一種最好」之意。

(B) 僕の圍碁の相手は君とは限らないから君が遣らなくても外ほかに澤山たくさんある。

【譯文】我的圍碁的對手，不限定就是你，你即使不下棋，旁的多得呢！

(又) 學問がくもんをするには外國ぐわいこくへ留學りゅうがくに限らない。

【譯文】求學問不限定要到外國去留學。

例

(B) 魚さかなを食たべるなら「松江まつえ之鱸のすしほ」に限る。

【釋文】倘若吃魚，那只有松江之鱸（才好）

(只限于松江之鱸)

(又) 日本料理にほんれうりを食たべるなら、素燒すきやきに限る。

(又) 花見は飛鳥山には限らない、上野でも随分見える。

【譯文】 看櫻花不_レ限于飛鳥山、即上野也很能够看。

(A)	………ところ 【解】 剛是………時候 正要………
(B)	………ところではない 【解】 已不是………時候………

例 (A) 今丁度御飯を食_レべて居る_レところで、一寸待_ッつて下_ッさい。

【譯文】 現在剛是在吃飯的時候、請稍爲等

一等。

(又) 君が誘_ッつて來たのは宜_クかつた、僕も今先生の所へ行_クと_レころです。

【釋義】 「誘_ッつて」の「邀請、約伴」之意。

【譯文】 你來相邀、好極了、我正要(剛剛要)到先生家裏去。

(B) 空襲だつ！おい君、そんな所で本を讀_ムむところではない！早く逃_ゲげろ！

【釋義】 「だつ！」之「つ」表示說話口氣、即感嘆詞。

【譯文】 哎！空襲！喂！你還在那裏讀書嗎？(即「已不是讀書的時候」)趕快逃吧！

(又) 入學試驗がもう目の前に迫つて來て最早ぐづぐづするところではない。

【釋義】「最早……ない」即「已不能再……」參照本書「最早……」公式。「ぐづぐづ」

是「遊手；無爲」之意。

【譯文】入學試驗已迫在眼前，已不能再遊手閒蕩了（即，已不是遊手閒蕩的時候了）。

【解說】「……」とところで是表示正當其時；剛々在……」等等之意。加上「ない」則

意思大變。表示「已不可這樣這樣了，已非這樣這樣從容的時候了。」一種甚強的語氣。

………騒ぎ ところではない
【解】 非………之時
非………之比
(表示重大、緊要)

例

(A) 會議決裂だ！世界大戰だ！クリスマス

の騒ぎ ところではない。

【譯文】會議決裂了！馬上就是世界大戰了

！還開什麼聖誕節大會（已不是玩聖誕節的時候了）。

(B) 敵機空襲が來ると到る處で爆彈に見舞はれて火事の騒ぎのところではない。

【釋義】「見舞ふ」本解作「慰問、視病」等意。加「被役助動詞」則變成「天降……而

來；受……之賜「等意如「幸福に見舞はれて」(天降之福)。

【譯文】 敵機空襲而來時、到處均被爆彈爆炸、那真非火災所可比(即火災在此時算不了什麼)。

(A) ……………どころか

【解】 1. (積極的) 豈但是……早已……

2. (消極的) 豈但不是……連……

(B) ……………どころか

【解】 非……………之時

不用說……………即……………也不能、

學がくもまだ卒業そつぎよしない。

【譯文】 那個人豈但不是學士、連中學還沒有卒業。

(B) 溫泉地おんせんちへ旅行りょかちうするどころか飯食めしひの金かねさへもないんだ。

【釋義】 「さへも」乃連；尙且、「等意。「ないんだ」即「ないのだ」の「字變」ん」字。

例

(A) あの人ひとは學士がくしどころか有名有名な博士はかせです。

あの人ひとは學士がくしどころか有名有名な博士はかせです。

【譯文】 那個人豈但是學士、

早已就是有名的博士。

(又) あの人ひとは學士がくしどころか中ちゆう……

【譯文】 不用說溫泉地旅行、連吃飯的錢尙且沒有。

【解說】 「どころか」即是表示「豈但是這樣？」「甚至那樣都……」之意。又特意「提起上一句之難、而加重下一句之語氣。表示「實非其時」。

上一句之難、而加重下一句之語氣。表示「實非其時」。

例

(A) 某劇場が演劇中の處突然爆彈に見舞は

れて大騒ぎを立てた。

【譯文】 某劇場正演劇中、突被投以爆彈、

………に見舞はれて
【解】 被………降臨
天降以………
受………之賜

大爲驚擾。

(B) あの一家は貧乏神に見舞はれて元日の屠蘇も買へなくなる。

【釋義】 「屠蘇」乃「屠蘇酒、日本風俗、元旦須飲屠蘇酒。」

【譯文】 那一家被窮神見臨、連元旦的屠蘇都買不起。

(C) あの運轉手は幸運に見舞はれて僅二月の練習で甲種運轉手試験に見事にパスした

【釋義】 「二月」乃指「兩個月」。甲種運轉手乃不限定開一種汽車、任何大型小型貨車卡

車客車都准許開駛。「見事」是「很好；很巧。」「パス」乃「通過」。

【譯文】 那個運轉手（即司機）受幸運之賜、僅僅兩個月的練習、居然很好的通過了甲種

運轉手試驗。

【解說】 「見舞ふ」即表示「投來」之意。「見舞はれて」乃「被投來」、故可解作「受……

之賜」等意。



例

(A) 月の大きさは人の目に依つて皿とも見

えるし、皿とも見える。

【釋義】 「目に依つて」即「因各人的眼不同

而看見的也就相異」之意。「皿」即「碟子」。「盥」即「腳盆」。

【譯文】 月亮的大小、因各人眼睛不同、也有看來似一個碟子、也有看來似一個腳盆。

(又) あの人しんぱいは心配ことな事があると見えて何時いつも黙だまつて居る。

【釋義】 「心配な」即「憂慮的」。「黙つて」即「默然不語」。

【譯文】 那個人看來似乎有憂慮的事、總是默然不開口。

(B) あの先生は髻も剃らないし、着物も汚ないから全く小使に見える。

【譯文】 那位教師、又不剃鬚子、衣服又髒、看來全像一個當差的。

【解說】 「と見える」或「に見える」不是表示「去看一樣事物」而是表示「那樣事物映在我眼中呈這樣的現象。」故解作「看來似乎是……」等意。

(A)

………としては

【解】

2. 1. 凡爲………者
凡當作………則

(B)

………にしては

【解】

2. 1. 以之爲………則
若爲………則
(含有意料外之意)

例

(A)

人の子として**必ず善く**父母を養はなければならぬ。

【譯文】

凡爲人子者、必善養父母。

(又)

我我學生として**能く**國家の爲めに努力せねばならぬ。

【譯文】 我們做學生的(我們當學生的)、不可不爲國家好好的努力。

(B) あの人が大統領にしては一寸重みが足りない。

【譯文】 那個人若爲大總統、則稍嫌聲望不足。

(又) あの人のピアノはそんなに旨くもないが併し十歳の娘にしては中中天才だ。

【釋義】 「ピアノ」即鋼琴。「旨く」即「好」之意。

【譯文】 那個人的鋼琴、不見得有怎樣好、然而在十歲的姑娘（若爲十歲的姑娘）、則很是天才。

【解說】 「にしては」乃表示「其在爲…則」即表示「某種事物其在某種狀況之下時則…」。



例

(A) 私は早稻田大學學生として國際クラブ

に出席する。

【釋義】 「クラブ」即俱樂部。

【譯文】 我作爲是早稻田大學學生(的資格)。出席國際俱樂部。

【解說】 「として」之上面如是體言、則「と」字即化成格「して」即「變二格」。故解作

「當作；作爲。」

(B) この小供こどもを軍人ぐんじんにして遣りませう。

【釋義】「遣りませう」在此爲補助動詞。

【譯文】把這個小孩、去做軍人吧！

(又) この御飯ごはんをお粥かゆにして下さい。

【譯文】請把這個飯、弄成稀飯吧！

【解說】「にして」即是「把一樣東西、變成別一樣東西」之意。

……………〔體言〕に取つては

【解】其在……………看來……………

其對子……………

例

(A) 萬年筆まんねんぴつと言ふものは昔には贅澤ぜいたくな物で

したが今の學生達がくせいたちに取つては必要な物もの

になつて來た。

【釋義】「贅澤」乃「奢侈」。

【譯文】自來水筆在往昔、是奢侈品。現在對于學生們（在現的學生們看來）、成爲必要

之物。

(B) 電話は新聞記者に取つては重要な物の一つです。

【譯文】 電話對於新聞記者、乃重要物之一。

(C) 喉は聲樂家に取つては命よりも大切な物です。

【譯文】 喉管自聲樂家看來、比性命還更要緊。

【解說】 「取つては」即「取る」之第二變接「て」字、「り」變促音。「は」乃加重語氣、提

起語調。「取る」本解作「拿取」、在此爲轉用、即指某一椿事、在某某看來、或是有用

或是無用。故可解作「在某某看來；對於某々」等意。

(B) (A)

一體 一體
 一體全體

【解】 (A) 究竟
 (B) 到底(輕意的)
 到底(重意的)
 究竟

例

(A) あの人(ひと)は五時(ごじ)に來ると言ふのに未だ見

えないのは一體どうしたんでせう？。

【譯文】 他說五點鐘來可是還未見人來到底

(輕意的)是怎麼哪？

(B) もう一月にもなつたのに未だ勉強しないか？一體全體君は入學試驗を受ける積り

か。

【釋義】「積り」即（打算）。

【譯文】已經正月了；你還不用功嗎。你到底（究竟）打算不打算受入學考試呢？

【解說】「一體」在此等句子中，當作副詞用時，則意義與字面完全不相同。即僅是一種

詢問別人的口吻「你究竟……？」之意。

……【四變】の「同上二字第一變」ないのつて

（行くの行かないのつて）

【解】還有什麼不是……

（還說什麼去不去）

當然是……

例

(A)

行くの行かないのつて馬鹿だ
な、こんな米國一流の舞踏を
見ないと一生涯の恨みだせ！

【釋義】「馬鹿」乃馬人話、「蠢東西」。「恨み」即「恨事」。

【譯文】還有什麼去不去真是傻瓜，像這樣美國一流的舞踏，若不去看看，才是一生的

憾事。

(B) 旨いの旨くないのつて君はこんな御馳走を喰つた事があるか。

【釋義】「御馳走」即「美味的肴饌」。「旨い」乃「好吃」。

【譯文】還說什麼好吃不好吃，你吃過這樣的美味嗎。

(C) 出来るの出来ないのつて小供騙しだ。

【釋義】「出来る」即「能够」。「小供騙し」即「騙小孩子的」。

【譯文】這還有什麼會不會，完全是騙小孩子的。

【解說】公式中之「つて」即「と言つて」之約、「の」乃竝列法代替事情。故「出来るの出

來ないのつて」即「能够的事不能够的事還用着說嗎」之意。

(C) (B) (A)

考へよう
使ひよう
見様(見よう)

【解】(A) 因思想的方法(而異)

(B) 因使用方法：(而異)

(C) 因各人的看法(而異)

例

(A) 軍縮會議は考へやうでは軍縮にも成るし、軍擴にも成る。

【譯文】軍縮會議、因各人的想法不同、也

可看做是軍備縮小、也可看成軍備擴大。

(B) 萬年筆などは、使ひように依つては、

一年ばかりで壞れる事も有るし、十年位持つのもある。

【釋義】「十年位持つ」是指「十年也經用」之意、「持つ」乃轉用即「經用」之意。

【譯文】如萬年筆那些、因使用的方法不同、有一年即用壞者、也有十年尚經用者。

(C) 仁者見仁、智者見智、見ように依つては結果の随分異なることがある。

【譯文】仁者見仁、智者見智、固各人看法不同、其結果有大相異。

【解說】「よう」即「様」字、此處解作「方法」。接在動二變之下、表示「看那個做的方法去而來怎樣」之意。

(A)	……………うとする(と)
(B)	……………(よう)とする(と)
	……………んとする(と)

【解】將欲……………

例

蛙はその枝に飛び付かうとすると一匹の蛇がその枝に陣取つて居るので早速廻り右へと逃げて仕舞つた。

【釋義】「飛び付く」即「跳上去」、「陣取つて」乃「占着不動」之意、參照本書「陣取つて」

公式。「早速」即「立刻」。「廻り右へ」即「向後轉」。

【譯文】 蛙將欲跳上樹枝、有一匹蛇正占在枝上不動。立刻向後轉開步逃走。

(又) このお菓子くわしを貴方あなたに上げようとする所ところ、其奴そいつに奪うばはれたから、勘辨かんべんなさいね！

【釋義】 「所」即「其時」。「勘辨」乃「原諒；寬恕」之意。

【譯文】 這個菓子、剛要送給你、被那個人奪去了、對不起、請不要見怪吧！

(B) 政府せいふが國民こくみんに増稅ぞうぜいせんとすると國民こくみんが全體ぜんたいを舉あげて反對はんたいした、

【譯文】 政府將欲向國民增稅、國民舉全體反對。

【解說】 此處「ん」字不是否定。即文言之推量格、等于口語之「う」或「よう」表示「欲、將、」等意。

(A)	況 <small>ま</small> して……………から
(B)	況 <small>いは</small> や……………をや
【解】	而況……………乎

例

(A) 今日けふは天氣てんきも好いいし、況まして新年しんねんです
から、何處どこかへ遊あそびに行ゆきませう。

【釋義】 「好いし」之「し」字是並列法、表是

「既然是；而且是」之意。「何處かへ」是不定稱。表示「不一定去何處、然而總要去一

個地方」之意。

【譯文】 今日天氣既好、而況又是新年、我們（在句子中此二字省略）到什麼地方去玩

吧！

(B) あの徒然草と言ふ本は日本人でさへ讀めないのに況や我々外國人に於いてをや。

【譯文】 那個「徒然草」一書、即日本人尙且不能讀、而況我們外國人。

【解說】 (A) 例之「況して」與(B) 例之「況や」同。即作「而況……乎。然而「況して」能

用在順態與逆態兩者、而「況や……をや」大都是專用于逆態之下。

例

(A) あの店の品物は、大分易いさうですが、兎に角這入つて見ませう。

【釋義】 「大分」是「很」之意。

【譯文】 那個店舖的東西、聽說很便宜、總

而言之、我們進去看看吧。

(C) (E) (A)

兎に角
兎も角
兎角

【解】 (A) 總之

(B) 姑且不答
1. 動輒、容易。
2. 種々の種々の。

(B) 買ふか買はないか兎も角、来た以上は這入つて見ませう。

【釋文】 買不買姑且不管、既然來了進去看着再說。

(C) (1) あの男は兎角、病氣に罹り易いです。

【譯文】 那個男子、動不動就容易害病。

(C) (2) あの男か兎角の評判がある。

【譯文】 關於那個男子、有種々の好壞的批評。

【解說】 「兎角、兎も角、兎に角、」雖是大意相同、然而略有如上的區別。此外「兎に

も角にも」「兎もあれ角もあれ」種々、都與此處所述解釋大致相同。

眞に受ける

(A)

例

その拳闘選手が好男子であるから大勢の女性の歓迎を受けた。その中の一人の女性が其の男との結婚を眞に受けて

【解】 信以爲眞

遙々海を渡つて追つて行つたが細君が有る上に子供三人まで有るのでがつかりして

仕舞しまつた。

【釋義】「好男子」即「漂亮男子」之意。「細君」即「妻室」。「まで」乃「甚至；連」。「がつかり」即「悲觀」。

【譯文】那個拳闘選手是一個美男子、受許多女性的歡迎、其中有一女性、以和此男子來結婚的事、信以為真、遠遠渡海跟去、誰知此男子已有妻室甚至有三歲小孩、遂完全悲觀了。

(B) 「チャップリン」が東京に來た噂うわさを真まことに受けて遙はるかに九州から上京すると真まこと赤あかな嘘うそである事ことが分わかつた。

【釋義】「チャップリン」即「喜劇王卓別麟」、「噂」即「傳説、風聞」。

【譯文】把卓別麟來到東京的風聞、信以為真、遠々地從九州上京、才知道完全是假的。

【解說】「真に受けて」是把人家說的話、認真的來接受；相信為真」之意。

(A) ……〔動詞五變〕ば〔同一動詞四變〕程ほひ

【解】愈…則愈…
越…就越…

(B) ……
【解】愈…則愈…
すればする程ほど

〔此すれば即さ變動詞第五變、用法接在兩個漢字下、或一個漢字下〕

的糍。「美味しい」即「好吃；味美」之意。「美味しくなる」乃「しく活用」第二變化加

「なる」。表示「變成」表示「一種狀態」。

【譯文】 日本的糯糍、越吃越有味。

【解說】 凡將動詞第五變化加「ば」字之上、再仍用前面同一的動詞用其第四變化加「程」、

則即是表示「越是怎樣、便越加怎樣了」。比如：「讀めば讀む程」即「越讀越……」。

「書けば書く程」即「越寫越……」。「起されば起さる程」即「越起來就越……」。

等意。

例

(A) 歩あるけば歩あるく程疲つかれる。

【譯文】 越走就越疲乏。

(又) 日本にほんのお餅もちは食たべれば食たべる程美味おいしくなる

【釋義】 「お餅」即是糯米製

(B) にほんご 日本語を勉強すれば、しんぱ する程進歩が早い。

【譯文】 讀日本語越用功、則進歩越快。

(又) 竹たけで造つくつた蓆むしろは使用すれば、くわうたく する程光澤が付いて來る。

【釋義】 「竹で」即「用竹子」「で」字在此解作「用；以」等意。「光澤が付いて來る」即「能有光澤」之意。「付いて」是「附着」之意。「有光澤附着」用中國說說來、即「有光澤」之意。

【譯文】 用竹子做的蓆子、越使用越有光澤。

【解說】 (B)條與(A)條完全相同、不過(A)條是用動詞原形、而(B)條則是用兩個漢字、加「する」變爲動詞。再由「する」變等五變化用「すれば」。即第於動詞第五變化。換言之、(B)條即是「さ變動詞」而已、都是和底下的「程」相呼應、表示「越怎麼樣、便越……」不過在(B)條有時可寫作「勉強すれば勉強する程」、「使用すれば使用する程」。即是在第二句再用一次前面同一動詞。在此場合亦完全相同、毫無區別。

.....の折柄をきかた

【解】 適逢.....

(其時)

例

歐洲大戰の折柄つら家へ歸るにも歸れず、とうとう西部の戦線せんせんに乗り出してそこで戦死して仕舞しまつた。

【釋義】 「とう／＼」「是(終於)。「乗り出す」是(挺身而出)。

【譯文】 適逢歐洲大戰要回家又不能回家。挺身到西部戦線在那裏戦死了。

吹き出す

【解】 哄然大笑

噴飯

例

あの動作は^{どうさく}^と^{こつ}^{けい}も滑稽なものだから皆が思はず吹き出した。

【釋義】 「とても」即「很是、非常」之意。

「思はず」「乃」「不知不覺。」

【譯文】 那個動作、真是滑稽極了、所以大家不知不覺的哄然大笑了。

お茶を濁す

【解】

敷衍；點綴、

(A)

例

先生が此頃事業の失敗した所爲か動もすれば不平を吐くばかりで今日も訪問に行つた時、また、其の方面の事ばかり

り並べるだから私も聞くのが厭で一寸お茶を濁して歸つて來た。

【釋義】「所爲」即「緣故」「因……所致」。可參看該項公式。「動もすれば」即「動不動」

可參看該項公式、「並べる」即「並列」在此處解作「說」。蓋轉用也。

【譯文】先生也許是因這向事業失敗的緣故吧、動不動吐其不平。今天去訪問時、又說着那方面的、我也不願聽了、稍爲敷衍一下即回來了。

(1) 本當は其の宴會に行きたくないが再三電話を掛けて來たから一寸行つてお茶を濁して歸つて來た。

【釋義】「行きたくない」即「不願意」。「電話を掛けて」即「打電話」。

【譯文】本是不願赴那宴會、可是因爲三打電話來、於是稍爲去點綴(敷衍)一下、即回。

【解説】「お茶を濁す」完全表示敷衍別人、即是隨便應酬一下之意。可^〇不^〇能^〇用^〇在^〇「敷衍了事」等意。須注意。

まをしぶん
申分ない

【解】 完善、十全。

(無可批評之意)

例

(A) あの人は教育も有るし、品行も正しい

し、それに人情味もたつぷりですから

實に申分ない人です。

【釋義】「あるし」與「正しい」之「し」字、乃竝例法、解作「既又這樣而又那樣」之意。

「正しい」即「端方」之意。「それに」有「加之」之意。「たつぷり」乃「豐富」之貌。「人情味」即「爲人的感情；情緒心地」等意。

【譯文】 那個人教育既有、品行又端方、加之、人情又圓滑豐富、真是完善的人。

(又) 學賞も何時も一月先に送つて呉れるし冬に成ると新らしい毛革外套を送つて呉れるし親の子に對する心掛は實に申分ない。

【釋義】「呉れる」在此不當作補助動詞用。可解作「給我」之意。「親の」之「の」字、乃

「が」字所變。即「親が子に對する」作解「兩親對于子」。但是此句爲形容句子、修飾「心掛」。故「が」字可變爲「の」字。「心掛」即「存心；着想；心思；留意」等等之意。

【譯文】 學費總是每先一個月寄來、到了冬天、又把新的皮外套寄來、父母對於兒子的心思、真是無可說的了。（真是好到極處了）。

【解說】 「申分ない」之「申分」原解作「敘述；批評之點；講理由」等意。加否定助動詞「ない」、即是「無可分辯；無可批評」而成爲好意的贊美句子。

例

こんな大騒ぎおほさわぎを起しておこ誠まことに世間せけんに對して申まを譯わけないので御座ございます。

申まを譯わけない

【解】 對不起；

無話可說

【釋義】 「大騒ぎ」即「大騷動；大驚惶」。「起

して」即「起す」之第二變化。解作「發生」之意。

【譯文】 發生這樣的大騷動、真是對世間一切人、對不起了。（真是無話可說了）

(又) 御寸法を間違つて拵へて本當に申譯ないです。

【釋義】 「寸法」即「尺寸」。「拵へて」即「製作」。

【譯文】 把你的尺寸弄錯替你做了、真是對不起。

【解說】 「申譯」即「分辯」；辯解；訴說理由」等意。「申譯ない」即「沒有再可分辯的了」。

再無詞可說了」。即是表明「自己理屈、無辯解之餘地」故即可解作「道歉、對不起」之意。

申譯に
まをしわけ

【解】

做做幌子；
裝裝樣子；
敷衍着；
勉強着；

(A)

例

本當は酒を飲めないが主人の御熱情を拒むのも好くないから申譯に半分を飲みました。

【釋義】 「飲めない」即「飲まれない」之約音。「不能飲」之意。「拒む」即拒絕之意。

「の」是指這件事。「も」是「也」之意。

【譯文】 本來是真不能喝酒、但是主人的盛意、來拒絕也不好、所以敷衍着喝了半杯。

(又) ダンスは實際好かないが餘り、友人に勧められて申譯に行つて上げた。

【釋義】「ダンス」即「跳舞」。「好かない」乃「不歡喜」。「勧められて」「被他所勸」。「行つて上げた」之「上げた」做補助動詞、表示「陪着他去了一下」之意。

【譯文】跳舞是實在不歡喜、但是被友人勸得太利害。只好勉強着（敷衍着）陪他去了
一下。

（又）天氣は寒くないが皆が外套を着て行くのだから僕も申譯に着て居るだけさ。

【釋義】「だけ」乃「只是」之意。「さ」感嘆詞。

【譯文】天氣並不冷、可是大家都穿着外套去、所以我也只好裝裝樣子穿着。

【解說】「申譯」即是表示；非真心情願、只不過從世故人情上講來、不得不這樣做做、以免人家的閑話。「申譯」本解作「分辯」；辯解」等意。「申譯」變成副詞、即是這樣做做、就可以分辯自己並沒有他意。所以可解作「敷衍着」；勉強着」等意。

(A) 譯^{わけ}ない 不容易。甚不費力。
 【解】世話^{せわ}ない
 (B) 同右
 【解】造作^{ぞうさく}ない
 (C) 同右
 【解】

日文字母。在我便寫三千箇、也不費力。

(又) これを唯だ配^{くば}つて行^ゆくなら、譯^{わけ}ない。

【釋義】「なら」即「倘若」。

【譯文】倘若只是把這個分配分配、那是很容易的。

【解說】「譯」本解作理由。若是「譯がない」即是解作沒有理由。沒有原因。取消一個

「が」字、意思便大不相同起來、便解作「不費力；算不了一回事；」等意。蓋即表示

一用不着別出主意、別覓理由；很容易便可做得到」之意。

例

(A) 人^{ひと}が一粒^{つぶ}の米^{こめ}の上に三百^{ひゃく}の假名^なを書^かい

たさうですが俺^{おれ}は三千位^{せん}の假名^なを書^かく

のも譯^{わけ}ないのだ。

【釋義】「さうです」乃「聽說」。

【譯文】聽說有人在一粒米上面、寫三百箇

(B) この舟ふねを向むかふの島まで漕こいで行ゆくなら、世話せわないさ。

【釋義】「向ふ」即是「對面」；那邊」、等意。「漕いで」乃「漕ぐ」之第二變化。「划船」之意。「なら」是「倘若」。

【譯文】倘只把這個船划到對面的島上去、那有何難。

(又) この論文ろんぶんを清書せいしょして呉あれたら後の印刷いんさつの事は世話せわないのだ。

【釋義】「清書」乃「謄清楚」。

【譯文】倘把這論文謄寫清楚、那以後印刷的事、真不算一回事。

(又) 一時間一千字位じぐちゐの翻譯ほんやくなんかは世話せわない。

【釋義】「なんか」乃「像這樣等類之事」之意。

【譯文】一小時翻譯一千字左右、真不費事。

【解說】「世話」本解作「照料；照應；麻煩」等意。所以「世話にならまして」即「承你照應；麻煩了你」之意。「世話ない」則表示「毫不麻煩、很容易的事」、大有中國之「不

費吹灰之力」之意。

(C) そんな小さい西洋館を建てるとは造作ないのだ。

【譯文】 造那樣小的西洋房子、才真不費力哩。

(又) 一一整頓するには間が掛るが一束に巻いて仕舞へば造作ないや。

【釋義】 「間が」即表示「時間」。「掛る」乃「費」之意。「や」乃感嘆詞。「仕舞へば」乃補助動詞。

助動詞。

【譯文】 一一整理起來、因要花費時間。把他捲成一束、可不費事。

【解說】 「造作」本解作「店面；門窓」等意。在此即表示「不用做那樣做這樣、容易易就行了。」所以「造作なく」常這樣用作副詞、即解作很容易的就能辦了。

念入りに

【解】 細心的；加工的；

費盡精神的

例

(A) この洋服は念入りに拵へて上げたのです。

【釋義】 「拵へて上げた」之「上げた」乃補助動詞。即是表示「替你製造的」。

【譯文】 此洋服乃精細的替你做的。

(B) この論文は中中念入りに書いたもんだね。

【釋義】「書いたもん」之「もん」即「もの」。表示「的」；東西；之意。

【譯文】這篇論文、真是費盡精神所寫的哪！

【解說】「念入りに」之「念」即表示「心思；才智；力氣」等意。「入り」乃表示「放入；用着」等意。「用着心思才智」即是有「精細又精細；費力又費力、一點不馬虎」之意。

念の爲めに

【解】爲精細起見……

放心不過……

例

(A) 論文は一通り書き上つたが念の爲めに、

も一遍、始から仕舞ひまで讀んで見た。

見た。

【釋義】「一通り」乃「通常的；自頭至尾的」之意。「書き上つた」乃「寫完成了」。「仕舞ひまで」乃「至末了爲止」。「見た」是補助動詞、「試試看」之意。

【譯文】論文已是寫完了。爲精細起見、再將牠從頭至尾讀了一遍。

(B) 入學試驗を受ける手續は李さんに頼んだが念の爲めに、又青年會の張さんにも頼

んで置いた。

【釋義】「頼んだ」乃「拜託」。「置いた」乃補助動詞。「預先の準備」等意。

【譯文】 受入學試驗的手續、已拜託李君、可是放心不過（怕他忘記或其他等等）、又向

青年會張先生拜託了。

【解說】「念の爲めに」之「念」字、即是「念頭；意想；心思」之意。「爲めに」可參照「爲めに」那條公式、即表示「爲得什麼起見」之意。故「念の爲めに」即是「念頭上有放心不下的地方、爲仔細起見、再來這麼一下」之意。

見事に

【解】 居然；

齊巧；

很好的、

(B)

射撃しやげきをすると、見事みごとに命中めいちゆうした。

例

(A) あの人ひとが試験しけんに見事みごとに及第きふだいした。

【譯文】 那個人居然的（很好的）就試驗合格了

【譯文】 剛一射擊、就齊巧的命中了。

【解説】「見事に」在此爲副詞。完全表是「很好；殘巧；優美的」等々好意的稱讚的副詞修飾語。

跳ねつける

【解】 拒絕

例

あの人の要求は餘り無利だから即座にこれを跳ねつけた。

【釋義】「即座」乃「立刻」

【譯文】 那個人的要求、太過無理、立刻拒絕了。

機嫌を取る

【解】 討好；博人歡心

例

男は仕事をするには正々堂々たる態度を取るべきである、自分の心を曲げて人の機嫌

を取る必要がない。

【釋義】「心を曲げて」即「屈曲自己的心意」

【譯文】 男子大丈夫、做事、應取正堂堂的態度、無屈曲自己心意博人歡心之必要。

皮肉ひにく

【解】滑稽；諷刺；

挖苦；

爲我是講着老實的事。

役に立つやくにたつ

【解】有用；

有效果。

【譯文】倘若這件事、能對你有一點效果那真是可感謝的事。

例

君はそんな皮肉な話はなしは止して呉れ、俺は正直な事を言つて居るから。

【譯文】你那樣的挖苦的話不要說了吧！因

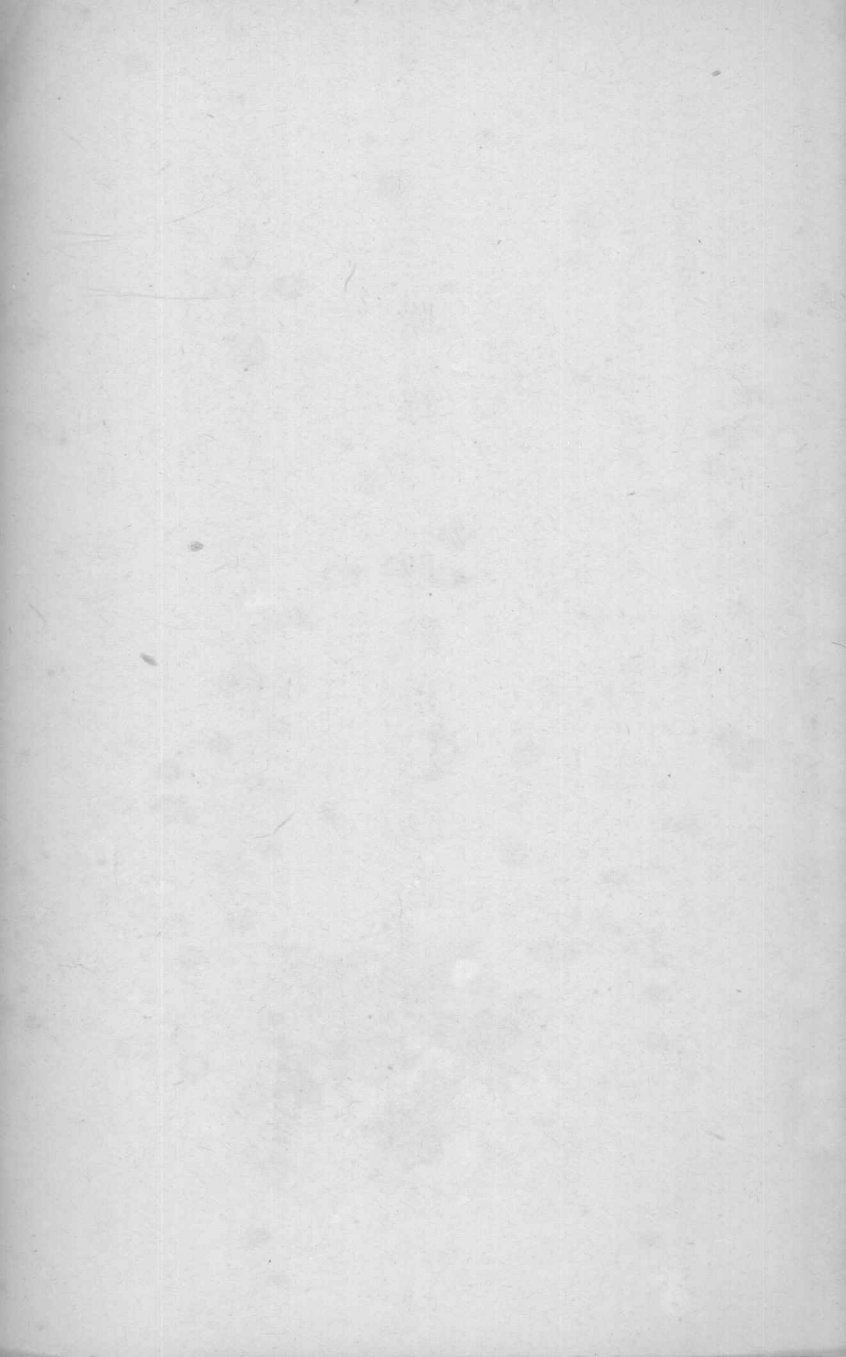
例

若しこの事が君の爲めに少しでも役に立つならそれは本當ほんたうに有り難い事がたです。

【釋義】「少しでも」即「縱然有一點」

附錄

助辭用法概括



助詞用法總括

(1) 「ガ」之用法(五)種

A 添於体言(即名詞代名詞)或與体言有同様資格者之下、以示主格例如：

a 夏なつがき來た。(夏が 主語 來た 述語) 夏天來了。

b 智慧ちみがふか深い。(智慧が 主格 深い 述語) 智慧深。

c あの人は、物ものを云いふのが早い。(はやく)

述部

大主語
形修句 小主語 小述語
(あの人は 物を言ふのが 早い) 那人說話(很)快。

在此(c)句、「物を言ふ」乃「說話」、「の」乃代名詞、代替這件事、「ガ」表示主格。不過此全句之大主語爲「あの人は」。而此「物を言ふのが」乃全句之述部中之小主

語而已。

d 知らない事ことは先生せんせいに問とふが宜よろしい。

形修	主語	補足語	小主語	小述語
知らなし	事は	先生に	問ふが	宜しい

不知的事、
問先生好了。

在此(d)句、「問ふ」本爲動詞、然在此當作一個名詞看、「が」表示其爲主格。不過此全句之大主語爲「知らない事は」。而此「問ふが」爲全句述部中一小主語而已。

B 接於用言（動詞形容詞）四變之下。爲逆態前提法。解作「可是；然而」。例如：

- a 夏は來たがまだ寒い。夏天雖來了(到了)可是還冷。
- b 此の花は色は美しいが匂が臭い。

這個花、顏色雖美、可是氣味(很)臭。

(C) 接於用言四變之下。爲並列中止法、解作「既……而又……」。與「シ」「ば」等

相同。例如：

- b 雨も降るが風も吹く。既下雨又刮風。
- b あの人は學問も有るが材幹も有る。

此(B)例(C)例之「が」均接於用言四變之下，而一則解爲「然而；可是」。

一則解爲「既…又…」接法相同，而意義相異乃如此，將何以區別之？其唯一的

區別法，即是在(C)例有兩個「も」字(有時用一個「も」字)、「雨も」、「風も」。有此「も」字表示主格，則其下用言四變所接之「が」必爲並列中止法。

(D) 接於用言或助動詞四變下，無意義，僅表示語調。例如：

a 私わたくしは李りと申もうす者ものですが御主人ごしゆじんは御在宅ございたくですか？

我是叫做李某的人。貴主人在府上麼？

b 此この方かたは僕ぼくの親友しんゆうですが貴下あなたに紹介しょうかいします。

這位是我們的親友，和你介紹介紹。

此(D)例之「が」全不用譯出。

(E) 接於推量助動詞或否定推量助動詞之下，表示並列。解作「或是……或是……」。

「不啻……也好……」。例如：

a 雨が降らうが槍が降らうが明日は出發しなければならぬ。

管他下雨也好下槍也好、明天非出發不可。

b 成功しようが しなからうが (しまいが) 遣り懸けた事業は止める譯には行かない。

ない。

〔註〕

「遣り懸けた」乃正着手做的。

「譯には行かない」乃「不能；斷無此理」。

不_レ管成功或不成功、正_レ做開_レ了的事業、總不能停止。

(2) 「の」之用法 (七) 種

A 接於体言 (名詞代名詞) 之下、表示定限格 (領有格)、解作「的」例如；

a 是れは私の鉛筆です。這個是我的鉛筆。

b 「日語公式詳解」と言ふ本は書齋の机の左側の本棚の中に在ります。

日語公式詳解這本書、在書齋裏面的棹子的左邊的書架中。

B 接於体言之下、表示主格、以代「が」用。例如；

a 鳥の鳴く聲は美しいです。鳥鳴的聲音、眞美。

b 風の吹かない日は熱い。不起風的天眞熱。

c 蝶の舞ふを観る。觀蝶舞。

凡以「の」代「が」用；換言之、凡主格不用「が」而用「の」、有一定之條件。即須此句爲形容句、修飾下面體言時、始用之。在(a)例、本爲「鳥が鳴く」。但因此句修飾「聲」、故此形容修飾句中之「鳥が」、變爲「鳥の」。在(b)例亦同、「風の吹かない」修飾「日」。在(c)例「蝶の舞ふ」修飾「コト」但「コト」省略。故此處須注意。又(c)句中無主格。蓋其主格亦省去。

C 接於用言或助動詞四變下、表示並列法。或與「だ」併合變爲「ダノ」接在體言下亦表示並列法。例如：

a あれは善い^よの悪い^{わる}のと言つて居て一向話の埒^{らち}が明かない^あ。

〔註〕 「あれ」乃指那個人。一向乃「總是」。「埒が明かない」乃不得要領。不進行。

那個人又說好又說壞、話頭總是不得要領。

b 痛い^{いた}の痛くない^{いた}のと言つて非常に痛かつたぢやないか？

說什麼痛不痛、不是非常痛嗎

c 熱帶地方には鱷だの象だのと言ふ様な特別な動物が居ります。

熱帶地方有鱷魚、或象等々特別動物。

D 「の」與「で」併合、成爲一個助詞、接在用言四變下、表示順態前提法、解作「因爲：所以」。例如：

a あの店は見懸が善いので中々繁昌する。

〔註〕「見懸」乃外面的裝飾、外觀。

那個店舖因爲外觀很好看、所以很繁昌。

b 今日は雨が降つたので涼しくなりました。

今天因爲下了雨、所以涼快起來了。

E 「の」與「に」併合、成爲一個助詞、接在用言四變下表示逆態前提法。解作「雖然反而、可是」例如：

a こんなに熱いのに袷を着てゐるのはどうも可笑しいな！ 這樣的熱反而穿袷衣

眞奇怪。

b 昨夜はあんな大嵐だつたのに今朝はこんなに善く晴れました。

昨夜是那樣的大風雨、可是今早反這樣好々の晴了。

下 代替名詞。例如：

a 此處に在る靴はどなたの(代替靴)ですか？

在這裏的鞋子是那位的(鞋子)呢？

b この帽子は君の(代替帽子)ですか？

這個帽子是你的(帽子)嗎？

c 此の「自他動詞對照集」と言ふ本は何處の本屋で買つたの(代替一個「者」或

「的」字)ですか？

〔註〕 自他動詞對照集乃最近鄙人所編著者。

這個自他動詞對照集、在何處書店買的呢？

d 日本人がよく原文の儘、漢文を學んでゐるのである。

日本人常依原文學習漢文者也。

e 能く全力を盡して研究しなければ成績を擧げる事が出来ないものである。

苟非盡其全力而研究、則不能擧其成績者也。

G 表示原故理由、例如：

a 物は大いからと言つて貴いのではない、品質が好いから貴いのです。

物非因其大而貴者、乃因其品質佳良而貴者也。

b あの人は何時も立派な身装をして居るから金持なのでせう。

〔註〕「身装」即服裝。「金持」即富翁

那個人常穿得很漂亮、所以一定是有钱的吧！

(3) 「を」之用法 (三)種。

A 添接於体言之下 (或詞名句之下) 他動詞之上、表示其上之体言爲客語 (賓位) 例如：

a 御飯を食べます。 (御飯を 客語 食べます 述語) 吃飯。

b 私は牛乳を飲みません。 (私は 主語 牛乳を 客語 飲みません 述語) 我不喝牛乳。

B 添接於体言之下、自動詞之上、表示補足格。功用與「から；に；」等相同。例如：

a 犬が橋を通る。
主語 補語 述語
犬が 橋を 通る。

b 私は明日横濱を立つ
主語 副詞 補語 述語
私は 明日 横濱を 立つ

於「犬が橋の上に通る」。

(b)例等於「私は明日横濱から立つ」

(c) 「を」與「して」合併。有時成爲一個助詞、表示使役助動詞之受身。或稱爲第二

客語。例如：

a 政府が國民をして納税させる。
主語 補語(受身) 述語(使役)
政府が 國民を 納税させる。

(政府が 國民をして 納税させる) 政府使國民納税。

b 家主が大工をして家を建てさせる。
主語 補語(受身) 客語 述語
家主が 大工を 家を 建てさせる。

(家主が 大工をして 家を 建てさせる) 家主使木匠建房屋。

(4) 「に」之用法(十)種

A 接於体言之下、表示地位、解作「於；在」等意、例如：

a 獸は多く山に棲みます。

野獸多住在山裡。

b 先施公司は南京路に在ります。

先施公司在南京路。

B 接於体言之下、表示動作的目標、解爲「於；對於」。例如：

a 父が財産を子に譲ります。 父讓其財產於子。

し 李さんは詐欺に罹つて、大分、金を取られたそうです。

聽說李君遭遇詐欺（即罹于欺詐）被拿了許多的錢去。

c そういふ事に就いては私は賛成出来ない。 對於（關於）此事、我不能贊同。

d 珈琲に牛乳を入れて下さい。 請把牛乳放于珈琲內。

C 表示化成。接於体言之下。

a 蛹が蛾になります。 蛹化爲蛾。

b 水蒸氣が雲に成ります。 水蒸氣化爲雲。

c 子供を軍人にする(にします)。 以兒子爲軍人。

D 添於使役及被役之目的語。

a 私は妹に英語を習はせます。 我使妹々習英語。

b 酒酔が巡査に叱られた。 酒瘋子被巡査所叱。

E 接於動詞第二變之下、表示有其目的、含有「爲得」之意。

a 友人を迎へに停車場まで行きました。

爲迎接友人、去到停車場。(去車站迎接友人)

b 上野へ遊びに行きます。爲得去玩、走到上野去。(去上野玩)

c 本を買ひに行く。 去买書。

F 接於体言之下、用爲並列、有「與；及；」之意。例如：

a 梅に松に竹は日本では目出たい時の飾りに用ひます。

〔註〕「目出たい」乃「喜慶；祝賀」之意

梅和松和竹子在日本用於喜慶的時候。

b 茶ちやに珈琲こーひーは食後しょくごに必要ひつような飲物のりものです。茶和珈琲ちやわこーひー爲食後必要しょくごひつよう的飲物。

G 接於名詞之下、表示一定範圍、解作「每；」之意。但此名詞與「に」同轉成一個

副詞、例如：

a 年ねんに一度いちど運動會うんどうかいを開ひく。毎年開一次運動會。

b 一丁いちちやうに二本電信柱にほんでんしんはしらを建たてる。每一丁豎兩根電線柱。

H なり活用第二變、副詞法。

a この部屋を奇麗きれいに掃除そうじして下さい。請把這個房子乾々淨々の打掃。

b そんな事ことをするのは明あきらかに無理むりです。做那樣的事、明明白白的是無道理。

I 表示尊敬。別無意義。接在被尊敬人之下、は之上。

a 皇太子殿下こうたいしけんには（此には即等子は）御見學ごけんがくの爲ため、陸軍の大演習りくぐんたいえんしゆうに行啓遊ぎやうこいあそばされました。皇太子殿下爲參觀去陸軍大演習

b 內務大臣ないむだいじんには（此には即等子は）地方行政視察ちほうぎょうせいしかの爲ために東北地方へ出張せられました。內務大臣爲視察地方行政前往東北地方。

J 接在同様用言（動詞或形容詞）兩者之中、加重語氣。

a 有るには有るが澤山はない。有是有、可是不多。

b 遣るには遣るか今日は遣らない。做是做、可是今天不做。

(5) 「へ」之用法（二）種

A 接於体言之下、表示方向。解作「往；向；到」之意。例如：

a 東京へ行きます。到東京去。

b 左へ曲つて行きなさい。向左轉灣走去吧。

B 接体言下、表示向的動作。

a 此の本をその本箱へ入れて下さい。請把這書、放入那書箱裏去。

b 荷物を汽車へ積み込みます。把行李放進火車裏去。

(6) 「と」之用法（八）種

A 接於体言之下、表示並列、解作「與；同；和」等意。

a 秀子と芳子は姉妹です。秀子與芳子是姊妹。

b 勞働者と資本家は常に鬭争する。 勞働者と資本家常々鬭争。

【注意】 此(A)例僅用一「と」字、介在人(或物)兩者之間、表示此兩者自身互相有關係。與下面(B)(C)兩例大不相同。

B 接於体言之下、表示並列、兼提(兩者同時並提)、比較、之意。解與(A)例同、惟末後之体言、須更附以一「と」字。

a 拿破崙と俾士麥ビスマルクとは皆歐洲の大豪傑です。拿破崙與俾士麥、都是歐洲的大豪傑。
【注意】 此處不是指拿破崙和俾士麥兩者自身互相有什麼關係、僅同時並提此二者、爲歐洲豪傑而已。故「俾士麥」之下、須再用一「と」字。

b 君は秋の景色と春の景色とはどちらが御好きですか?
秋天的風景與春天的風景、你喜歡那一方?

【注意】 此處亦非指秋天風景與春天風景兩者自身間有何關係、僅並提此二者、以詢孰爲所愛。故亦須在末後之「景色」之下、再用一「と」字。

C 接於体言之下、表示其爲該句中主語之對手、共同動作。解釋與(A)(B)均同。解

作「與、和、偕」等意。

a 僕は李サンと三時まで圍碁を打ちました。

我和李君下圍棋、直下到三時爲止。

【注意】 此處雖亦僅是一個「と」字、然非表示「僕」與「李サン」兩者間互相之關係既不說彼二人爲朋友、亦非指彼二人爲兄弟或親戚。僅表示「僕」爲主格、曾和

「李サン」共同做作某一事。

b 今日は君と一緒に泳ぎに行かう。今天和你一道去游泳吧！

【注意】 此句主格之「我」省去了。「我」爲主格、表示與「君」同去。共同動作。

非指兩者間有何關係。故(C)例用法與(A)例用法、大不同。須仔細看去。

D 表示「指定」接在「言ふ；申す；仰しやる；思ふ、考へる」等々之上。無意義。

a 貴方の御名前は何と仰しやいますか？ 你的大名是怎麼稱呼？

b 一生懸命に遣つて行けば成功するだらうと思ひます。

拚命努力的做(我)想可成功吧！

E 添子推量助動詞ウ或ヨウ之下、表示並列（或稱前提法）、解作「縱令；雖然；不」

菅……」之意。

a 心に疚しい處が無ければ人が褒めようと譏らうとチットモ構ひません。

内心無疚、別人縱令褒我或譏我毫不要緊。

b 明日は雨が降らうと槍が降らうと必ず出發しなければならぬ。

明天不菅是下雨或下槍都非出發不可。

F 接於第四變之下、表示前提法。解作「一旦；就……」。

a 夏に成ると熱くて勉強が出来ない。一到夏天、就熱得不能用功。

b 今朝起きると直に本を読み始めた。今朝一起来就立刻開始讀書。

G 接於体言之下、「成る；する；して」之上、表示「化成」。

a 素寒貧書生が一足飛びに内閣大臣と成つた。

寒苦的書生、一躍而成爲内閣大臣。

b 身体を中心として圓を畫く。以身体爲中心、畫一圓圈。

H 「と」與「も」併合、成一助詞、表示「加強語氣」。解作「當然；……之至」。

a 善う御座いますとも屹度引受けます。當然好呵！一定淮保。

b 有るとも。有之至！

(7) 「は」之用法（五）種

A 接於体言之下、表示主格。

a 僕は行きません。我不去。

b あの人は勉強家ですな！ 那個人是勤勉家。

B 接於体言下、表示主格、兼示區別。

a 春は花を觀て、秋は紅葉を娛しみます。春則觀花而秋則賞玩紅葉。

b 李サンは勤勉な學生で王サンは懶け者です。

李君是勤勉學生、而王君則是懶怠者。

C 特提一事物、同時表示主格。

a 人の体温は熱帶に住む人でも寒帶に住む人でも同じです。

人之体温、無論住在熱帶或寒帶都是一樣的。

b 主格と(いふもの)は文の主位に在つて動作狀態の主体を表はす格を謂ひます。

所謂主格者乃指在文之主位、表示動作狀態之主体格而言。

D 挿於同樣言句之間、用爲副詞、此時其下必須有否定之詞、以示不滿足。

a 讀めるには讀めるが善く讀めない。讀是能讀、可是不能讀得好。

b 商賣は商賣だが厭いやな商賣だ。生意固是生意。可是是討厭的生意。

E 強語氣。

a あんな事をするには餘程勇氣が要る。做那樣的事很要勇氣。

b 一緒に行つても好いではないか(好いではありませんか)?

一塊兒去、不是好嗎?

(8) 「も」之用法(二)種

A 接於体言之下、表示主格、解作「也」；亦「都」等意。

a 金も銀も銅も鐵も皆金屬です。金銀銅鐵都是金屬。

b 君達が行くなら僕も行かう！ 你們如果去、我也去吧！

B 強語氣。添于數字下、爲「大約；甚至」。如與否定相呼應時、則爲「未必；不盡然」

a 寒くもないのに外套を着て歩くのは見苦しい。

並不冷、然而穿着外套走路、實是難看。

b 海岸だつて必ずしも涼しい處でない。即使海岸、也未必就一定是涼快的地方。

(9) 「より」之用法 (三) 種

A 接于体言之下、表示比較。

a 金は銀より重い。金比銀重。

b 地球より大きい星が澤山有る。較地球更大之星甚多。

B 接于体言、或動詞四變之下。解作「除……外」。

a 眞に僕を知つてゐる者は君より外に無い。眞知我的人除你以外再沒有了。

b 斯うなつては止めるより外に仕方が無い。

(事情) 既到這步田地、除中止不幹外、沒有法子。

○ 接于体言或動詞四變之下、表示選擇。解作「與其……倒不如……」

○ 僕は賑かな都會よりも大自然たる田舎の方が好きだ。

在我、與其是熱鬧的都會、倒是歡喜大自然的鄉村。

b 夏の時熱くて家の中で勉強するよりも寧ろ海の中に飛込んで泳いだ方が体の爲めに好い。夏天酷熱、與其在家用功不如跳下海去游泳倒于身体有益。

(10) 「から」之用法 (三)種

A 接于体言之下、解作「從；由」

a 東京から上海まで四日間かかります。從東京到上海、要費四天。

b その事はもう昨日から始めました。那件事、已自昨天起開始！

c これから海に這入つて泳ぎませう。從這時(現在)去海裏面游泳吧！

B 接於用言四變之下、表示前提法、解作「因爲；所以」。

ā 今日は熱いから勉強は止めませう。因爲今天熱、停止用功吧！

a 李サンが一生懸命に勉強してゐるから今度の試験にはきつと及第するのでせう。

李君因爲拼命的用功所以這次的考試一定合格吧！

C 接於「て」字之下、解作「……之後」；「……以來」。

a 晝飯を食べてから泳ぎに行きませう。吃過午飯後去游泳吧！

b 僕は生れてからこんな酷い目に遇つたのは始めてです。

自有生以來上這樣的大當、還是頭一次。

(11) 「まで」之用法 (三)種

A 接於体言之下、解作「到……爲止」。

a 此の汽車は下關まで行きます。這火車到下關爲止。(直到下關)。

b 今年は四月まで寒い。今年、到四月止還冷。

B 接於動詞第四變之下、解作「只不過……」。

a その事に成功したのは全く君自身の努力に依つたものだ。僕は唯一寸だけ助言
したまでだよ！

那個事的成功、全是由于你的努力、我只不過稍稍帮着說了一點話而已。

a 遣つて見て出来なければ止めるまでの事さ。

倣々試々看、如其不行、也只不過是半途中止不幹就是。

C 接於体言之下、解作「連……；甚至……」。

a あすこの主人は此の頃羽振りが好いので玄關番まで威張つてゐる。

〔註〕 羽振りが好い、乃「權勢旺盛」玄關番乃「號房、門房」。

那家的主人此時權勢盛極了、連門房都作威作福。

b あの人の言葉遣ひが餘り滑稽だから子供まで腹を抱へて笑ひ出した。

那人說話太滑稽連小孩都抱腹大笑起來。

(12) 「て」之用法 (四)種

A 接于用言 (動詞形容詞) 第二變化之下、解作「而」。接續上下兩句。

a 春が過ぎて夏が来る。 春去而夏來。

b 山は高くて海は深い。 山高而海深。

B 接于用言第二變之下、構成副詞。

a 外交官は極く注意して物を言はねばならぬ。外交官非極注意地說話不可。

b この品物は安くて好い。這個貨品便易得好。

C 「て」與「は」拼合、接于用言第二變化之下、變成前提法。解作「如果……」。

a 不養生しては体が丈夫にならない。如果不好々養生、身体不會強壯。

b 風が昨日のやうにあんなに強くては今日も出帆出來ない。

如果風還是像昨天那樣的強、今天也不能開船。

D 「て」與「も」拼合、接于用言第二變化之下、變成逆態前提法。解作「雖然……」。

縱令……」。

a あんなに勉強しても頭が悪いなら何にもならない。

雖是那樣的用功、若頭腦不好、也是枉然。

b 金が無くても身体が丈夫であれば結構です。

縱令沒有錢、身体如果康健便好極了。

(13) 「さへ」之用法 (一)種

A 接於体言之下、解作「只要」。

a 金さへあればどんな物でも買へます。只要有錢、任何物品都可買到。

b 勉強さへすれば自然に上達出来る。只要用功、自然能够上達(進步)。

B 接于体言、或助動詞、或助詞之下。解作「連……；尙且……」表示積極的進一步的說。

a 犬さへ食はない物を人が食はれるものか？ 狗尙且不吃的東西、人能够吃嗎？

b 聖人下さへ過は有るから凡人は勿論の事だ。

聖人尙有過、何況凡人？ (凡人更不用說)

c 我々にさへ辛抱の出来ない事をその貴公子がどうして遣り切れるか？

連我們尙且不能忍耐的事、那個貴公子怎能辦過去？

(14) 「すら」之用法 (一)種

A 接于体言或助動詞之下、解作「連……尙且……」表示消極的退一步的說。

a 三歳の童子にすら知れ切つて居る理窟を管々しく述べ立てる必要はない。

連三歲童子尙明白的道理、無瑣碎說的必要。

b 鳥獸ですら子を愛する情は深い、況して萬物の靈の人間である。

連鳥獸尙且愛子情深、況萬物之靈之人乎。

(15) ばかり之用法 (六)種

A 接于体言之下、表示有一無二、解作「只；唯；僅。」等意。

a あの男は口ばかり達者で學問が少しもない。

那個人專是一张嘴、學問一點也沒有。

b 李サンは毎日日本ばかり讀んでゐる。李君、每天專只讀着書、

B 接于文章之末尾、或体言下或動詞第四變下。解作「唯……耳；祇……而已」之意。

a 天下の英雄は使君と操ばかりです。天下英雄唯使君與操耳。

b この土産はホンのお記しばかりです。

〔註〕 「ホンの」乃「僅々一點的」、「お記し」乃「微忱」「記念」之意

這個土産（禮物）僅々是小意思而已。

C 接于動詞過去形第四變之下、表示距其時甚近、解作「剛才；剛々」

a 授業は今始つたばかりです。功課剛才開始。(剛才上課的)

b 昨日來たばかりでまだ何にも分らない。昨天剛來的。什麼都還不知道。

D 接于數目字名詞之下、表示程度、解作「大約、上下」。

a もう十日ばかり立てば夏休になる。再過十天左右、就是暑假。

b 今日はこの本を六七十頁ばかり讀んだ。

今天把這本書讀了六七十頁的光景。

E 接于否定助動詞「ン」之下、表示「將做而尙未做；只差沒有做出來；差一點做出來了。」等意。(參看第一篇公式)

F 接於「と」之下、表示「一心以爲；籌躇滿意」(參看第一篇公式)

(16) 「やら」之用法 (二種)

A 接於体言之下、表示疑問。

a 君の意志は何やら僕には了解出來ない。你是什麼主意、我不能理會。

b どうした譯やらこの化學の試験は反應が現れない。

不知甚麼道理、這個化學試驗沒有反應。

B 接於体言或動詞四變之下並列數事、解作「或」字。

a 昨夕海岸の踊りの會では踊りやら漫才やら活動やら色色面白い催しがあつた。

昨晚海岸的舞蹈會有跳舞、滑稽双簧、電影、種々有趣的餘興。

b 先日の火事では人が逃げ出すやら泣くやら叫ぶやらで大騒ぎだつた。

前天的火災有的逃命、有的哭、有的叫、大鬧的了不得。

(17) 「か」之用法 (三)種

A 接于体言或用言四變之下、表示疑問。

a これを食つたのは君か？ 吃了這個的是你麼？

b 誰が來つたか？ 是誰來了呢？

B 接于体言之下、表示不定稱。

a 誰か來ました。 有人來了。

b 誰か來ましたか？ 有人來過沒有？

c 何か食べませう？ 吃點東西吧！（隨便吃點什麼吧！）

C 接于体言尤其多在「もの」之下、反問口氣、表示「當然不能（不行）」

a 誰が行くものか？ 誰還去呢？（鬼也不去）。

b 僕にそんな嘘が言へるものか？ 我能說那樣的謊話嗎？（當然不能說）

(18) 「し」之用法（一）種

接于用言第四變之下、表示中止並列、與「が；ば」相同、解作「既……而且……」。

a 風も吹くし雨も降る。 既起風而且又下雨。

b 今日は天氣も熱いし整理しなければならぬ仕事も澤山有るし君の所へ行く事は止ませう。

今天天氣既熱而必須整理的事件又多你那裏不去算了吧！

此外尙有「ケレドモ、モノノ」解作「雖然；然而」與「ナ；モ；ワ；よ；ね；さ；ぞ；せ」等感嘆助詞、然其意義甚顯、解釋只一、一看文法、便知、茲不贅述。

正誤表

頁	行	證	正
一	二	<p>と言はんばかり早 來たばかりだから日本語 の五十音も 文學も有名です 換へない</p>	<p>と言はんばかりに早速 來たばかりですだから日本語の五 十音てへも 文學者としても有名です 換へられない</p>
四	十	<p>書くのである 第二の故郷もんだな と言ふ 皆見に</p>	<p>書いたのである 第二の故郷と言ふもんだな と言ふ人は皆見に</p>
五	八	<p>何れも世界に 歸るか知ら</p>	<p>何れにしても世界に 歸らうか知ら</p>
六	四	<p>復舊する迄は</p>	<p>復舊する迄には</p>
七	八		
八	九		
九	八		
一〇	十		
八			